名張市における
平成２９年度全国学力・学習状況調査の
結果・分析と今後の取組について

平成２９年１０月

名張市教育委員会

開始後１０回目（１１年目）をむかえ、本年４月１８日に、市内の小学校第６学年及び中学校第３学年の全児童生徒を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について、本市の児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等調査の分析結果や今後の取組を、以下のとおりまとめました。

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施するものです。しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。これらのことを十分考慮し、今後の名張市の学校教育の一層の充実を図ってまいります。

なお、数値のみで対象児童生徒の学力が評価される、また、数値のみによりランク付けがなされる傾向にも、一定歯止めがかかる現状に鑑み、昨年度より、本市全体の正答率等の状況を数値により公表しています。

○調査実施年月日　　平成２９年４月１８日（火）
○調査実施児童生徒数
　　小学校（全６年生１４小学校）：660名　※当日実施数は、650名
　　中学校（全３年生　５中学校）：678名　※当日実施数は、国語Ａ・Ｂ：675名
　　数学Ａ：675名
　　数学Ｂ：674名

１　各調査項目の平均正答率等の状況

平成29年度	小学校				中学校			
調査項目※1	国語		算数		国語		数学	
	A	B	A	B	A	B	A	B
名張市※2	73.0	57.0	76.0	43.0	76.0	72.0	65.0	48.0
全国比(%)※3	97.6	99.1	96.7	93.7	98.2	99.7	100.6	99.8
Ｈ２８との比較	−0.5	−3.1	−4.2	−3.4	+0.2	+2.3	−0.8	+0.5
三重県	73.6	57.0	77.4	44.6	76.9	70.7	65.3	47.3
全　国	74.8	57.5	78.6	45.9	77.4	72.2	64.6	48.1

名張市 ≧ 全国　　全国＞ 名張市 ≧ 三重県　　全国・三重県＞ 名張市

※１　調査項目･･･Ａ：主として「知識」に関する問題、Ｂ：主として「活用」に関する問題
※２　名張市平均･･･本年度より整数値（小数第一位を四捨五入）により文科省より結果提供
※３　全国比（％）･･･全国平均を100としたときの名張市平均の割合（得点率）

＜小学校＞

ここ数年は学力の向上が見られていましたが、本年度は、国語Ｂが三重県平均と同等程度であるものの、他の教科は全国平均・三重県平均を下回りました。また、前年度全国比との比較では、すべての教科においてマイナスとなりました。

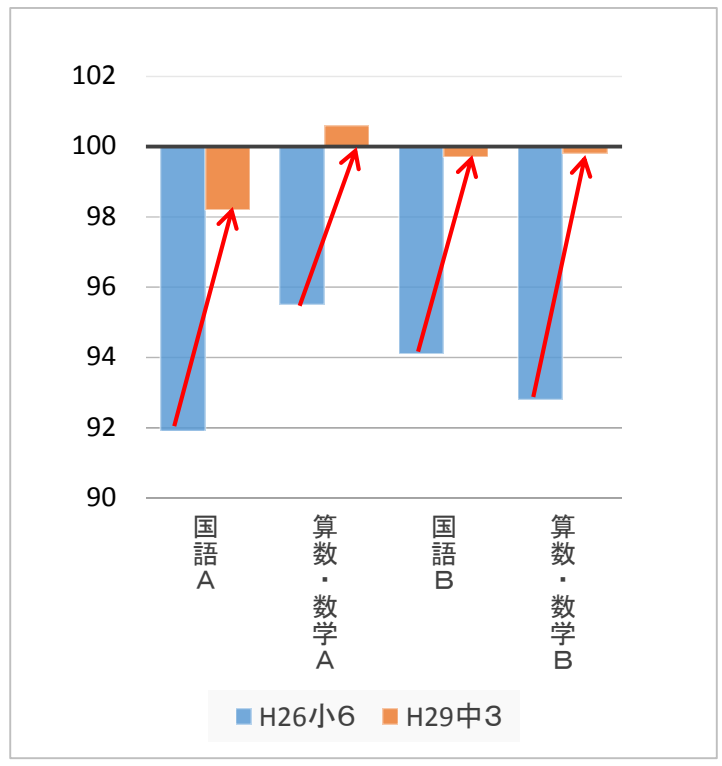
＜中学校＞

ここ数年は全国平均・三重県平均を上回るか、下回っても差が縮まる傾向でしたが、本年度は、数学Ａは全国平均を上回り、国語Ｂ、数学Ｂは全国平均をやや下回ったものの、三重県平均を上回りました。また、前年度全国比との比較では、国語Ａ・Ｂ、数学Ｂにおいてプラスとなりました。

＜中学校３年生生徒の小学校６年生時との比較＞

対象生徒の３年前（小学校６年生時）の全国比を比較すると、全ての調査項目で５ポイント以上の伸びが見られました。この伸びについては、全ての調査項目で過去最高値となりました。

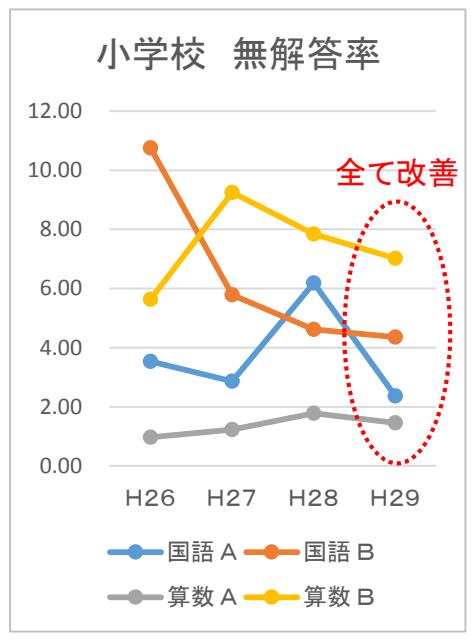
調査項目		国語		算数・数学	
		A	B	A	B
平成29年度 中学3年生	名張市平均	76.0	72.0	65.0	48.0
	全国比（%）	98.2	99.7	100.6	99.8
平成26年度 小学6年生時	全国比（%）	91.9	94.1	95.5	92.8
経年変化	全国比(%)の比較	＋6.3	＋5.6	＋5.1	＋7.0

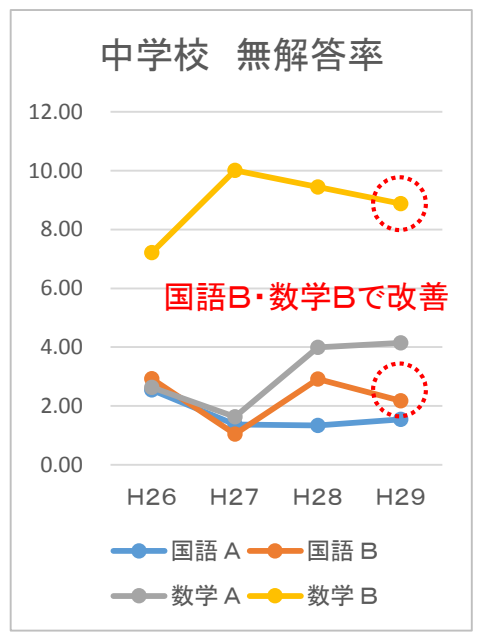


＜無解答率の状況＞（経年変化）

無解答率と平均正答率には強い相関関係があります。本年度、小学校では、全ての調査項目で昨年度より無解答率が低くなりました。算数Ｂにおいては経年で見ても全国平均より高くなっています。中学校では、毎年全ての調査項目で無解答率が全国より低い、よい傾向が続いています。

今後も、粘り強く問題に取り組む姿勢を身につけさせていく必要があります。





	年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	調査項目	名張市	全国	名張市	全国	名張市	全国	名張市	全国
小学校	国語A	3.53	2.31	2.86	3.56	6.19	5.29	2.36	2.77
	国語B	10.75	9.20	5.78	6.09	4.62	4.62	4.36	4.31
	算数A	0.97	0.92	1.23	1.79	1.78	1.79	1.45	1.59
	算数B	5.63	4.29	9.25	9.12	7.84	7.37	7.02	6.42
中学校	国語A	2.54	3.10	1.37	2.57	1.34	2.05	1.54	2.43
	国語B	2.93	3.50	1.04	2.23	2.92	4.39	2.17	3.80
	数学A	2.63	4.32	1.63	3.72	3.99	6.30	4.14	6.25
	数学B	7.21	10.89	10.01	15.34	9.45	14.69	8.88	11.71

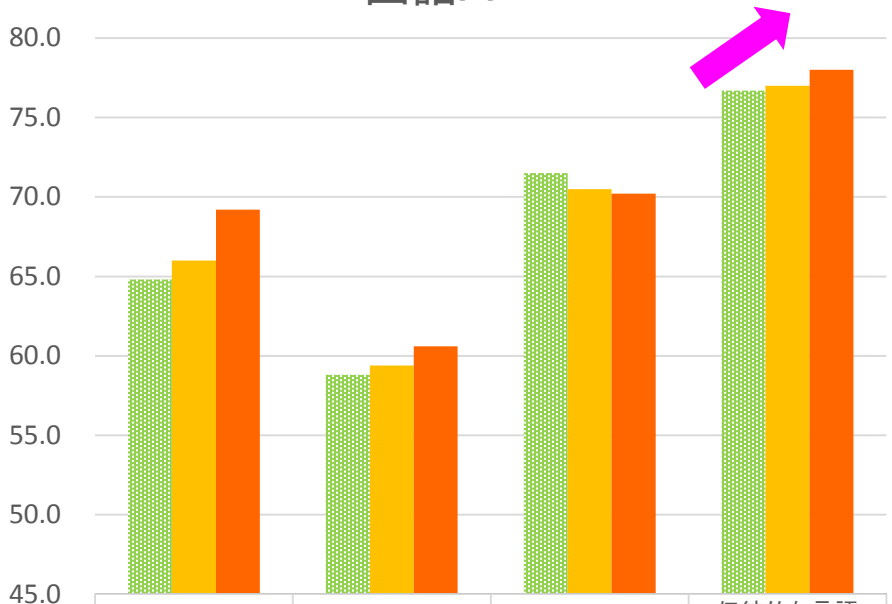
無解答率が全国と同じか低い　　無解答率が全国より高い

２　各調査項目の領域別平均正答率の状況

・国語、算数、数学については「Ａ問題」、「Ｂ問題」があり、「Ａ問題」は主として「知識」に関する問題、「Ｂ問題」は、主として「活用」に関する問題です。
・目盛はそれぞれの領域における平均正答率を表しています。平均正答率とは、個人の正答率の合計を解答者数で割った値です。
・領域別の本市及び全国の数値は領域別の平均正答率です。（％）

＜小学校＞

国語A



	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
名張市	64.8	58.8	71.5	76.7
三重県	66.0	59.4	70.5	77.0
全国	69.2	60.6	70.2	78.0

★「読むこと」の領域では、ここ４年間、伸びが見られ、今年度、全国平均を上回りました。あとの３領域では、全国平均をやや下回りました。

＜正答率が低かった問題の概要＞

・漢字を書く（参加たいしょう）　33.1％［短答式］

・手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する　39.8％［選択式］

・グループの話合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する　55.1％［選択式］

＜無解答率が高かった問題の概要＞

・漢字を書く（箱がおいてあります）　12.9％［短答式］

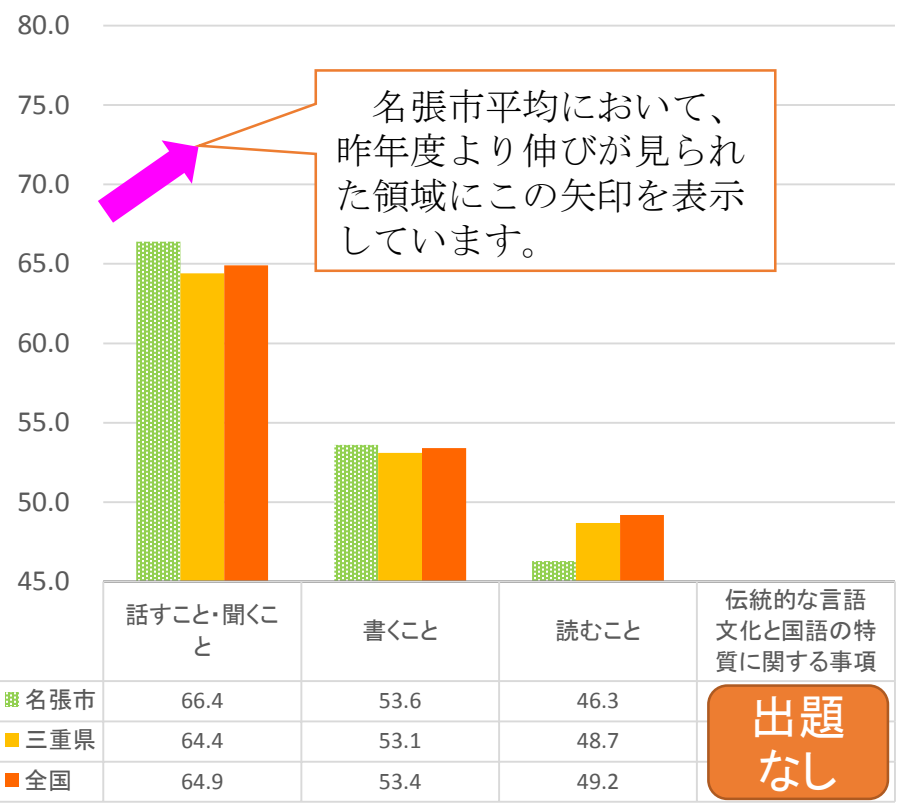
・漢字を書く（参加たいしょう）　10.9％［短答式］

↓

漢字が定着していない

※漢字のもつ意味を考え、文や文章の中で正しく使うことができるように指導することが必要。

国語B



	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
名張市	66.4	53.6	46.3	出題なし
三重県	64.4	53.1	48.7	
全国	64.9	53.4	49.2	

★「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域では、全国平均を上回り、「読むこと」の領域では、全国平均をやや下回りました。「書くこと」は、ここ３年間、全国平均を上回っています。

＜正答率が低かった問題の概要＞

・「きつねの写真」を読んだあとの話合いにおけるア・イの発言を意図として、適切なものをそれぞれ選択する　24.8％［選択式］

・「水やりに協力してくれる人をぼ集します」の［　イ　］に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く　31.8％［記述式］

・「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く　38.0％［記述式］

＜無解答率が高かった問題の概要＞

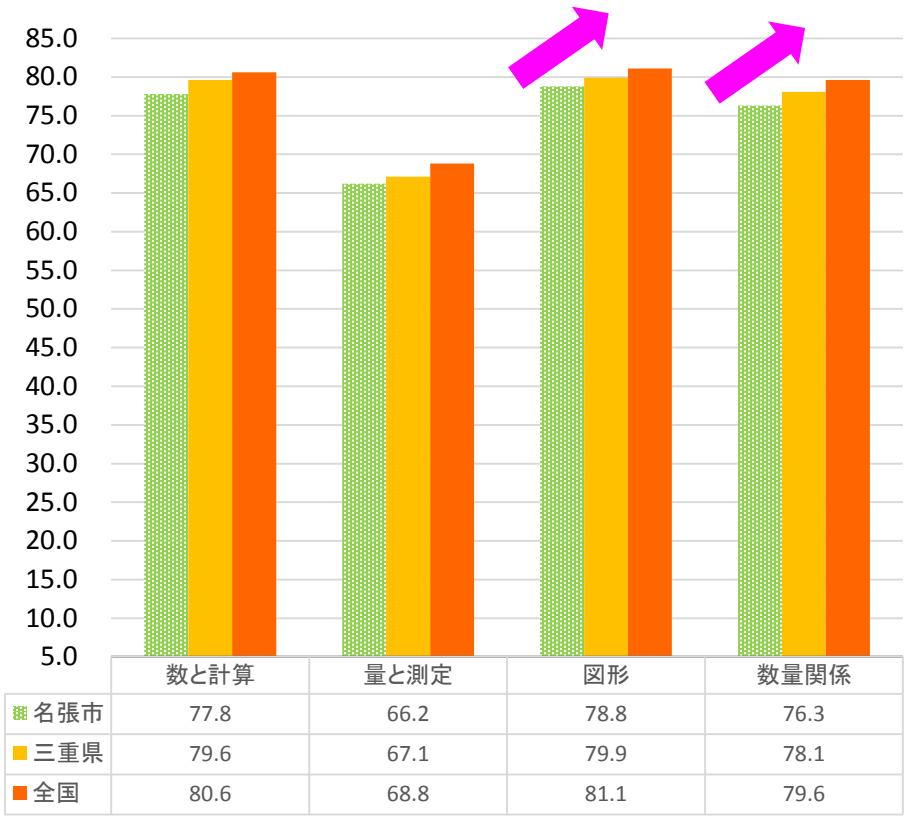
・「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く　22.5％［記述式］

↓

記述式問題に弱みが見られる

※複数の場面の叙述を相互に関係づけながら読むことができるように指導することが必要。

＜小学校＞



	数と計算	量と測定	図形	数量関係
名張市	77.8	66.2	78.8	76.3
三重県	79.6	67.1	79.9	78.1
全国	80.6	68.8	81.1	79.6

★すべての領域で、全国平均を下回りました。「図形」の領域は、ここ４年間、全国平均を下回っています。

＜正答率が低かった問題の概要＞

・二次元表の合計欄に入る数を書く　*54.3%*［短答式］

飼っている動物調べ　（人）

イヌ＼ネコ	○	×	合計
○	ア	イ	
×	ウ	エ	
合計			オ

○…飼っている
×…飼っていない

↓

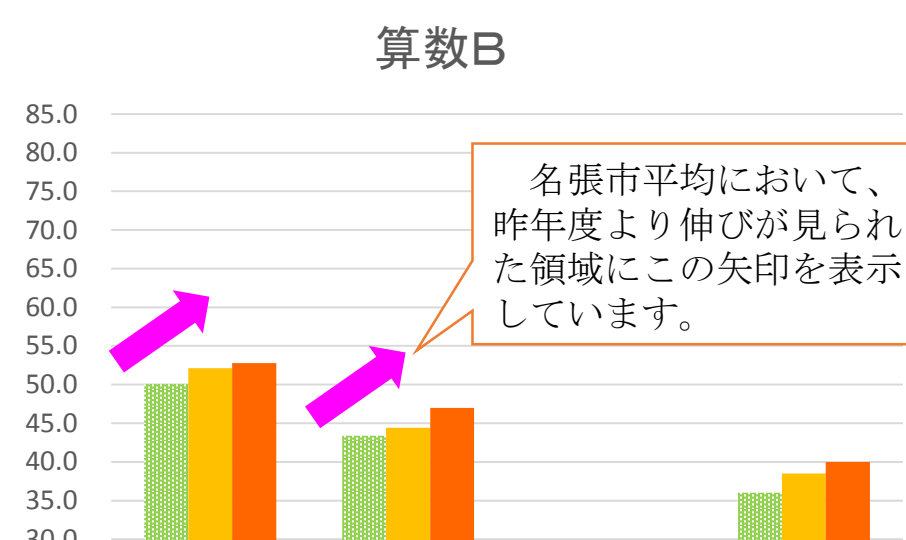
二次元表の各欄の意味を理解できていない

※資料を二つの観点で分類整理することにより、二次元表の仕組みを理解する学習が必要。

・６＋０．５×２をする　*61.2%*［短答式］

・５÷９の商を分数で表す　*62.0%*［短答式］

※全ての問題において無解答率が１０％以下となりました。



	数と計算	量と測定	図形	数量関係
名張市	50.1	43.4	8.3	36.0
三重県	52.1	44.4	10.9	38.5
全国	52.8	47.0	13.2	40.0

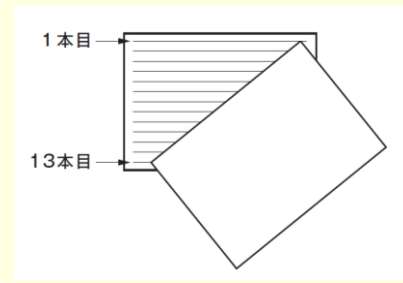
★すべての領域で、全国平均を下回りました。「図形」の領域は、ここ４年間、全国平均を下回ってます。これらは、A問題と同じ傾向です。

＜正答率が低かった問題の概要＞

・与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く　*8.3%*［記述式］

・仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める　*21.7%*［記述式］

・１３本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を３等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く　*23.4%*［短答式］



＜無解答率が高かった問題の概要＞

・２けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く　*19.7%*［記述式］

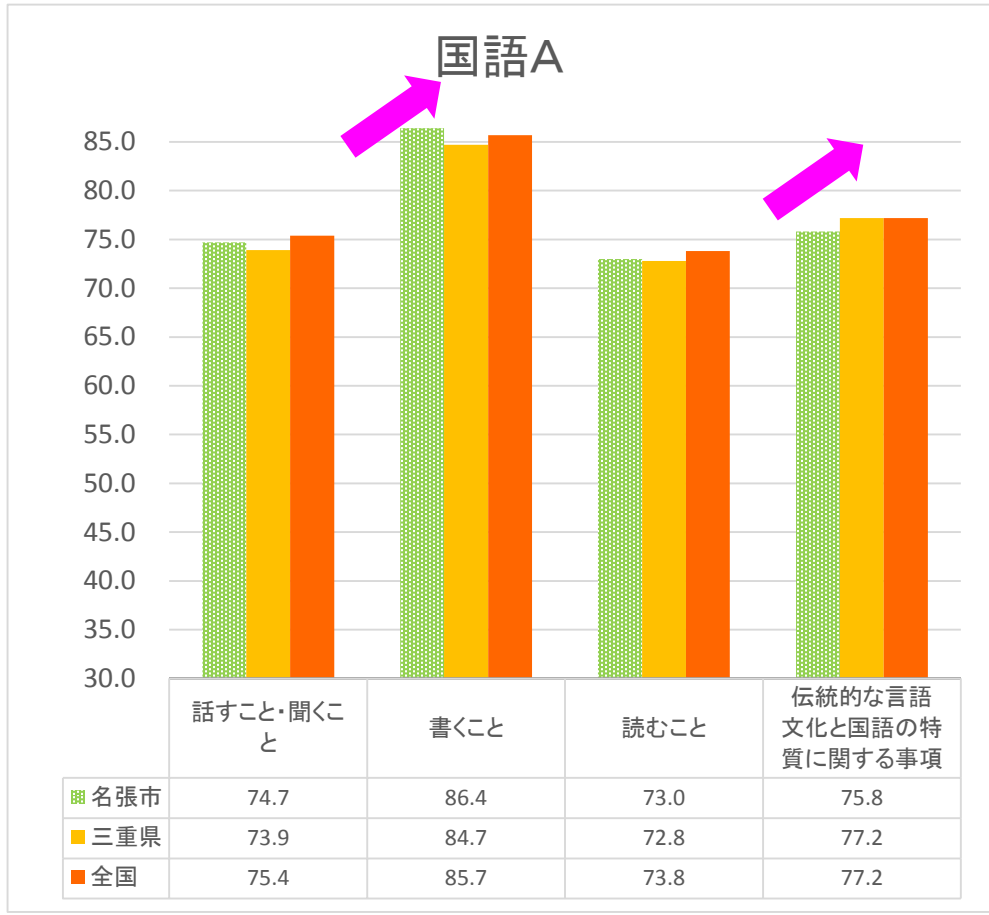
・仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める　*18.5%*［記述式］

↓

記述式問題に弱みが見られる

※数量の関係を言葉や式を用いて一般化して表現できるようにする指導が必要。

＜中学校＞



	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
名張市	74.7	86.4	73.0	75.8
三重県	73.9	84.7	72.8	77.2
全国	75.4	85.7	73.8	77.2

★「書くこと」の領域では、全国平均を上回り、あとの３領域では、全国平均をやや下回りました。

＜正答率が低かった問題の概要＞

・話合いの記録として適切な言葉を考える
34.1%［短答式］

・楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する
39.7%［選択式］

・先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す
50.7%［短答式］

・漢字を書く（雨で運動会がエンキになる）
51.7%［短答式］

・「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった」の意味として適切なものを選択する
57.2%［選択式］

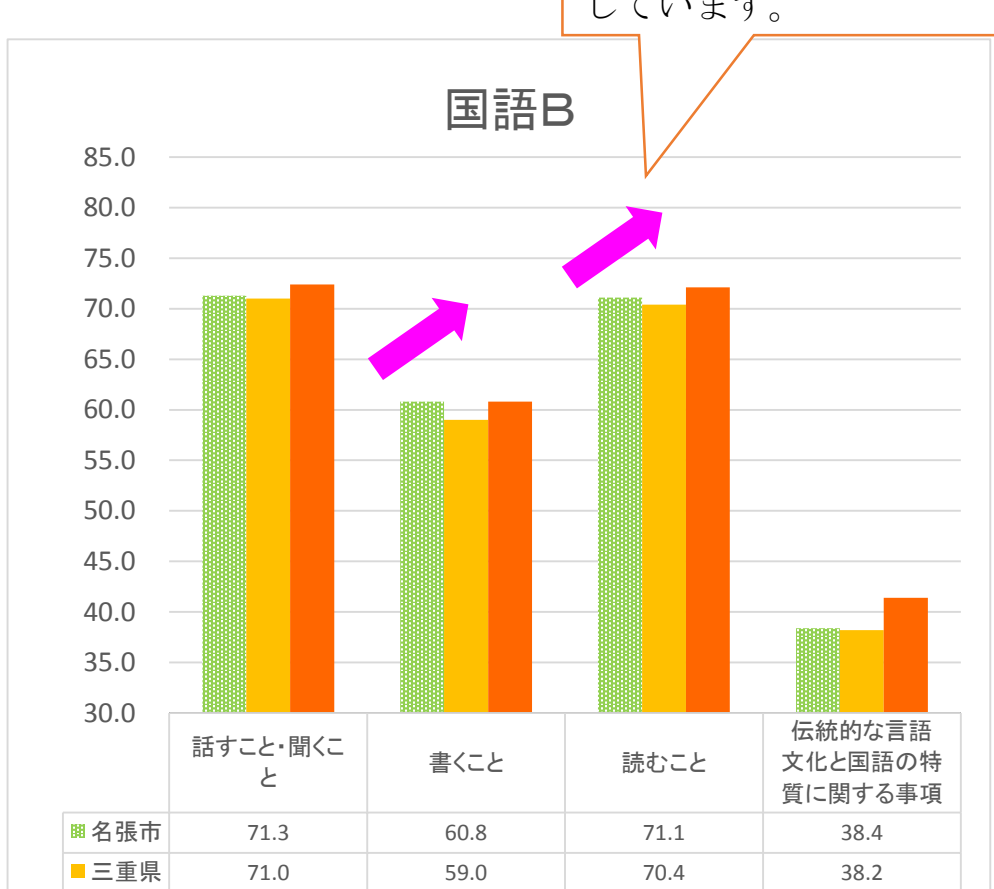
※上の１問以外の全ての問題において、無解答率が全国の無解答率を下回るいい結果となりました。

↓

楷書と行書との違いを理解できていない

※楷書と行書のそれぞれの特徴を踏まえた指導の工夫が必要。

名張市平均において、昨年度より伸びが見られた領域にこの矢印を表示しています。



	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
名張市	71.3	60.8	71.1	38.4
三重県	71.0	59.0	70.4	38.2
全国	72.4	60.8	72.1	41.4

★「書くこと」の領域では、全国平均と同じでしたが、あとの３領域では、全国平均をやや下回りました。

＜正答率が低かった問題の概要＞

・比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く
38.4%［記述式］

・スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す
58.5%［記述式］

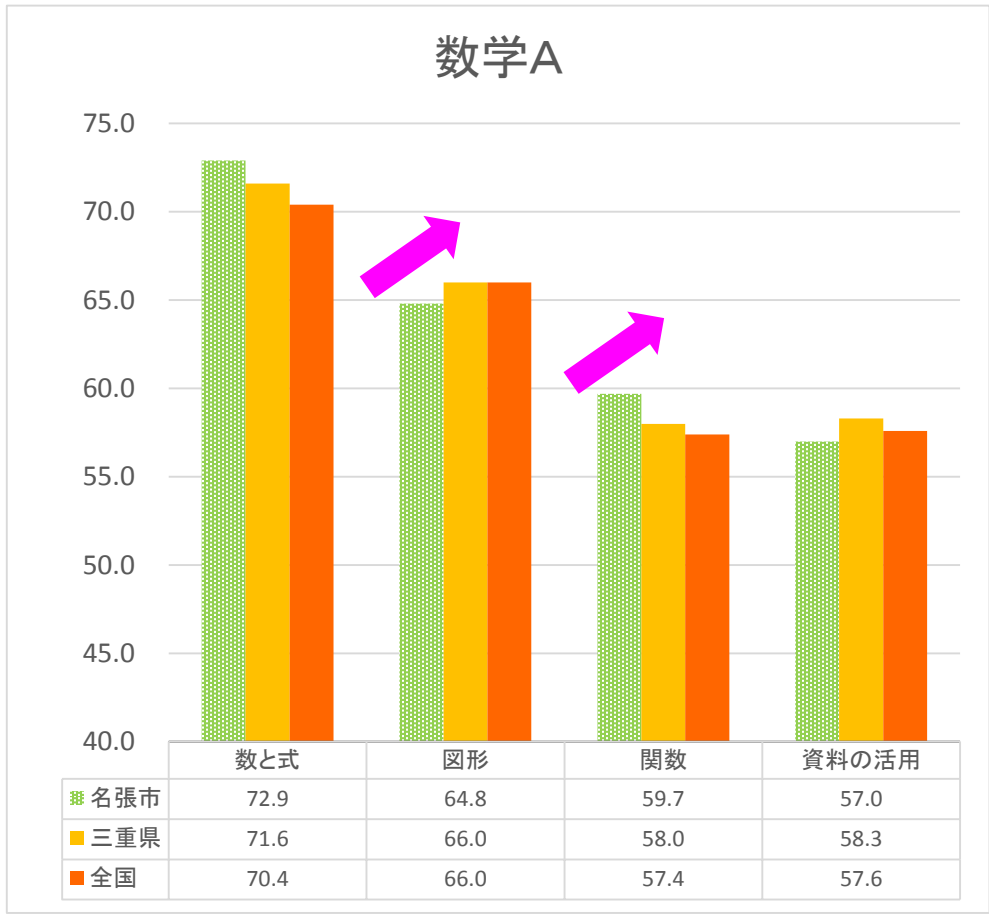
※全ての問題において、無解答率が全国の無解答率を下回るいい結果となりました。

↓

記述式問題に弱みが見られる

※比喩や反復などの表現の技法についての知識を生かすなど、これまでの学習を踏まえた指導が必要。

＜中学校＞



	数と式	図形	関数	資料の活用
名張市	72.9	64.8	59.7	57.0
三重県	71.6	66.0	58.0	58.3
全国	70.4	66.0	57.4	57.6

★「数と式」、「関数」の領域では、全国平均を上回り、「図形」、「資料の活用」の領域では、全国平均をやや下回りました。

＜正答率が低かった問題の概要＞

・長方形の縦の長さと面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する　*23.4%*［短答式］

・半径が5cm、中心角が120°の扇形の弧の長さを求める　*28.3%*［短答式］

・反復横とびの記録の範囲を求める　*29.0%*［短答式］

・反比例の表から比例定数を求める　*35.1%*［短答式］

＜無解答率が高かった問題の概要＞

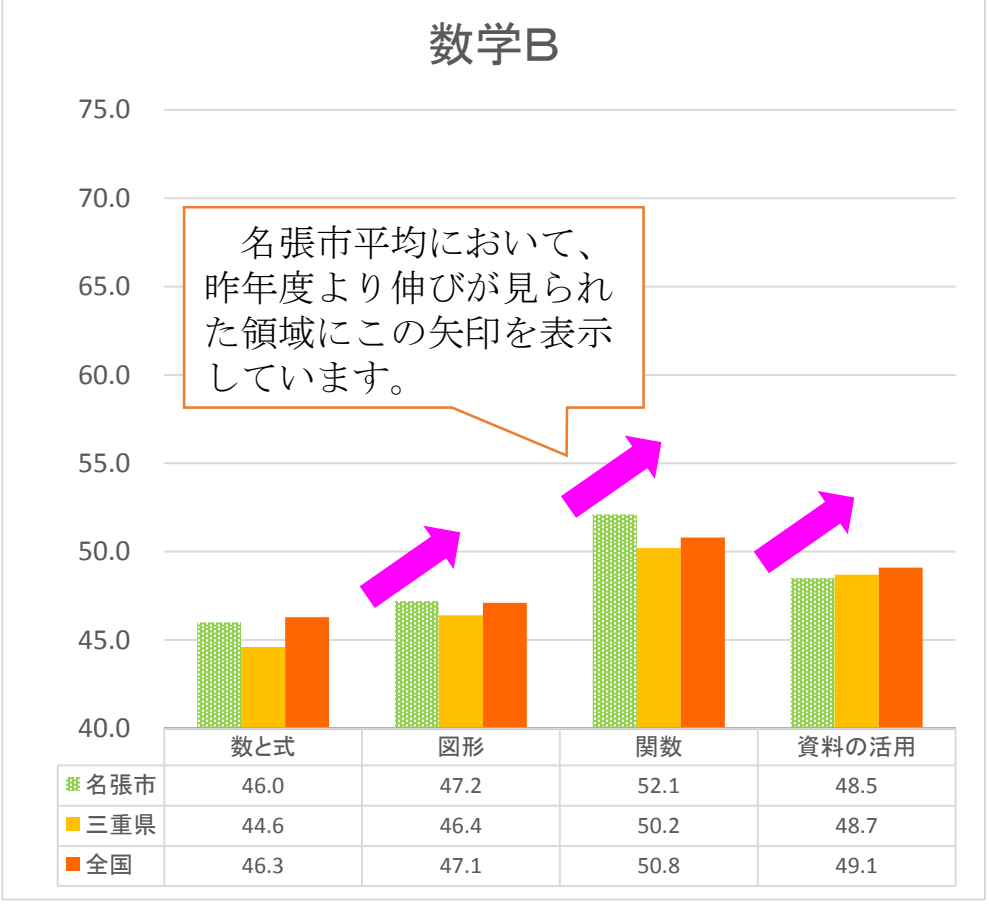
・反比例の表から比例定数を求める　*14.4%*［短答式］

・半径が5cm、中心角が120°の扇形の弧の長さを求める　*14.1%*［短答式］

↓

基本的な学習内容が未定着

※関数の意味の理解など、定着のためにひと工夫した指導が必要。



	数と式	図形	関数	資料の活用
名張市	46.0	47.2	52.1	48.5
三重県	44.6	46.4	50.2	48.7
全国	46.3	47.1	50.8	49.1

★「図形」、「関数」の領域では、全国平均を上回り、「数と式」、「資料の活用」の領域では、全国平均をやや下回りました。

＜正答率が低かった問題の概要＞

・四角形ＡＢＣＤの模様が１回の回転移動によって四角形ＢＥＦＧの模様に重なるとき、どのような回転移動になるかを説明する　*10.5%*［記述式］

・六角形をｎ個つくるのに必要なストローの本数を、６＋５（ｎ－１）という式で求めることができる理由を説明する　*13.9%*［記述式］

・「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する　*18.8%*［記述式］

＜無解答率が高かった問題の概要＞

・与えられた表やグラフを用いて、貯水量が1500㎥になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する　*25.8%*［記述式］

「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する　*23.7%*［記述式］

↓

正答率が低い問題では無解答率も高い傾向

※判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにする指導が必要。

３　児童生徒質問紙調査結果の特徴的な傾向及び教科の平均正答率との関係

「児童生徒質問紙調査」とは、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査です。
　ここでは、「児童生徒質問紙調査」のうち、特徴的な資料をいくつか示し、その傾向と分析を記載しています。

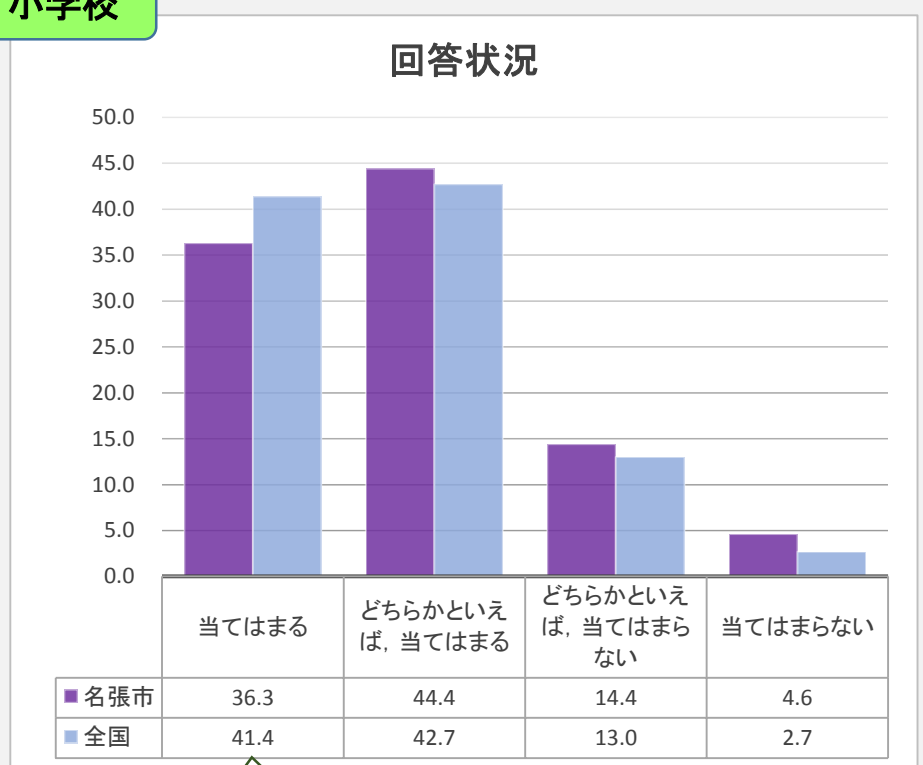
グ ラ フ の 見 方

＜例示＞

質問事項

②国語の授業の内容はよく分かりますか。

小学校

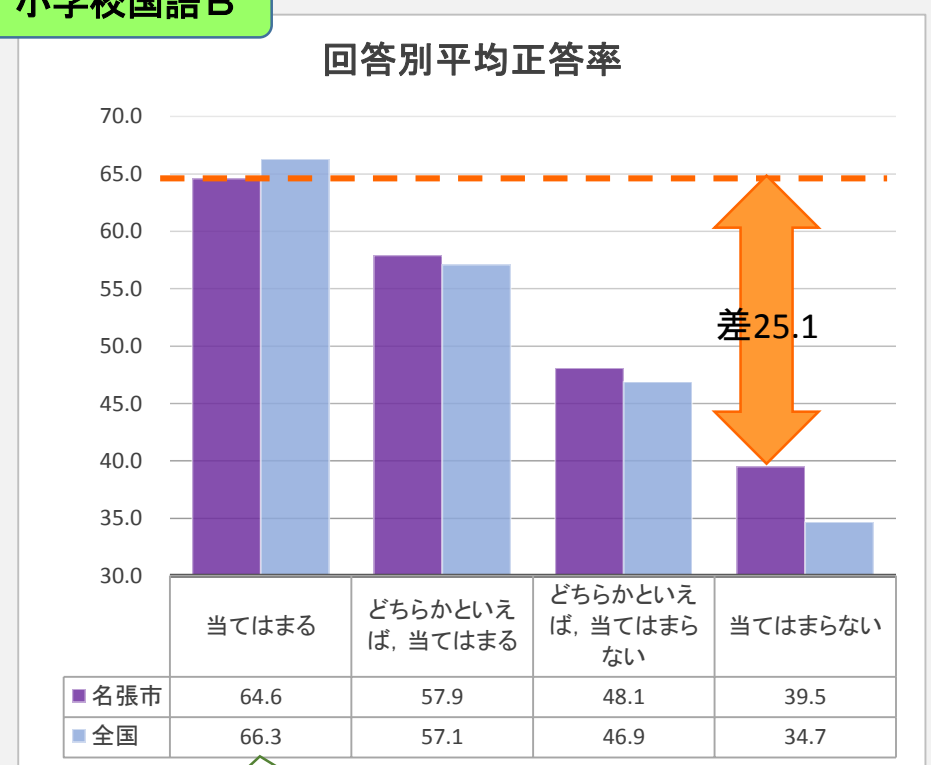


	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	36.3	44.4	14.4	4.6
全国	41.4	42.7	13.0	2.7

＜グラフ内の数値は（%）です＞

このグラフでは、児童生徒が回答した選択肢別の割合を、そのまま表しています。
「国語の授業内容はよく分かる」（当てはまる）と回答した児童は、
名張市で　３６．３%
全　国で　４１．４%です。

小学校国語Ｂ



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	64.6	57.9	48.1	39.5
全国	66.3	57.1	46.9	34.7

このグラフでは、児童生徒が回答した選択肢と、平均正答率との関係を、クロス集計しています。
　左のグラフで、「当てはまる」と回答した児童の、国語Ｂの平均正答率は、
名張市で　６４．６%、
全　国で　６６．３%です。

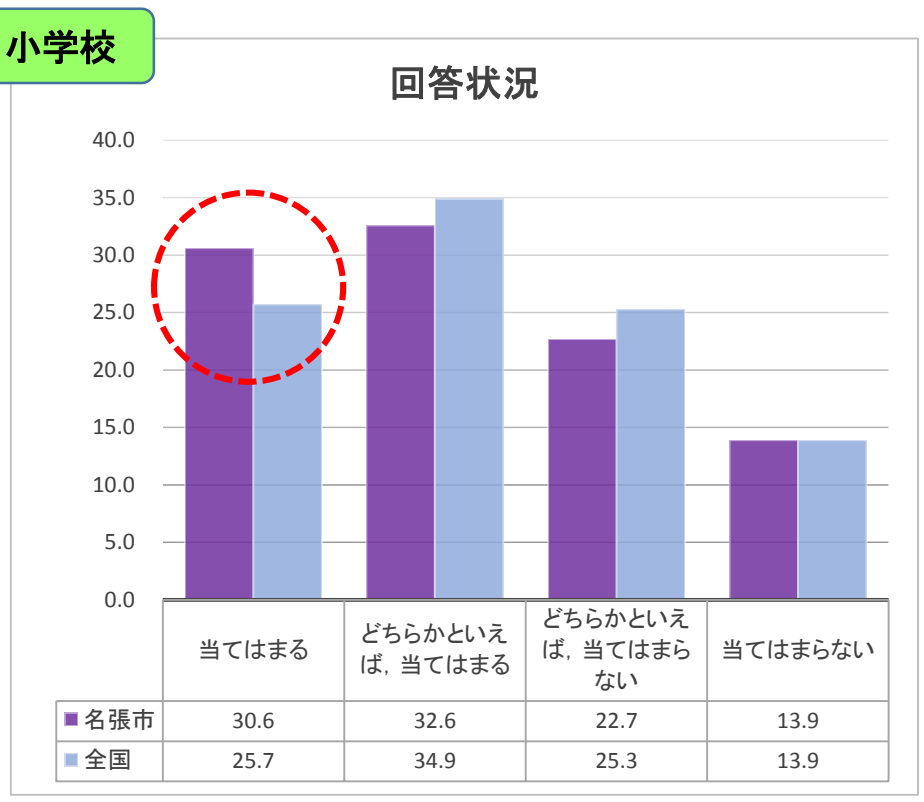
「国語の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対して、
「当てはまる」　と回答した名張市の児童の平均正答率は、６４．６%、
「当てはまらない」と回答した名張市の児童の平均正答率は、３９．５%で
２５．１%もの開きがあり、
「国語の授業はよく分かる」と感じている児童ほど、
「国語Ｂ」の調査問題の正答率も高いということがわかります。

※いずれのグラフにも無回答率は掲載していません。
　また、質問によっては、回答項目（時間帯等）が多いため、傾向がわかる回答項目（時間帯）に関してのみ、掲載しています。そのため、合計数値が１００%になっていない場合があります。

（１）学校教育に関すること

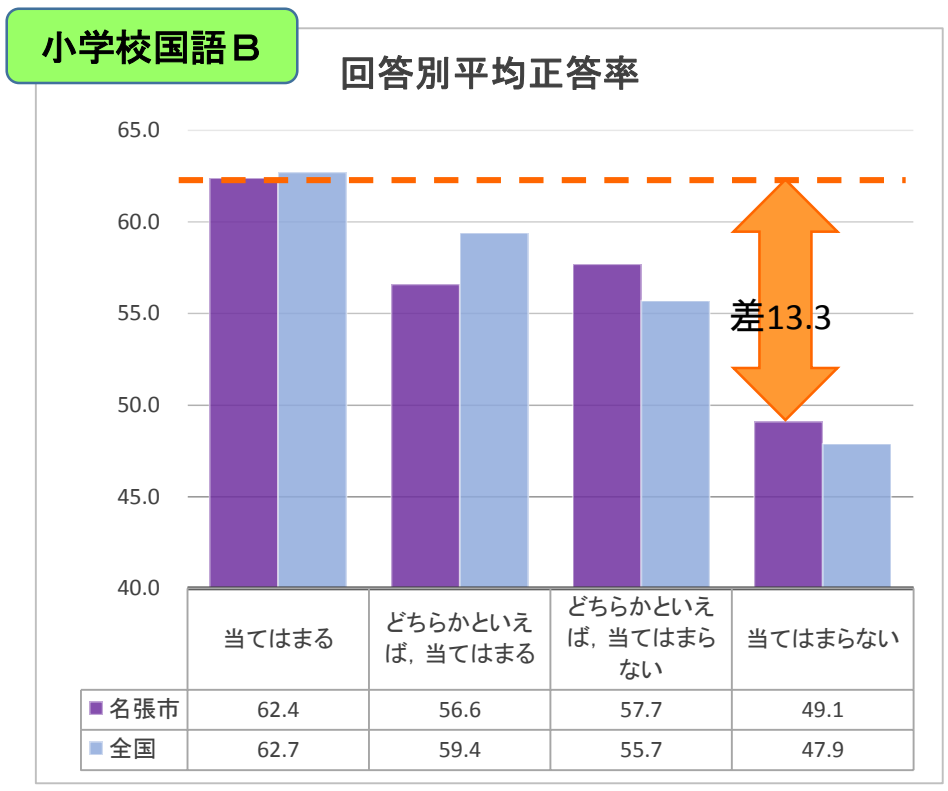
①国語の勉強は好きですか。

小学校



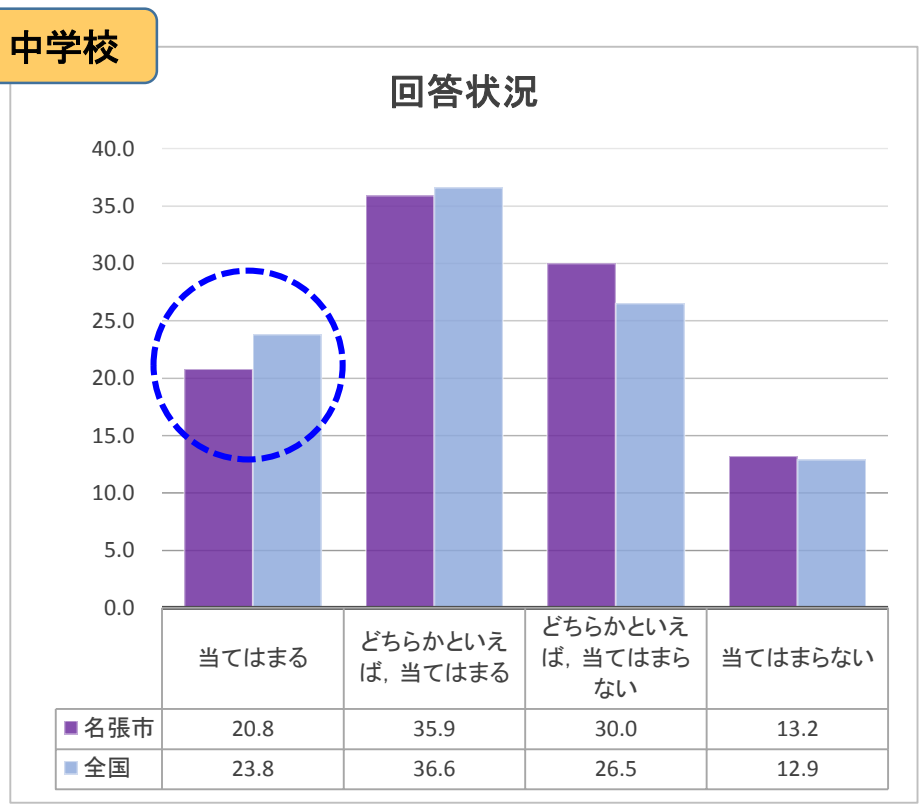
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	30.6	32.6	22.7	13.9
全国	25.7	34.9	25.3	13.9

小学校国語Ｂ



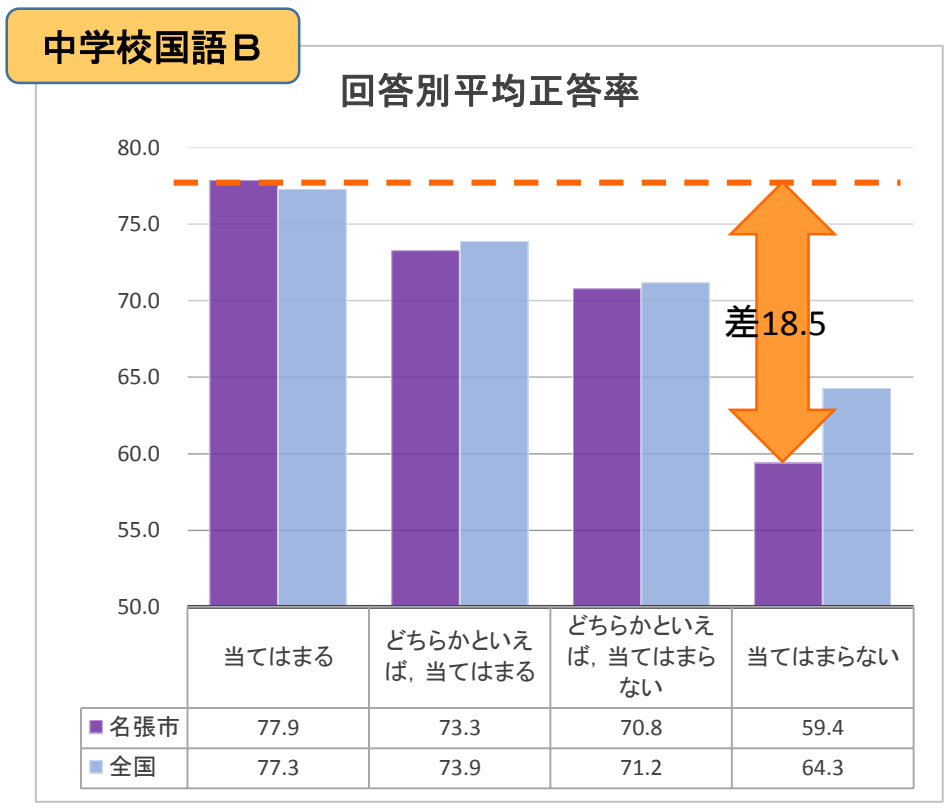
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	62.4	56.6	57.7	49.1
全国	62.7	59.4	55.7	47.9

中学校



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	20.8	35.9	30.0	13.2
全国	23.8	36.6	26.5	12.9

中学校国語Ｂ

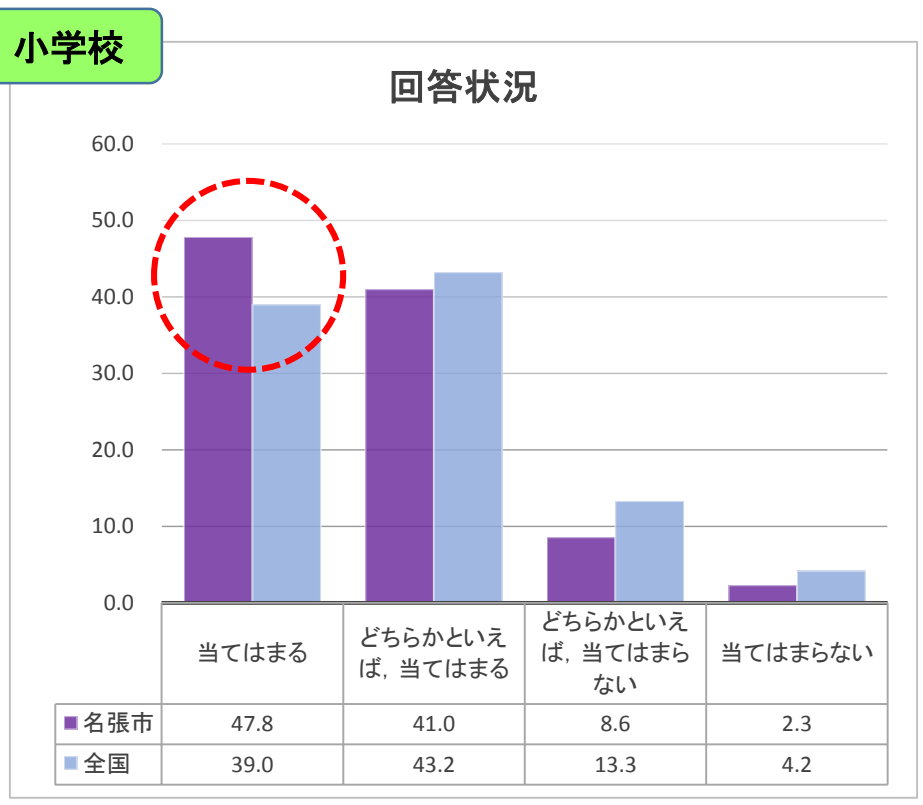


	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	77.9	73.3	70.8	59.4
全国	77.3	73.9	71.2	64.3

☞ 肯定的回答が、小学校では高く、中学校ではやや低い結果です。

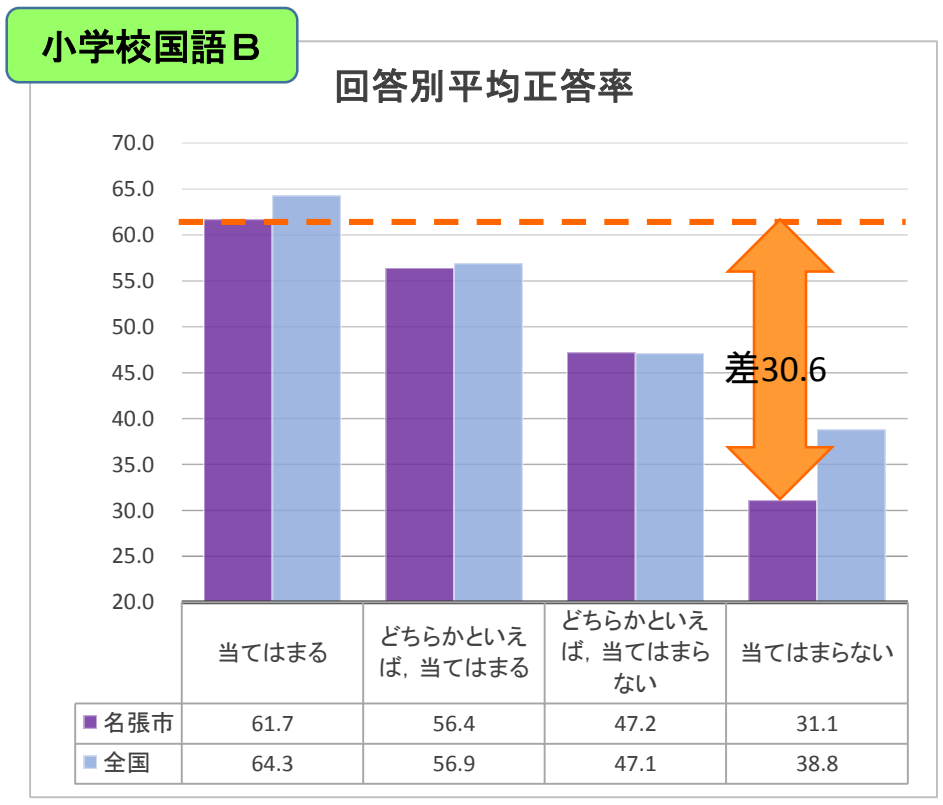
②国語の授業の内容はよく分かりますか。

小学校



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	47.8	41.0	8.6	2.3
全国	39.0	43.2	13.3	4.2

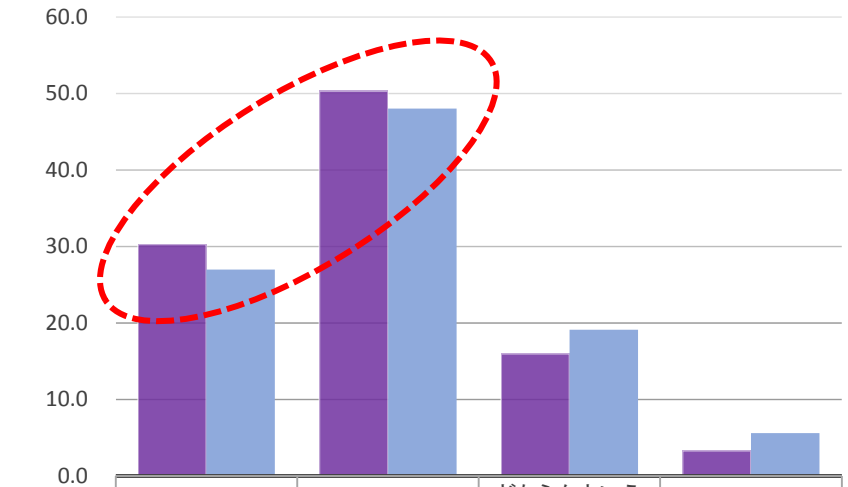
小学校国語Ｂ



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	61.7	56.4	47.2	31.1
全国	64.3	56.9	47.1	38.8

中学校

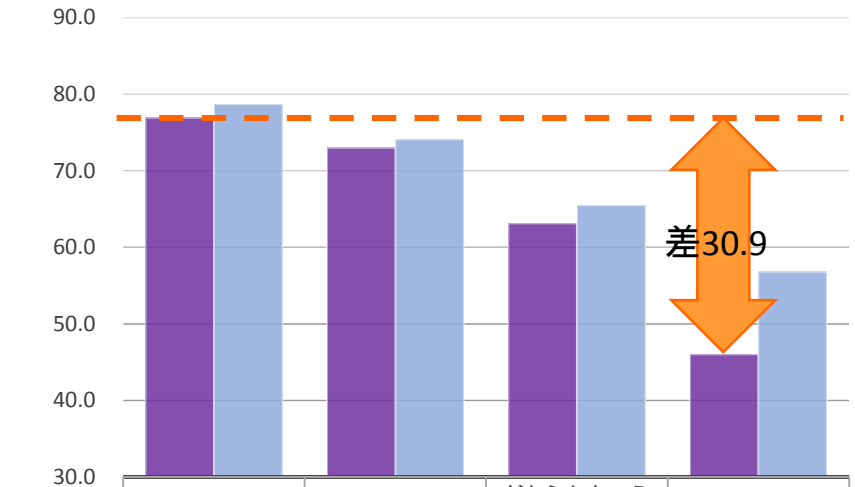
回答状況



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	30.3	50.3	16.0	3.3
全国	27.0	48.0	19.1	5.6

中学校国語Ｂ

回答別平均正答率



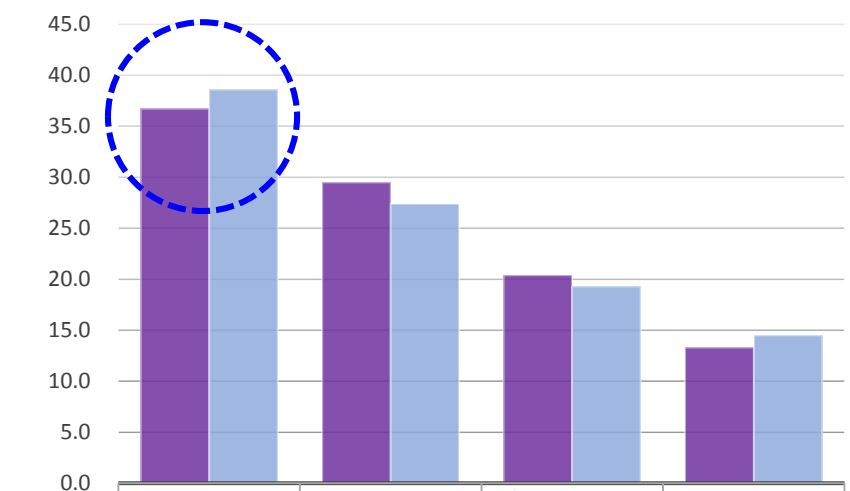
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	76.9	73.0	63.1	46.0
全国	78.7	74.1	65.5	56.8

☞ 小・中学校ともに、肯定的回答が全国平均を上回っています。

③算数・数学の勉強は好きですか。

小学校

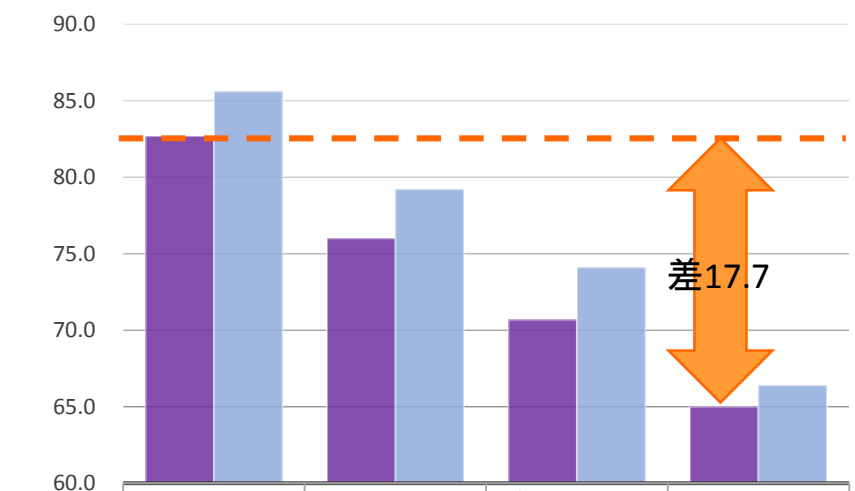
回答状況



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	36.7	29.5	20.4	13.3
全国	38.6	27.4	19.3	14.5

小学校算数Ａ

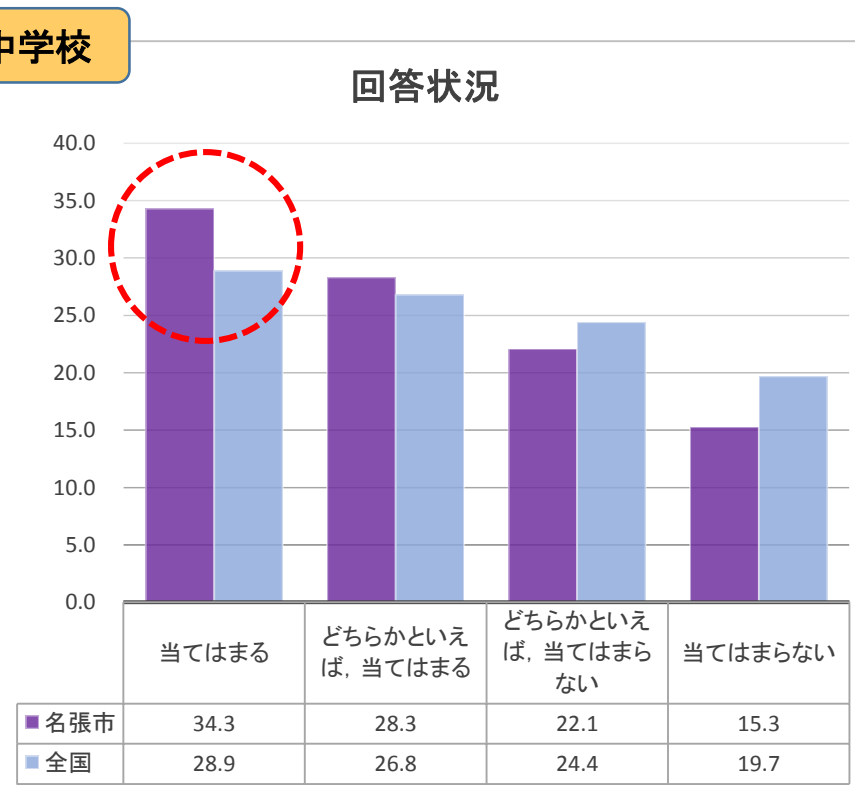
回答別平均正答率



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	82.7	76.0	70.7	65.0
全国	85.6	79.2	74.1	66.4

中学校

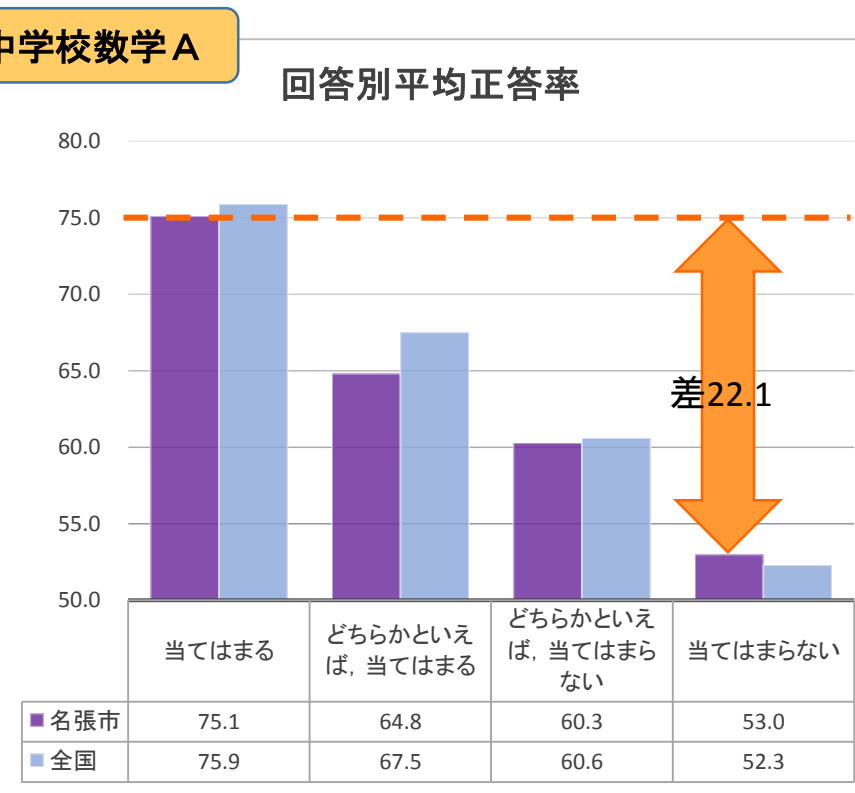
回答状況



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	34.3	28.3	22.1	15.3
全国	28.9	26.8	24.4	19.7

中学校数学Ａ

回答別平均正答率

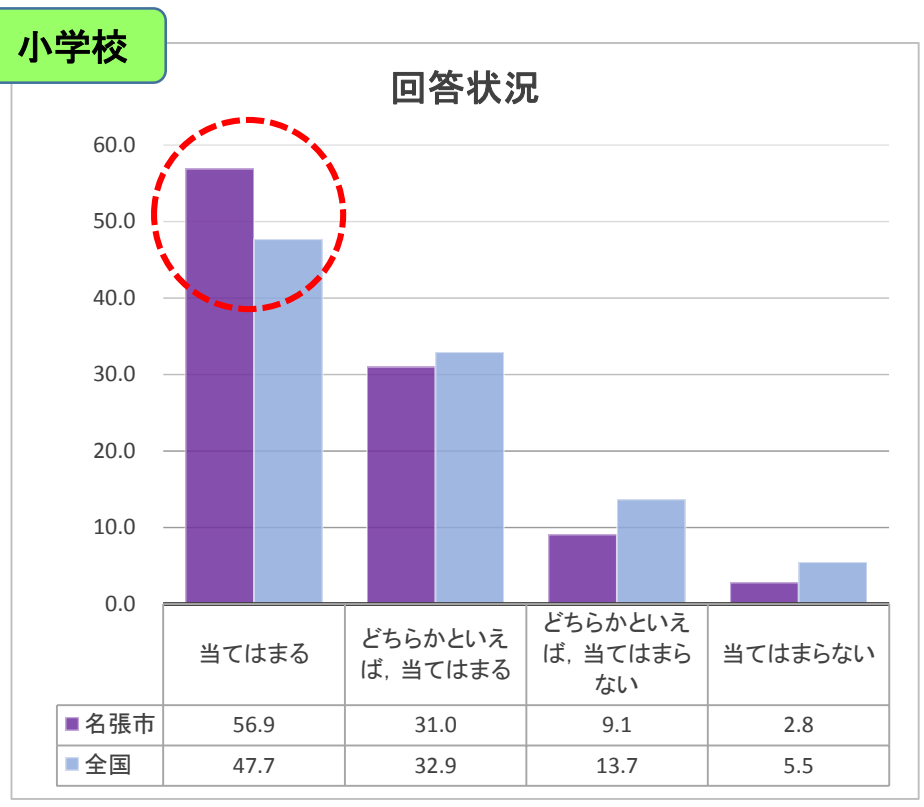


	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	75.1	64.8	60.3	53.0
全国	75.9	67.5	60.6	52.3

☞ 肯定的回答が、中学校では高く、小学校ではやや低い結果です。

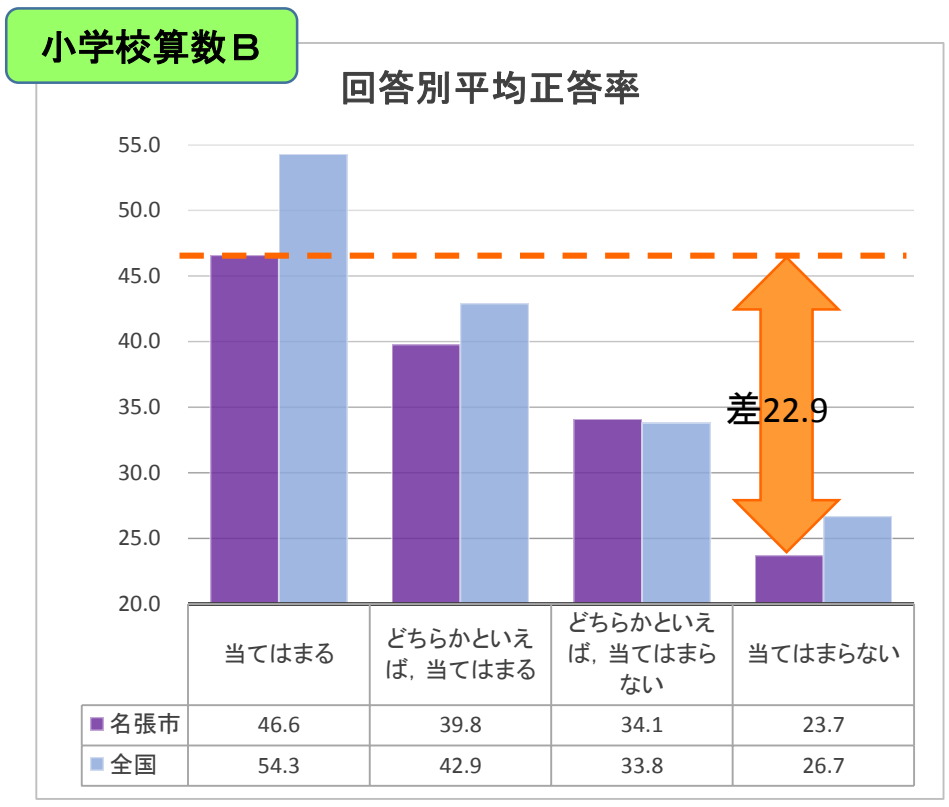
④算数・数学の授業内容はよく分かりますか。

小学校



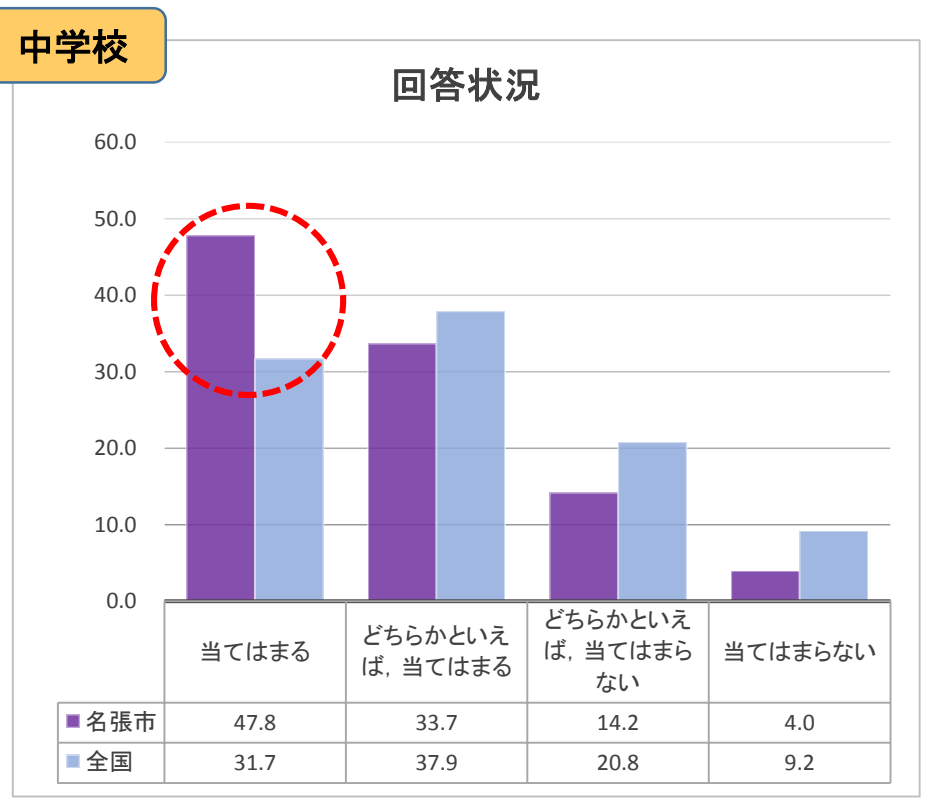
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
■名張市	56.9	31.0	9.1	2.8
■全国	47.7	32.9	13.7	5.5

小学校算数Ｂ



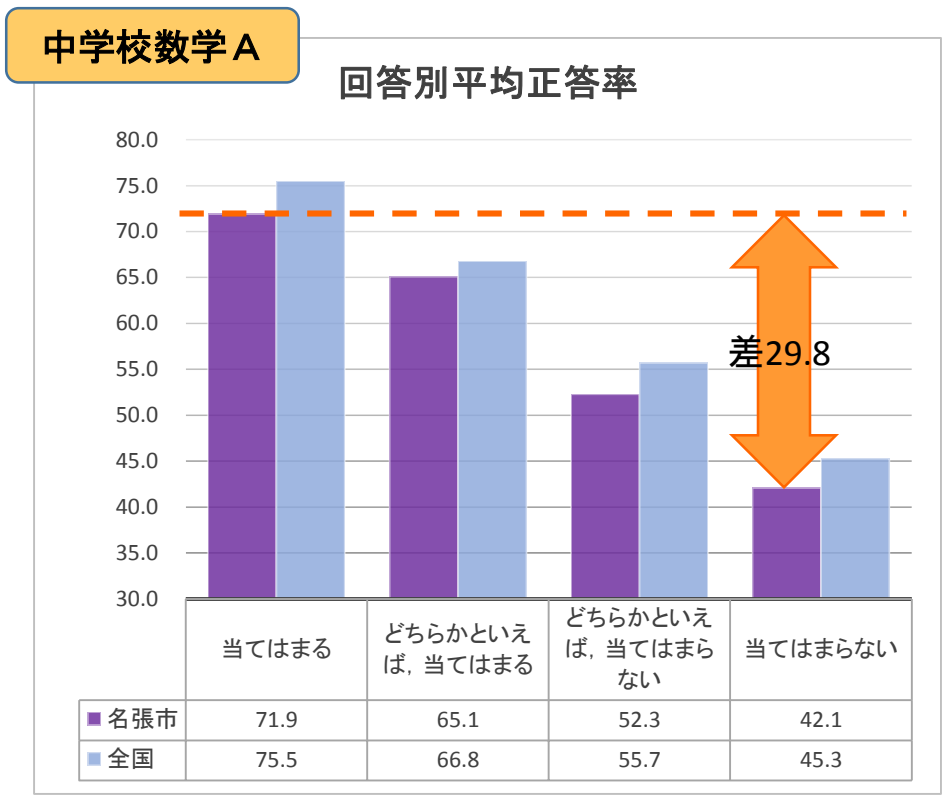
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
■名張市	46.6	39.8	34.1	23.7
■全国	54.3	42.9	33.8	26.7

中学校



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
■名張市	47.8	33.7	14.2	4.0
■全国	31.7	37.9	20.8	9.2

中学校数学Ａ

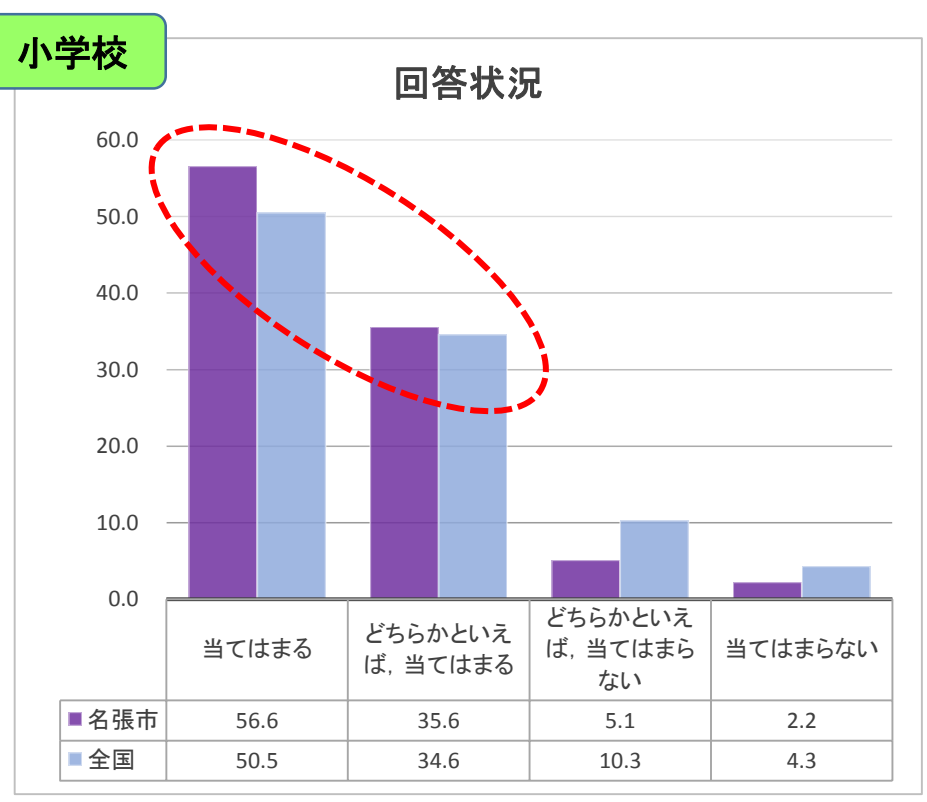


	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
■名張市	71.9	65.1	52.3	42.1
■全国	75.5	66.8	55.7	45.3

☞ 小・中学校ともに、肯定的回答が全国平均を上回っています。

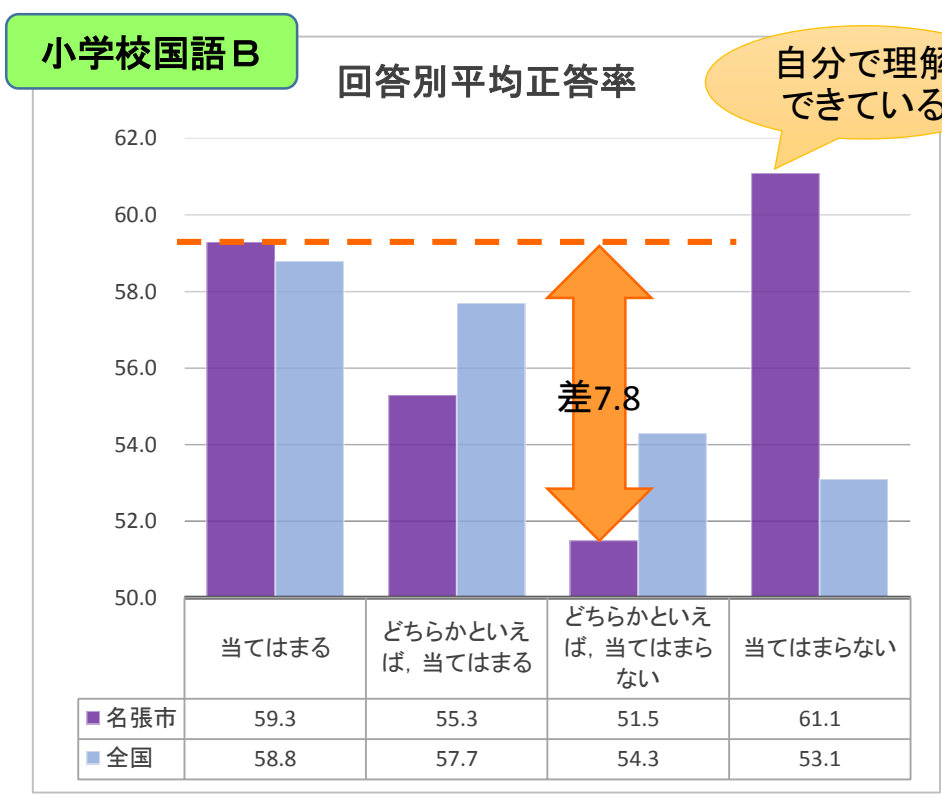
⑤先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。

小学校



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
■名張市	56.6	35.6	5.1	2.2
■全国	50.5	34.6	10.3	4.3

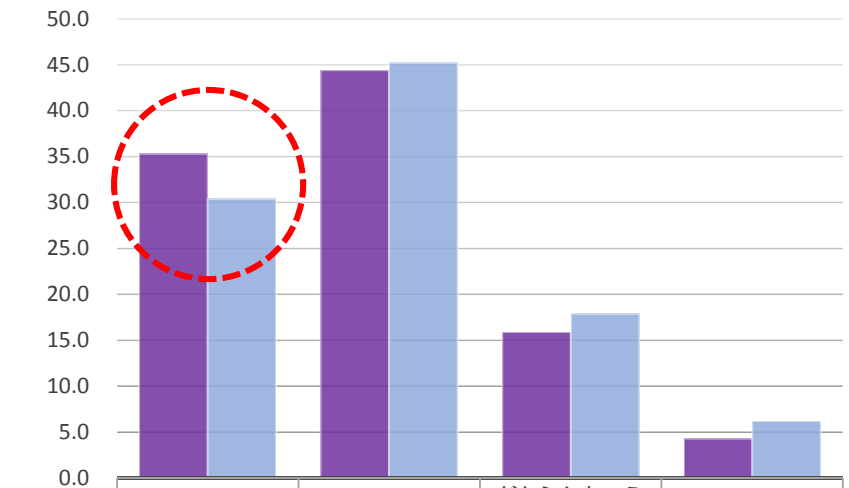
小学校国語Ｂ



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
■名張市	59.3	55.3	51.5	61.1
■全国	58.8	57.7	54.3	53.1

中学校

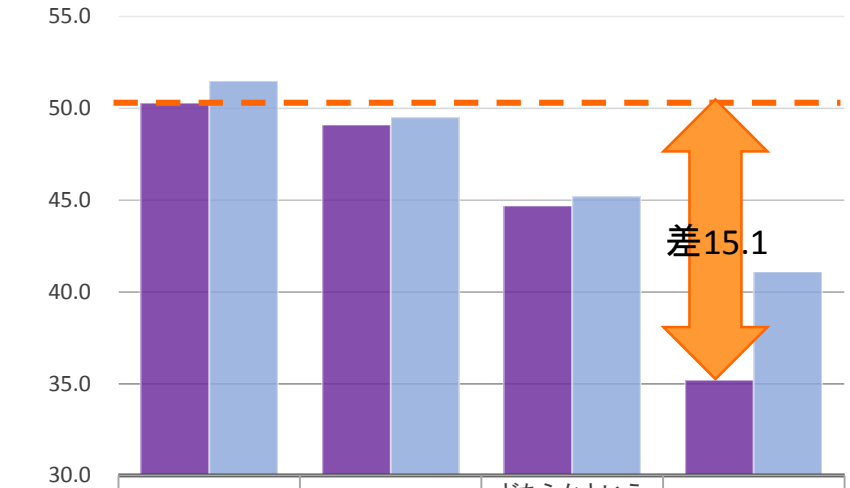
回答状況



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	35.3	44.4	15.9	4.3
全国	30.4	45.2	17.9	6.2

中学校数学Ｂ

回答別平均正答率



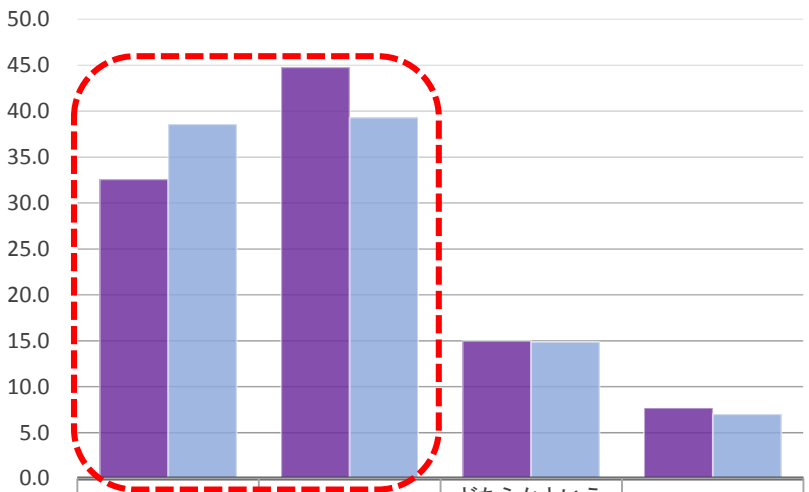
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	50.3	49.1	44.7	35.2
全国	51.5	49.5	45.2	41.1

☞ 小・中学校ともに肯定的回答が多いことに、教員の粘り強い指導が現れています。

⑥自分には、よいところがあると思いますか。

小学校

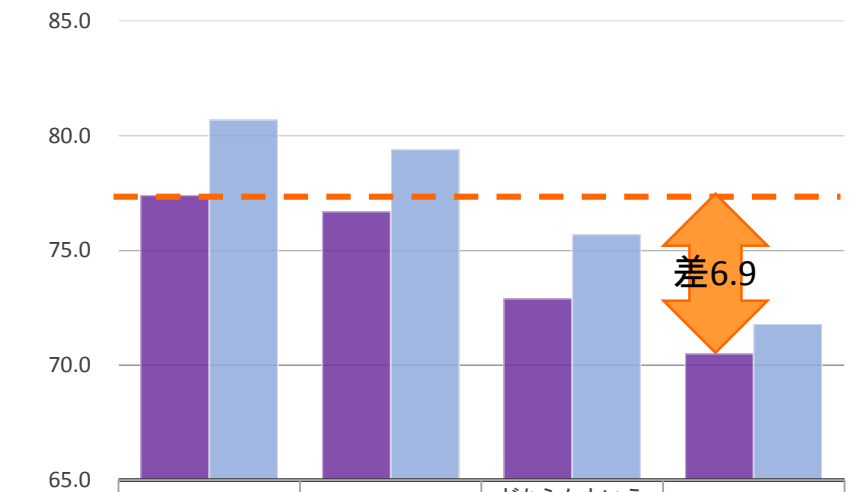
回答状況



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	32.6	44.8	15.0	7.7
全国	38.6	39.3	14.9	7.0

小学校算数Ａ

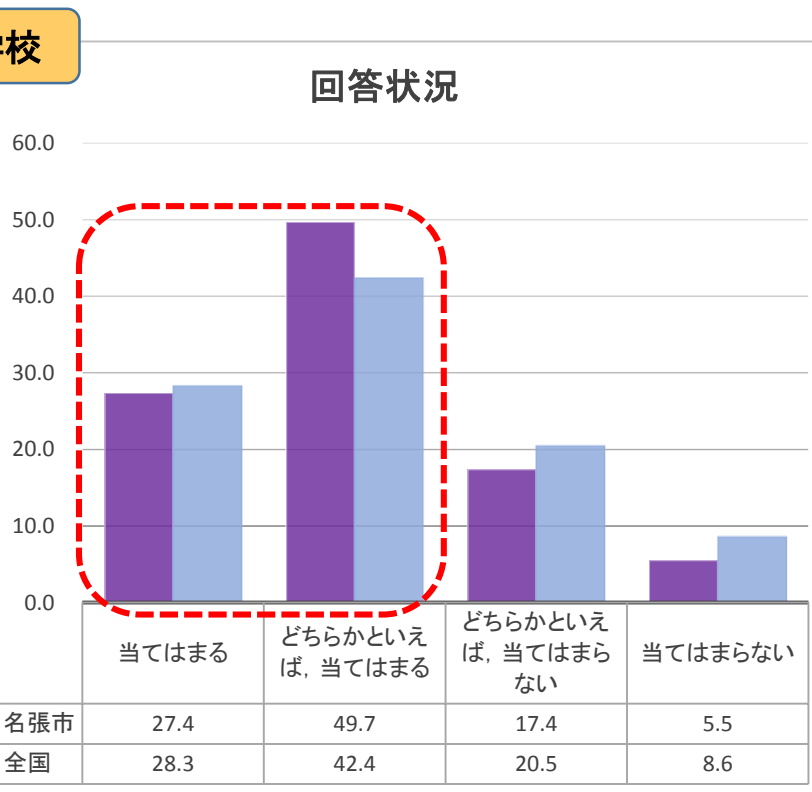
回答別平均正答率



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	77.4	76.7	72.9	70.5
全国	80.7	79.4	75.7	71.8

中学校

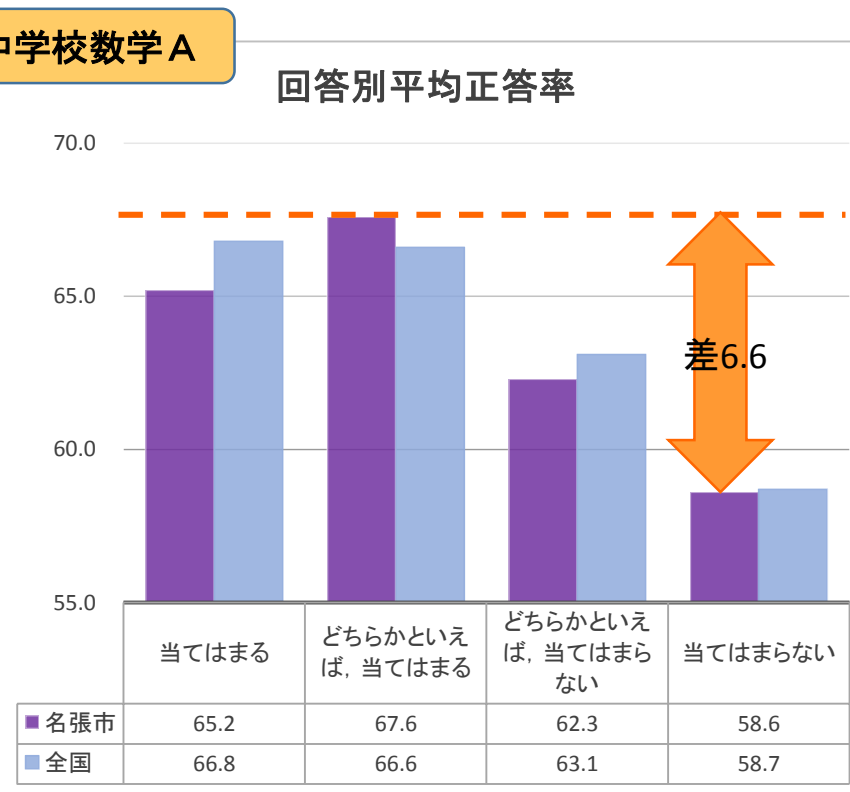
回答状況



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	27.4	49.7	17.4	5.5
全国	28.3	42.4	20.5	8.6

中学校数学Ａ

回答別平均正答率

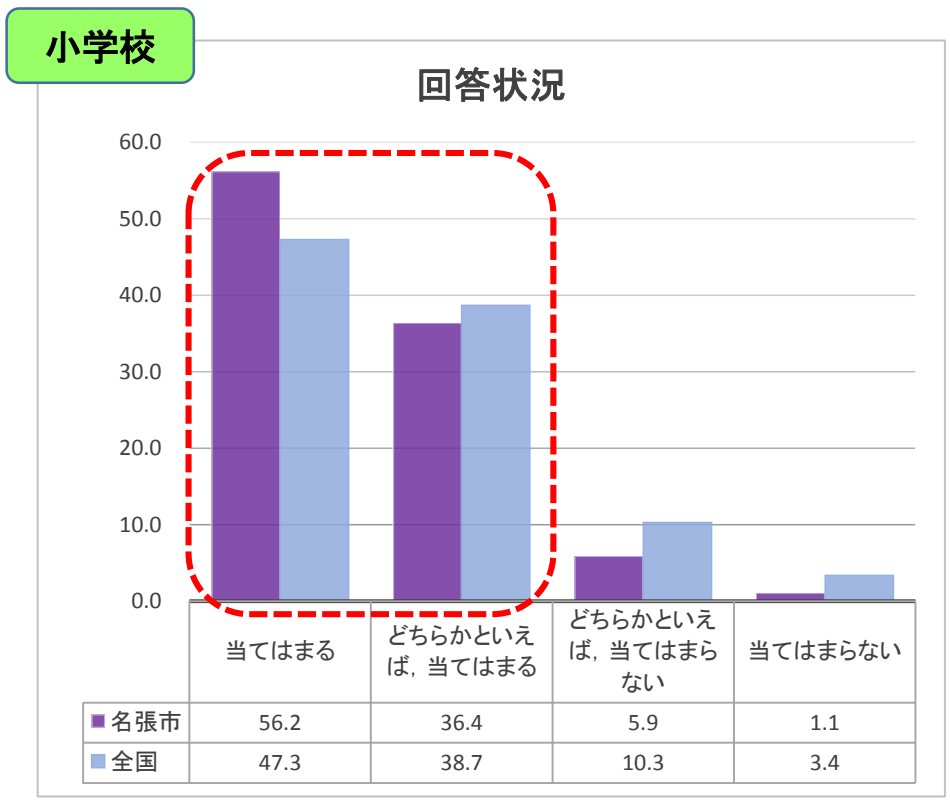


	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	65.2	67.6	62.3	58.6
全国	66.8	66.6	63.1	58.7

☞ 小・中学校ともに、肯定的回答の割合が高いです。自己肯定感も正答率と相関があります。

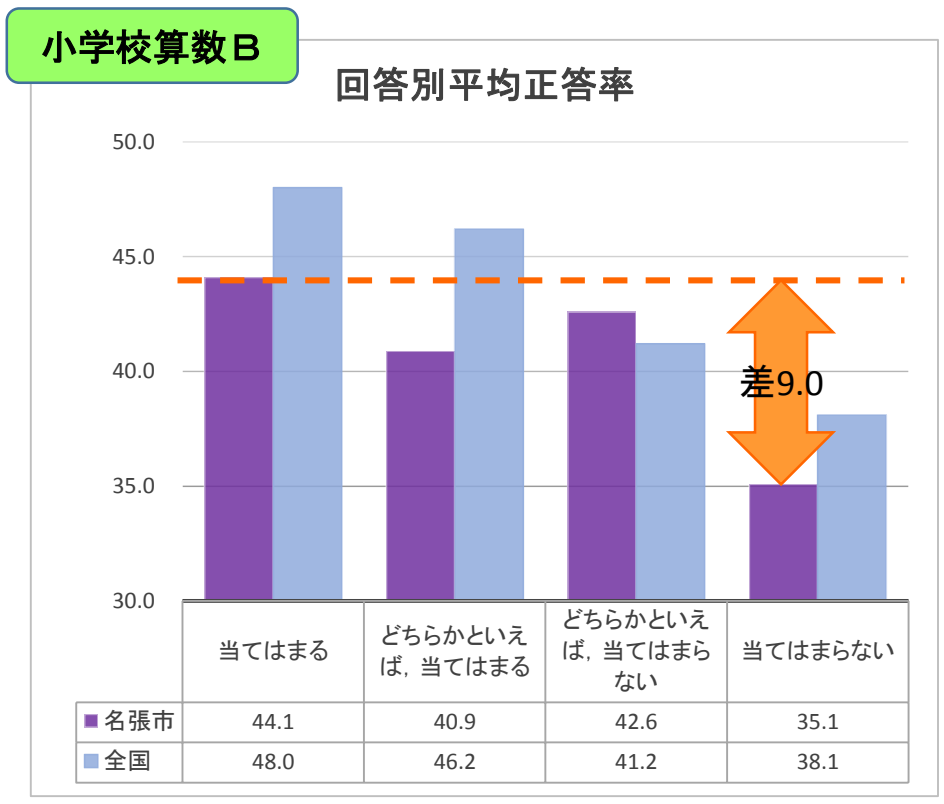
⑦先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

小学校



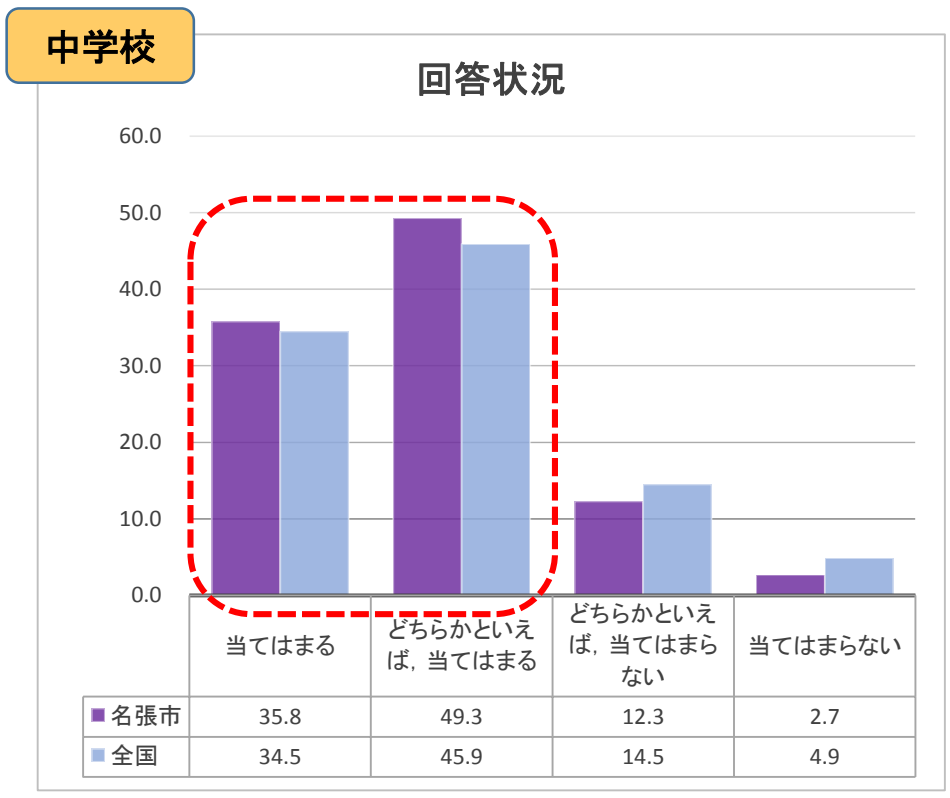
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	56.2	36.4	5.9	1.1
全国	47.3	38.7	10.3	3.4

小学校算数Ｂ



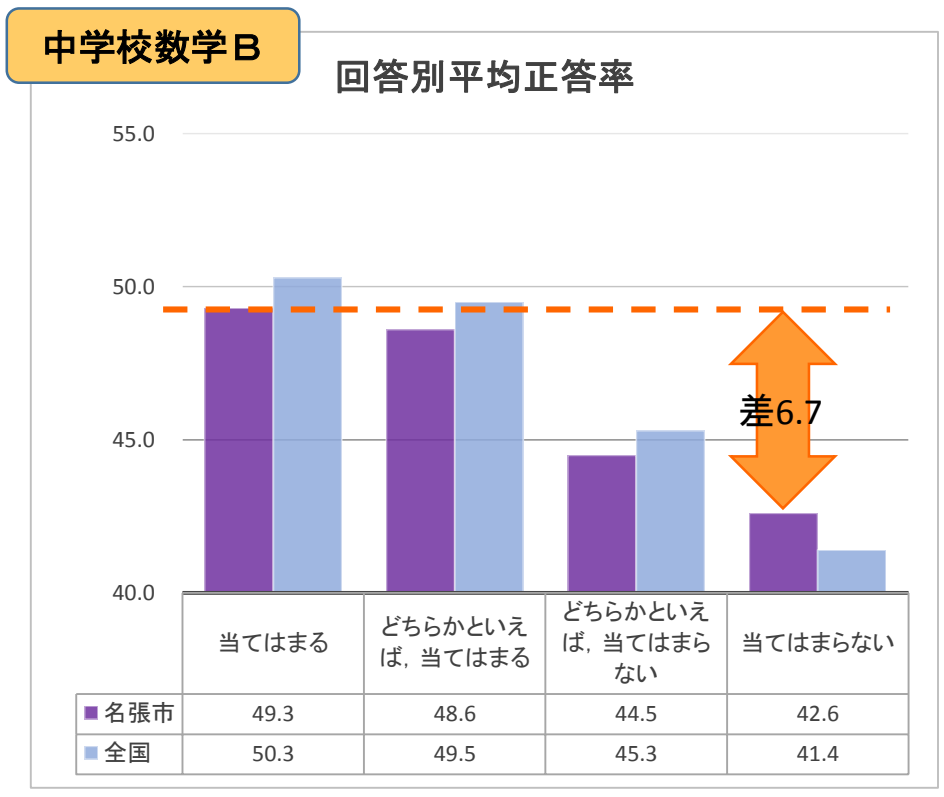
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	44.1	40.9	42.6	35.1
全国	48.0	46.2	41.2	38.1

中学校



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	35.8	49.3	12.3	2.7
全国	34.5	45.9	14.5	4.9

中学校数学Ｂ

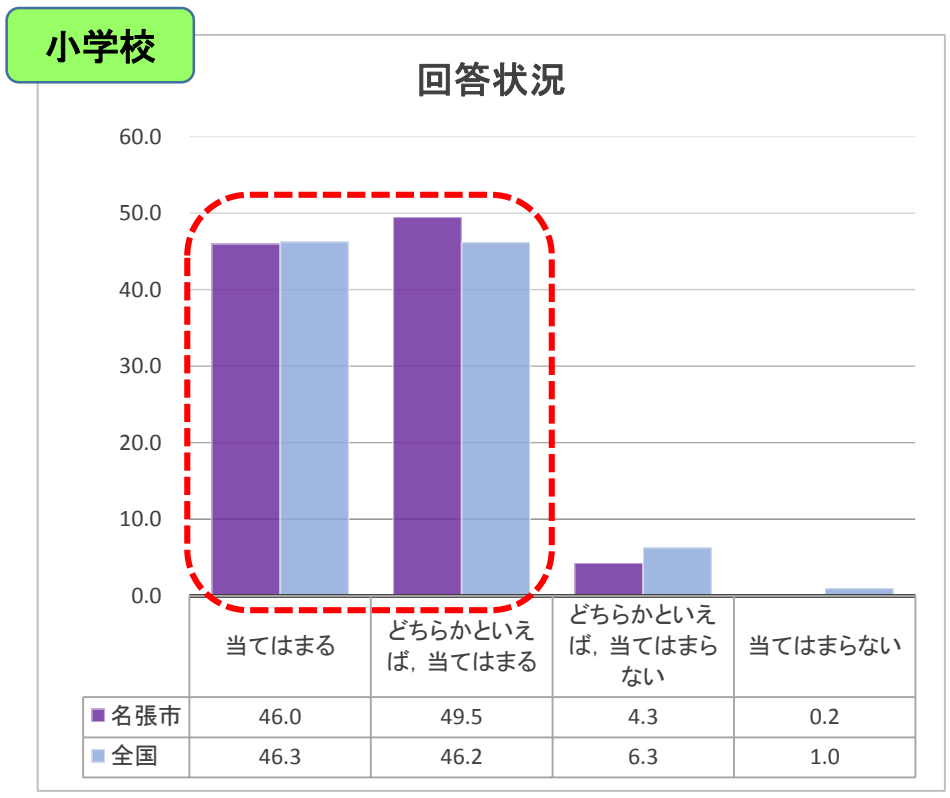


	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	49.3	48.6	44.5	42.6
全国	50.3	49.5	45.3	41.4

☞ 小・中学校ともに、教職員からの承認感が全国より高いです。

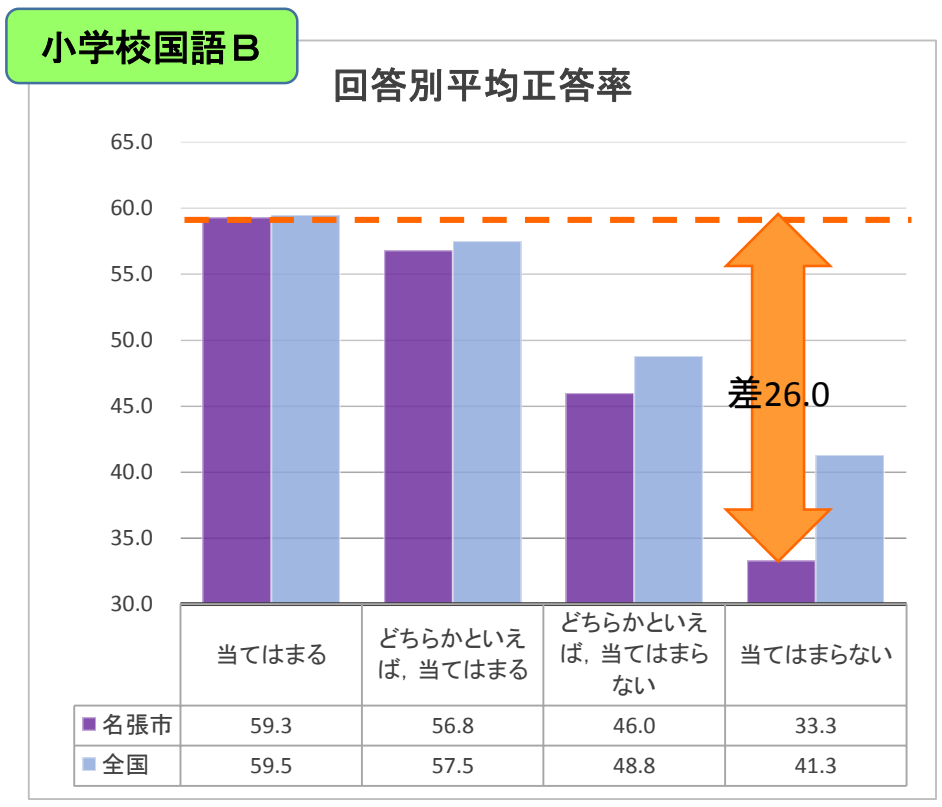
⑧学校のきまり（規則）を守っていますか。

小学校



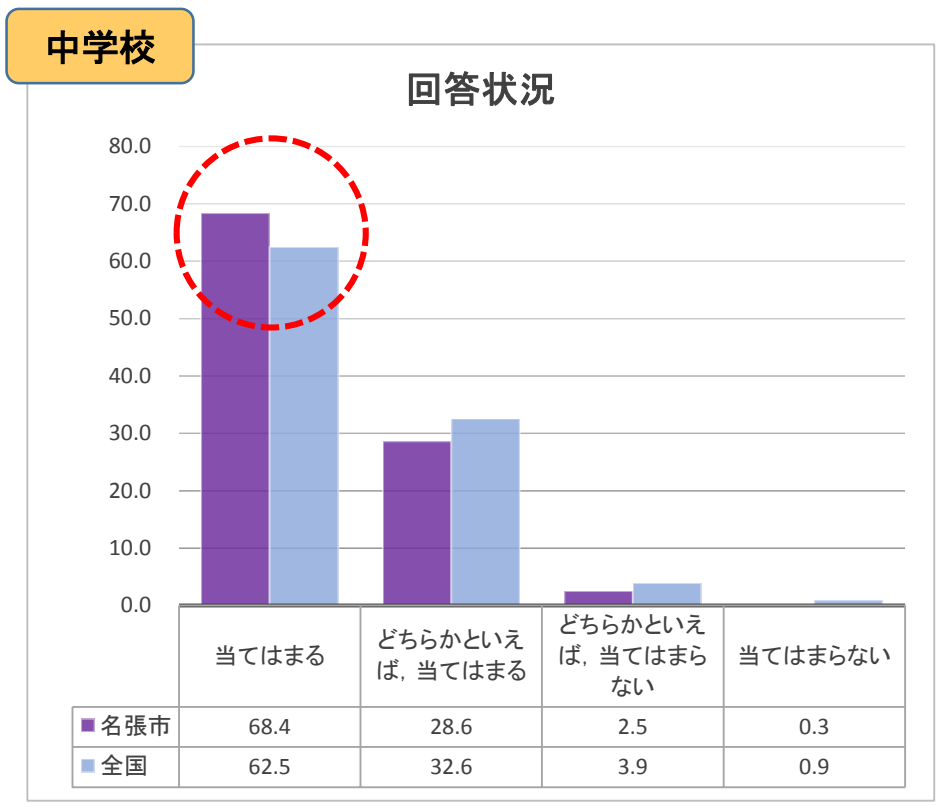
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	46.0	49.5	4.3	0.2
全国	46.3	46.2	6.3	1.0

小学校国語Ｂ



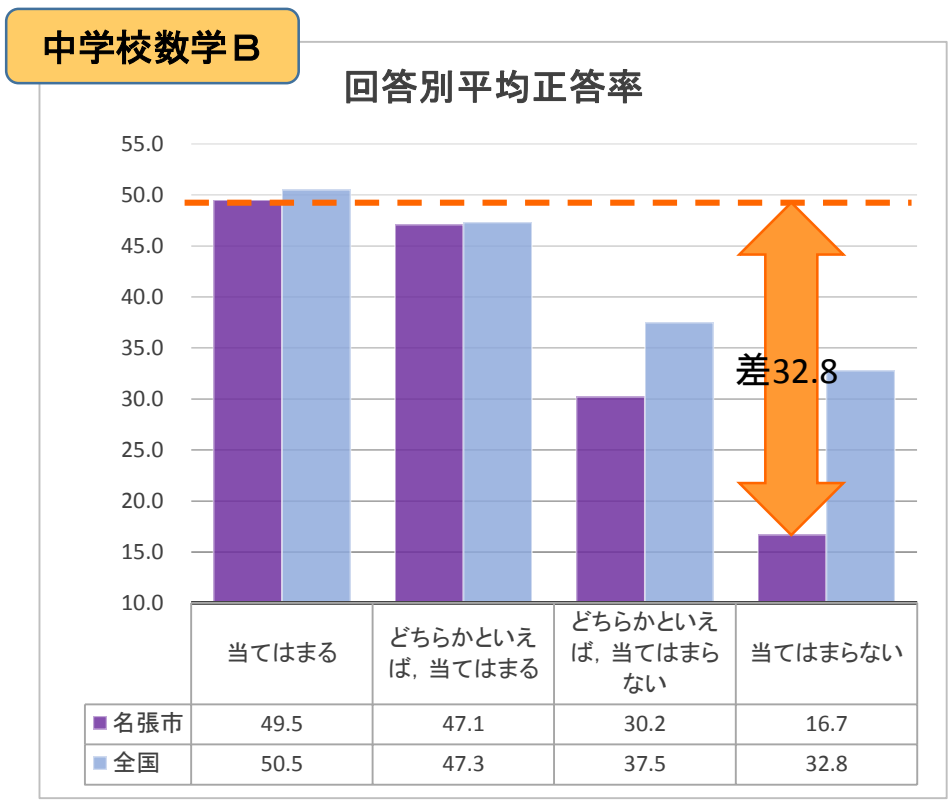
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	59.3	56.8	46.0	33.3
全国	59.5	57.5	48.8	41.3

中学校



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	68.4	28.6	2.5	0.3
全国	62.5	32.6	3.9	0.9

中学校数学Ｂ



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	49.5	47.1	30.2	16.7
全国	50.5	47.3	37.5	32.8

☞ 近年、名張の子どもたちの規範意識が高まっています。規範意識についても、正答率との相関があります。

【学校教育に関する特徴的なこと】

・「国語の勉強は好きですか。」の質問に対して、肯定的な回答割合が小学校では全国平均より高く、中学校ではやや低い。一方で、「算数・数学の勉強は好きですか。」の質問に対して、肯定的な回答割合が中学校では全国平均より高く、小学校ではやや低い。

・「国語の授業内容はよく分かりますか。」「算数・数学の授業内容はよく分かりますか。」の質問に対して、小・中学校とも、肯定的な回答割合が全国平均より高い、よい傾向が続いている。

・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。」の質問に対して、小・中学校とも、肯定的回答が全国平均より高い。

・「自分にはよいところがある」と感じている児童生徒の割合が全国より高く、自己肯定感の高い、良い傾向である。

・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の質問に対して、小・中学校とも、肯定的な回答割合が全国平均より高い。

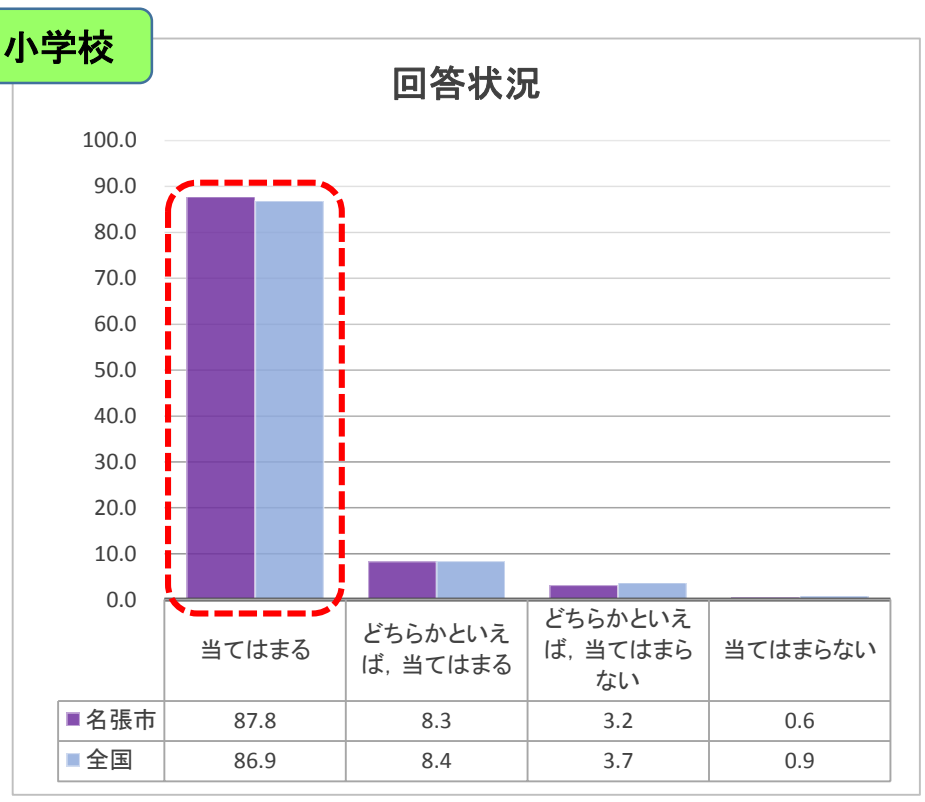
・「学校のきまり（規則）を守っている」と回答した児童生徒の割合が全国平均より高く、規範意識が高い。

☞ 各教科について、「好きですか」、「授業の内容はよく分かりますか」と言う質問に対する回答と、各調査項目の平均正答率との間には相関関係があります。しかし、本市の調査結果からは、「好きだ」「よく分かる」と言う答えが全国を上回っていても、平均正答率は全国とほぼ同じかやや低い調査項目もありました。このことから、今後は、児童生徒の習熟度に応じた指導方法、学習内容の定着に結びつく指導方法の研究や授業で取り扱う学習内容の吟味等をすすめ、さらなる学力の向上を目指していく必要があります。
　また、教師の「分かるまで教えようとする姿勢」や「よいところを認めていく姿勢」に大変向上が見られ、よい傾向が生まれています。同時に子どもたちの自己肯定感や規範意識にも好結果が現れており、今後さらに伸ばしていきたいところです。

（２）基本的生活習慣に関すること

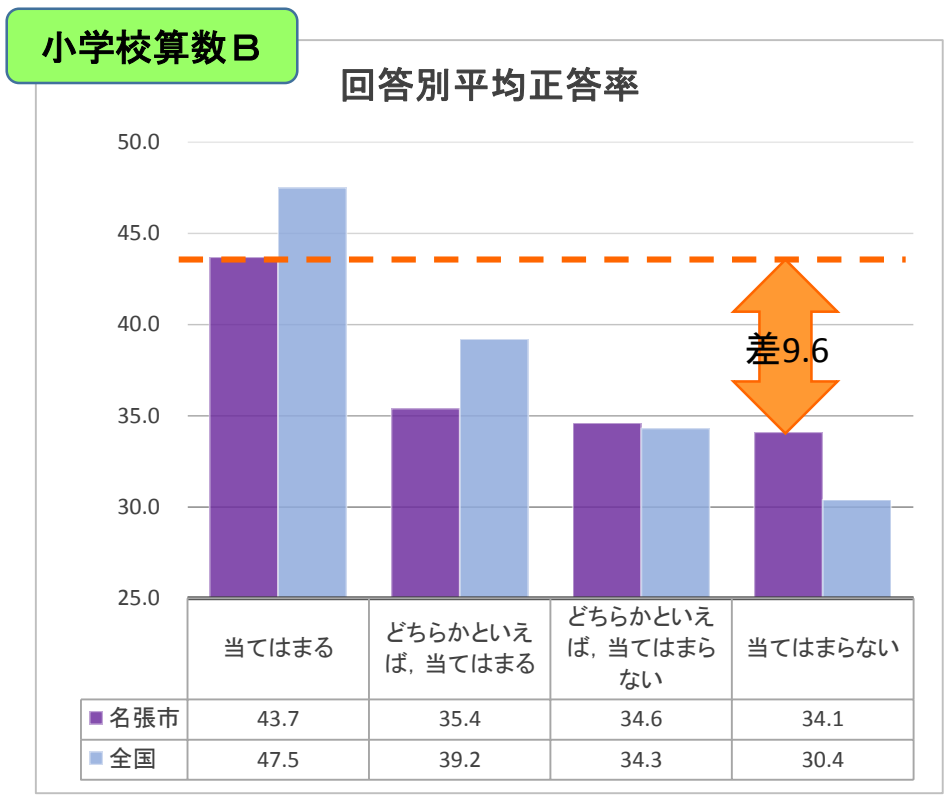
①朝食を毎日食べていますか。

小学校



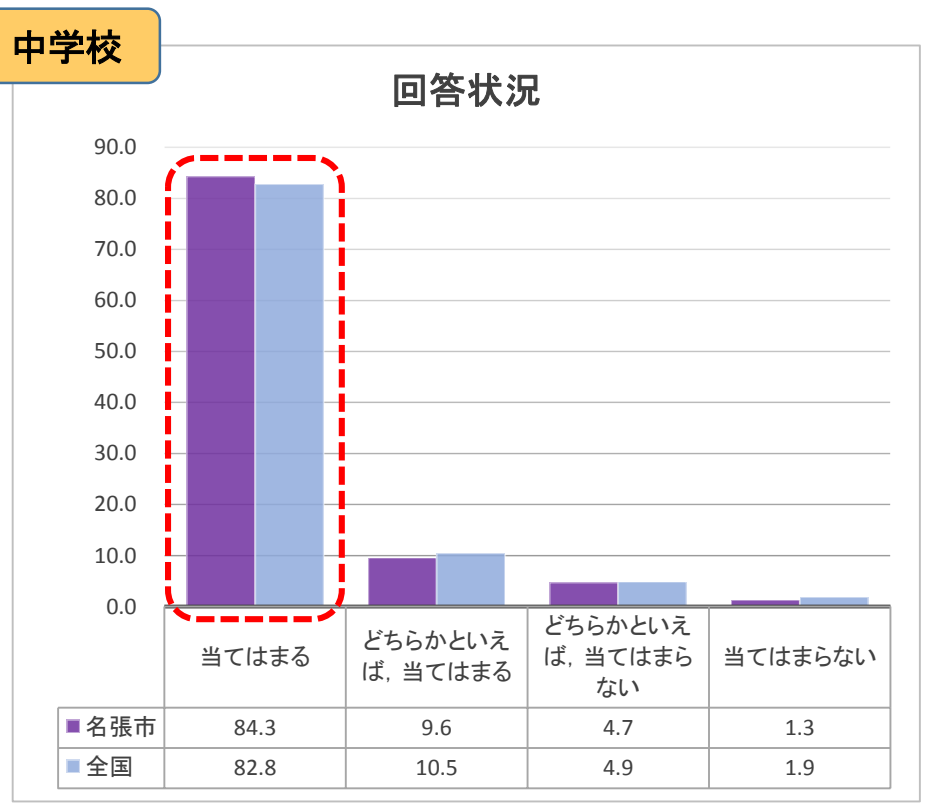
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	87.8	8.3	3.2	0.6
全国	86.9	8.4	3.7	0.9

小学校算数Ｂ



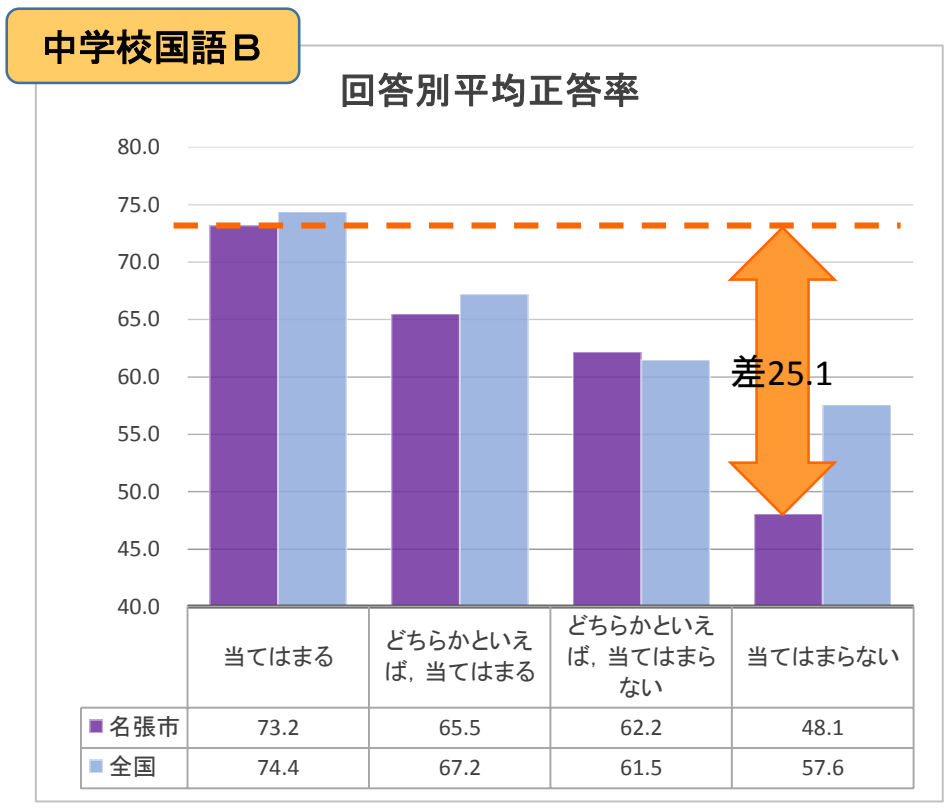
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	43.7	35.4	34.6	34.1
全国	47.5	39.2	34.3	30.4

中学校



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	84.3	9.6	4.7	1.3
全国	82.8	10.5	4.9	1.9

中学校国語Ｂ

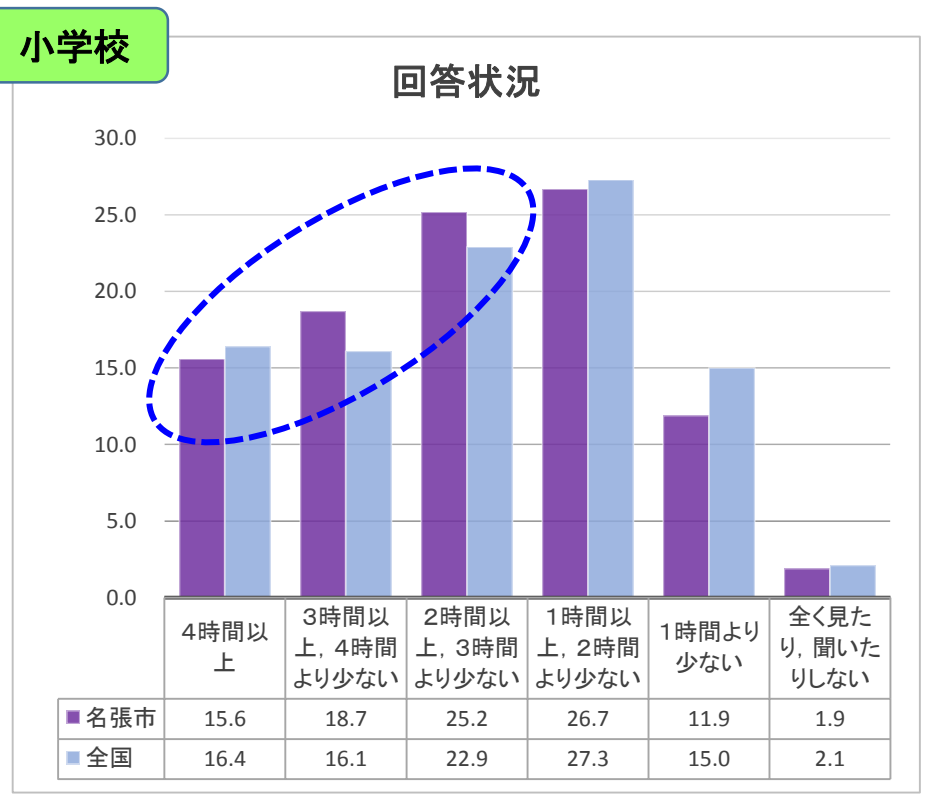


	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	73.2	65.5	62.2	48.1
全国	74.4	67.2	61.5	57.6

☞　「当てはまる」の回答は、小・中学校ともに全国平均より高い結果です。

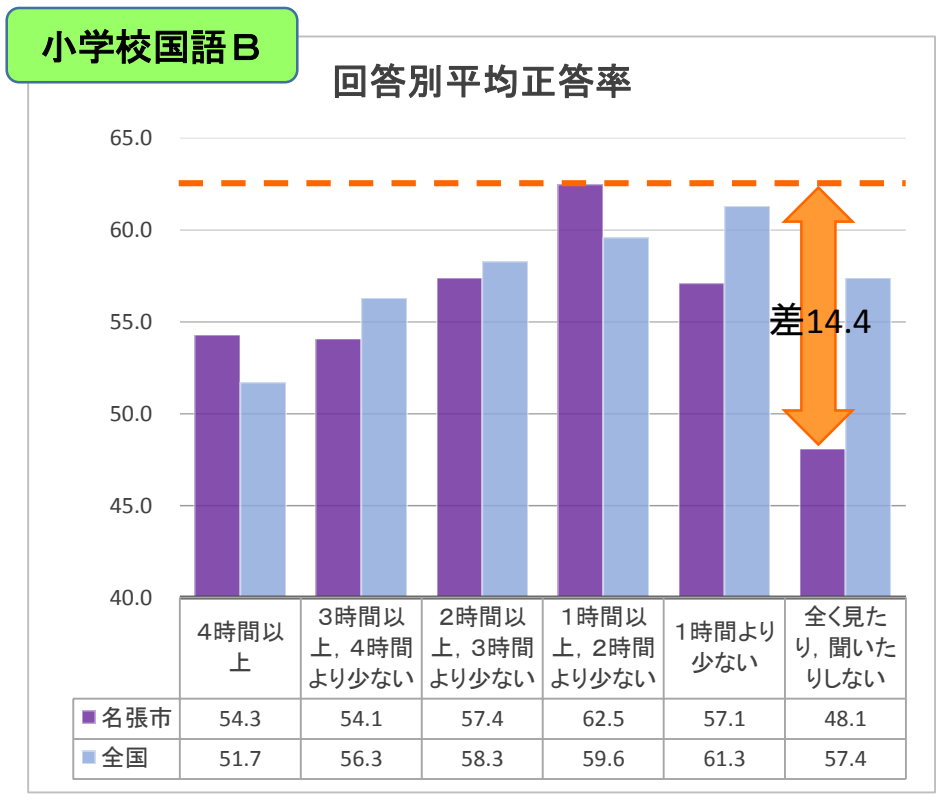
②普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり聞いたりしますか。

小学校



	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全く見たり，聞いたりしない
名張市	15.6	18.7	25.2	26.7	11.9	1.9
全国	16.4	16.1	22.9	27.3	15.0	2.1

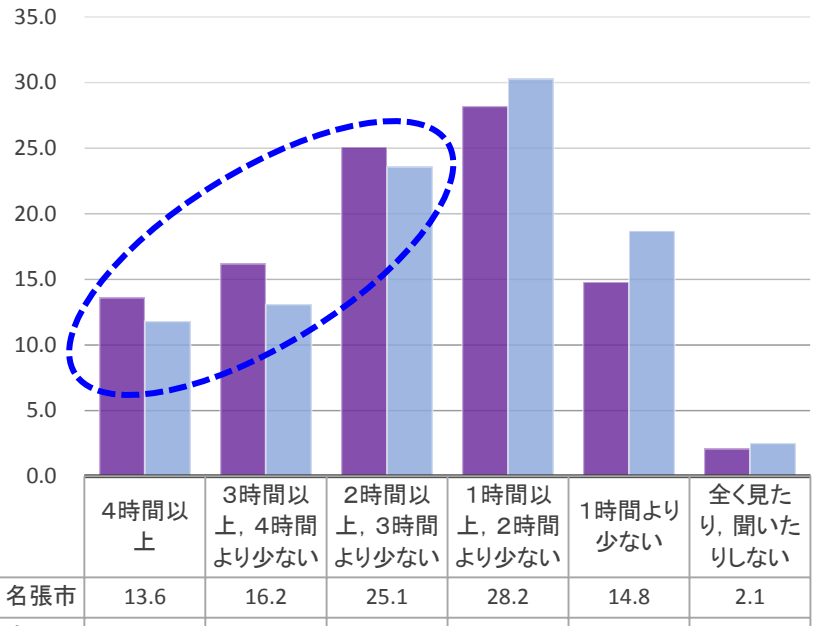
小学校国語Ｂ



	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全く見たり，聞いたりしない
名張市	54.3	54.1	57.4	62.5	57.1	48.1
全国	51.7	56.3	58.3	59.6	61.3	57.4

中学校

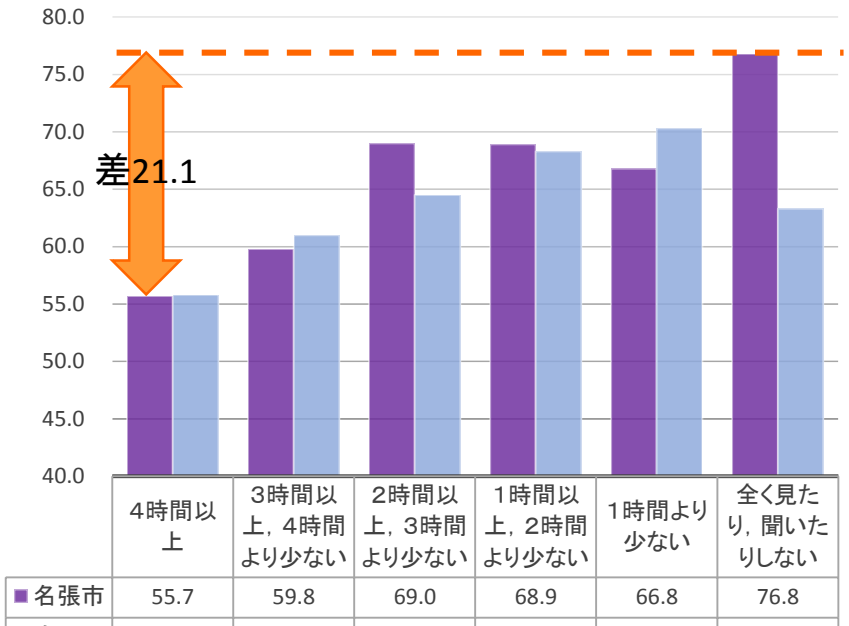
回答状況



	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全く見たり，聞いたりしない
■名張市	13.6	16.2	25.1	28.2	14.8	2.1
■全国	11.8	13.1	23.6	30.3	18.7	2.5

中学校数学Ａ

回答別平均正答率



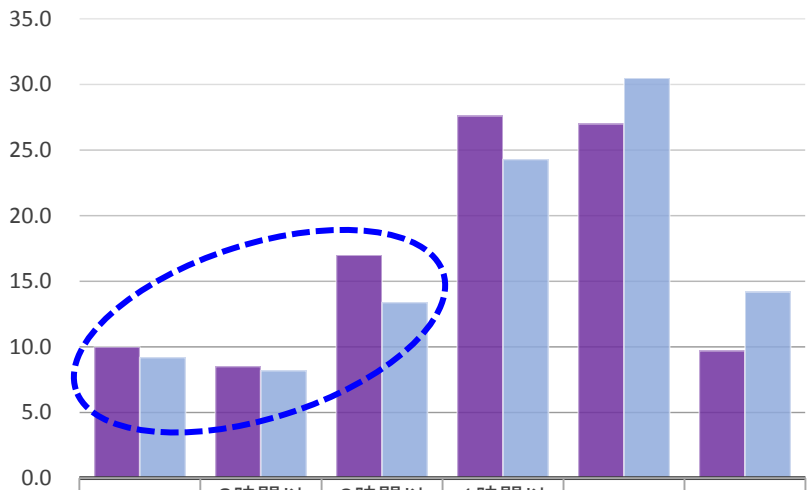
	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全く見たり，聞いたりしない
■名張市	55.7	59.8	69.0	68.9	66.8	76.8
■全国	55.8	61.0	64.5	68.3	70.3	63.3

☞ 小・中学校ともに、テレビ等を長時間視聴している児童生徒の割合が高いです。

③普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

小学校

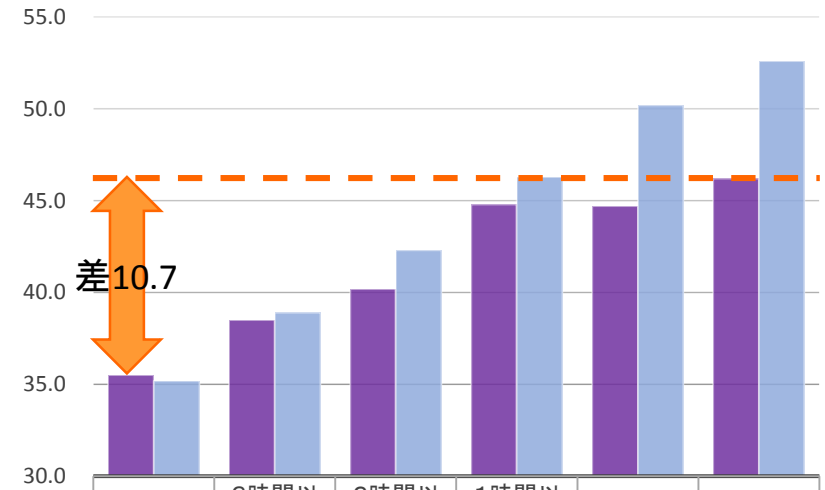
回答状況



	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
■名張市	10.0	8.5	17.0	27.6	27.0	9.7
■全国	9.2	8.2	13.4	24.3	30.5	14.2

小学校算数Ｂ

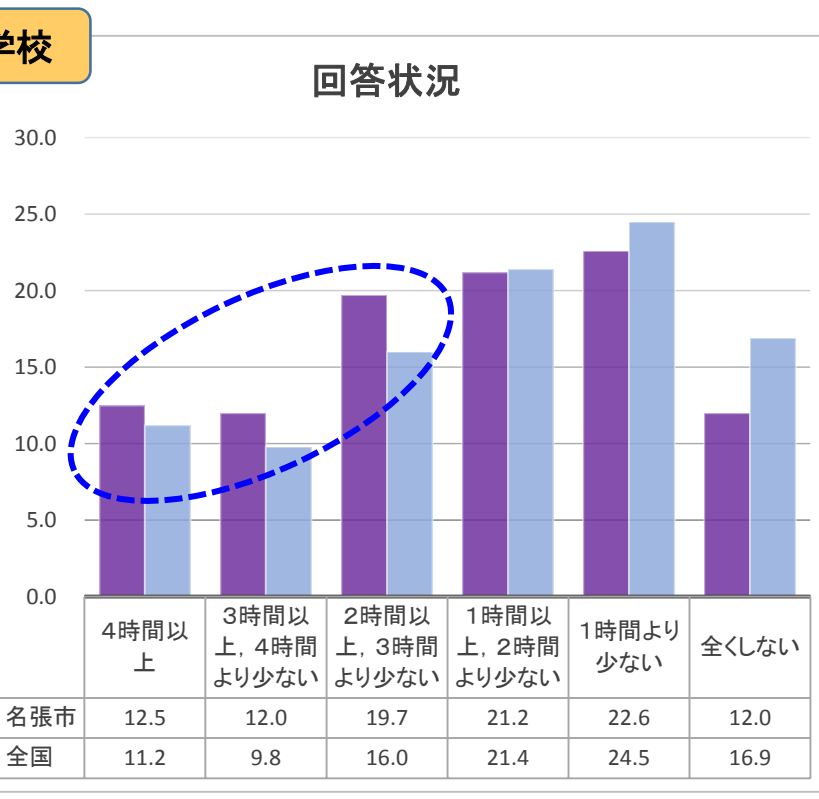
回答別平均正答率



	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
■名張市	35.5	38.5	40.2	44.8	44.7	46.2
■全国	35.2	38.9	42.3	46.3	50.2	52.6

中学校

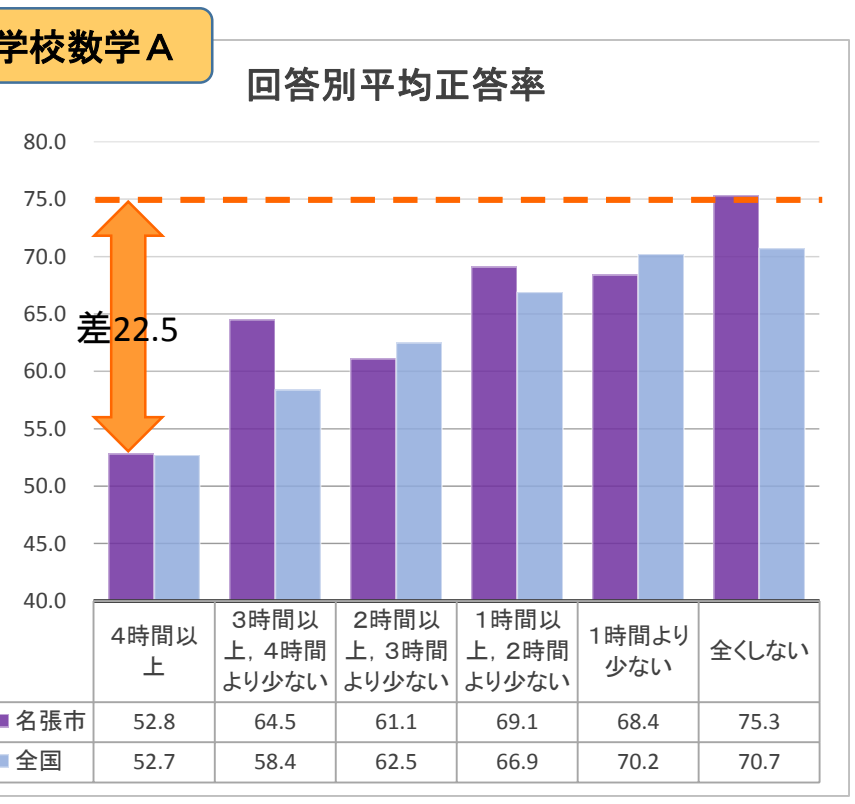
回答状況



	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
■名張市	12.5	12.0	19.7	21.2	22.6	12.0
■全国	11.2	9.8	16.0	21.4	24.5	16.9

中学校数学Ａ

回答別平均正答率

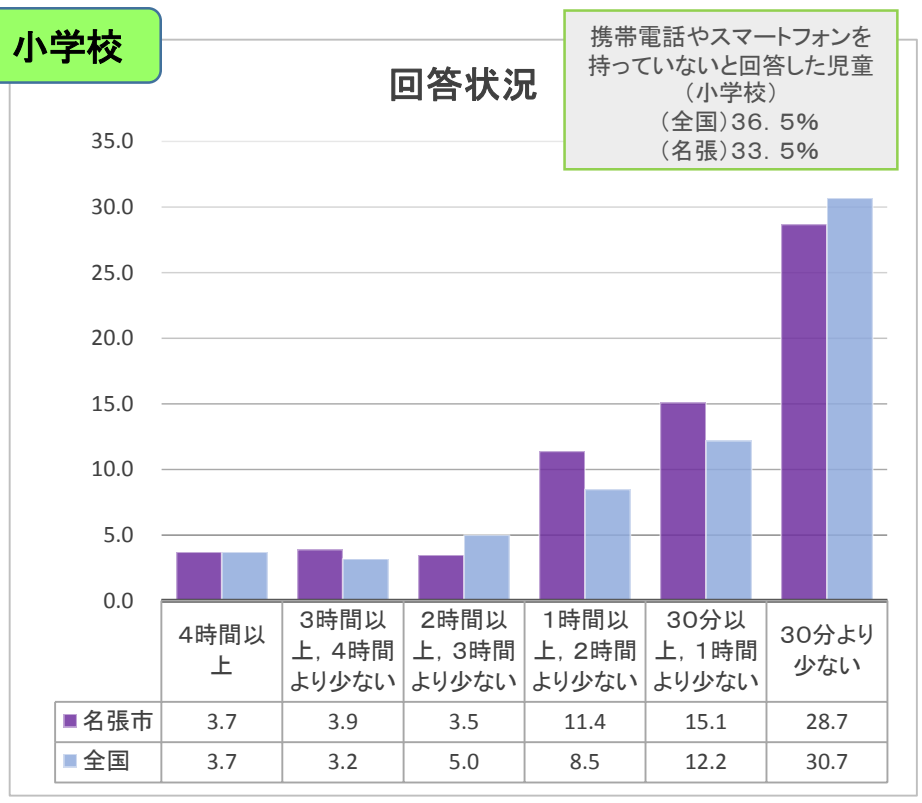


	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
■名張市	52.8	64.5	61.1	69.1	68.4	75.3
■全国	52.7	58.4	62.5	66.9	70.2	70.7

☞ 小・中学校ともに、ゲームを長時間している児童生徒の割合が全国より高いです。

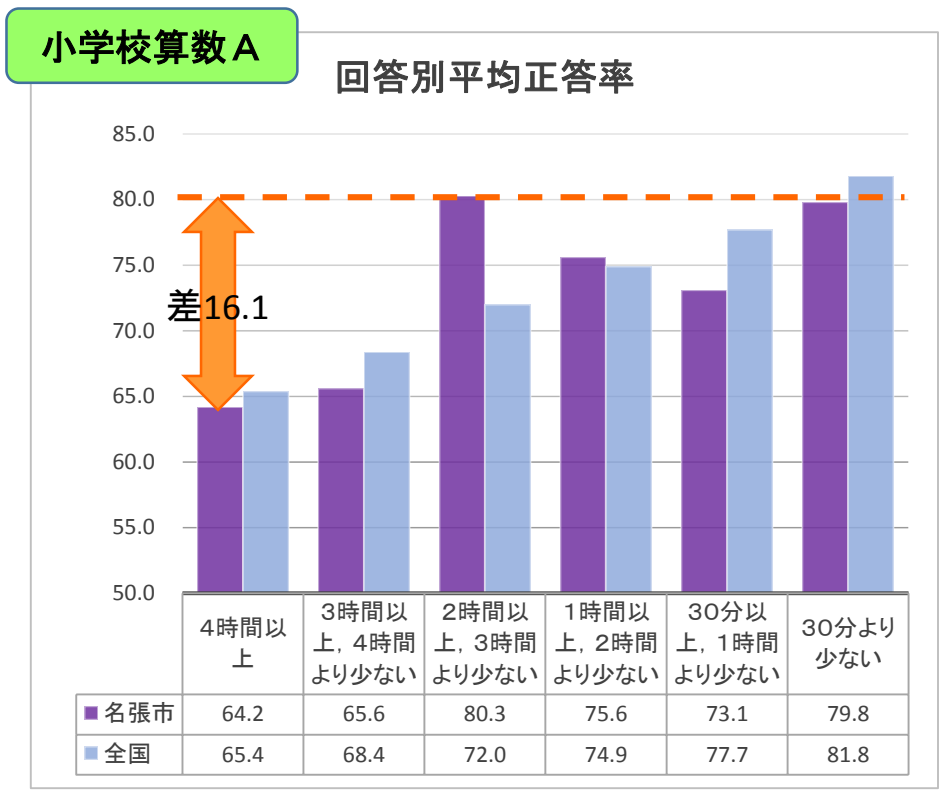
④普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（ゲームの時間は除く）

小学校



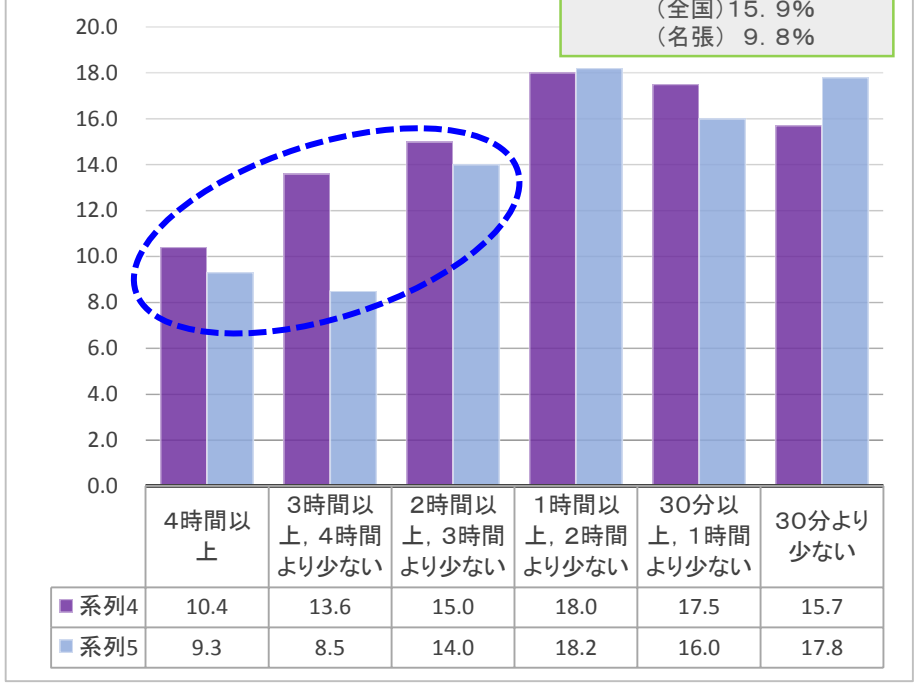
	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	30分より少ない
名張市	3.7	3.9	3.5	11.4	15.1	28.7
全国	3.7	3.2	5.0	8.5	12.2	30.7

小学校算数Ａ



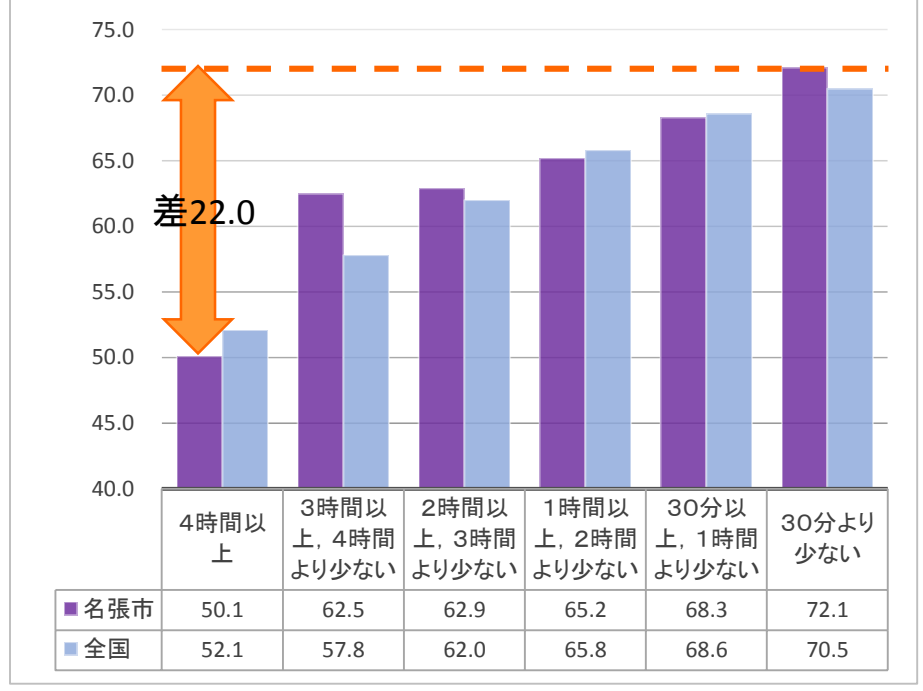
	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	30分より少ない
名張市	64.2	65.6	80.3	75.6	73.1	79.8
全国	65.4	68.4	72.0	74.9	77.7	81.8

中学校



	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	30分より少ない
系列4	10.4	13.6	15.0	18.0	17.5	15.7
系列5	9.3	8.5	14.0	18.2	16.0	17.8

中学校数学Ａ



	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	30分より少ない
名張市	50.1	62.5	62.9	65.2	68.3	72.1
全国	52.1	57.8	62.0	65.8	68.6	70.5

☞ 小・中学校ともに、スマートフォン等の長時間使用の割合が高く、所持率も高い結果となっています。

【生活習慣で特徴的なこと】

・「朝ごはんを毎日食べていますか。」の質問に対して、「当てはまる」と回答した割合は、小・中学校ともに全国平均より高い。

・長時間テレビ等を見たり、長時間テレビゲーム等をしたり、長時間スマートフォンや携帯電話で通話やメール、インターネットをしたりする児童生徒の割合が高い傾向が続いている。

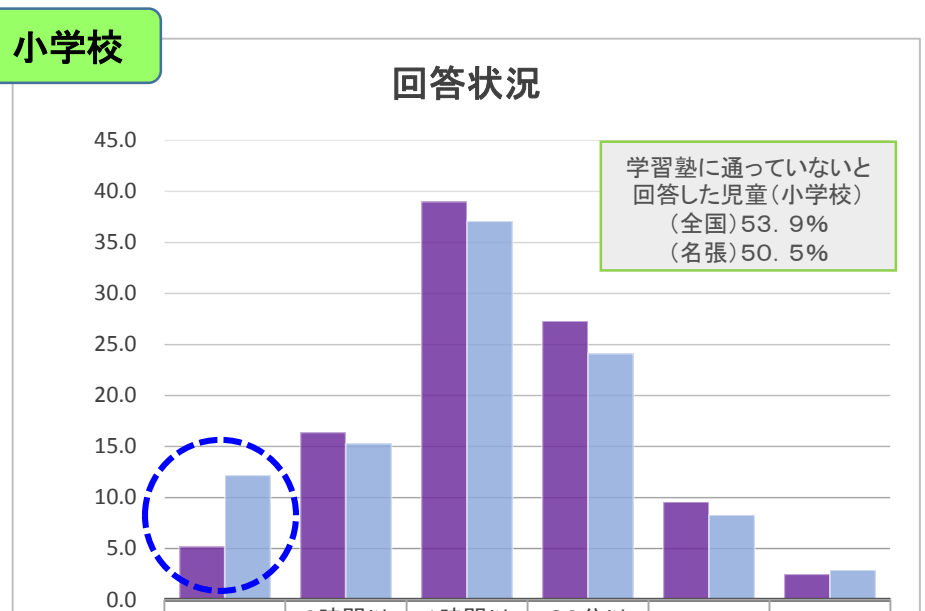
・スマートフォンの所持率が全国と比べて高い。

☞上記のクロス集計から分かりますが、家庭での生活習慣と、学力には強い相関関係があります。本市の子どもたちは、例年、本調査結果によるとテレビを長時間見ている児童生徒が多く、ゲームを長時間している児童生徒も多い結果となっています。また、スマホの所持率が高く、使用時間も長いという結果です。
　子どもたちの健やかな成長のためには、テレビやゲームの時間を“読書”に、スマホの時間を“家族の会話”に、といった改善を、家庭と連携してすすめることが必要です。

（３）家庭学習に関すること

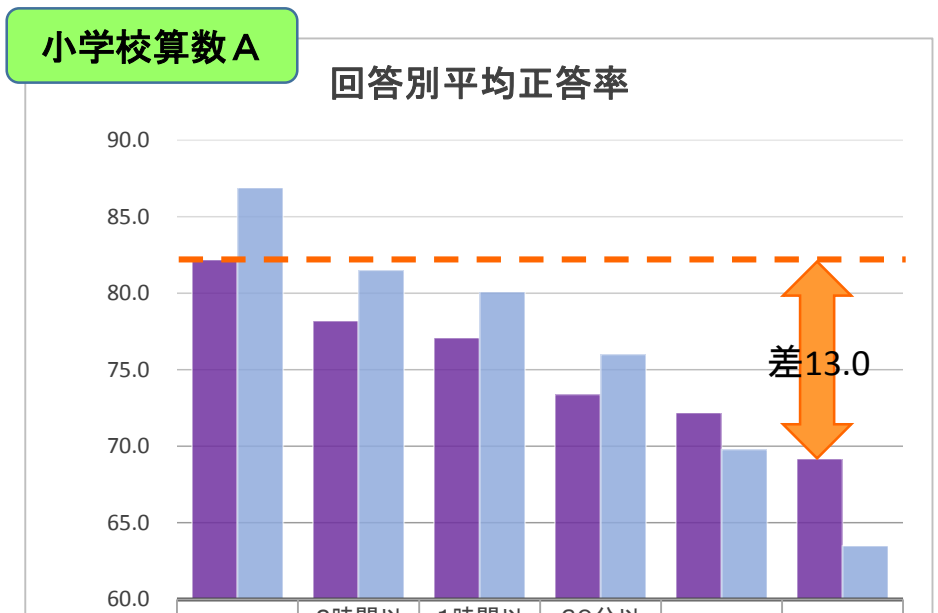
①学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

小学校



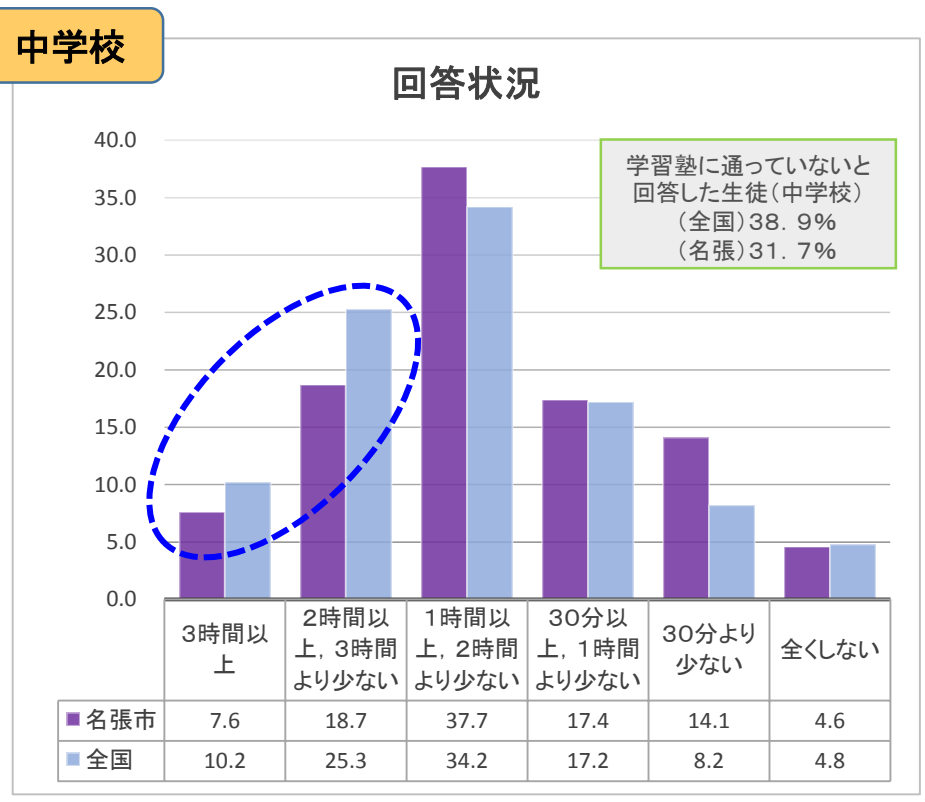
	3時間以上	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
名張市	5.2	16.4	39.0	27.3	9.6	2.5
全国	12.2	15.3	37.1	24.1	8.3	2.9

小学校算数Ａ



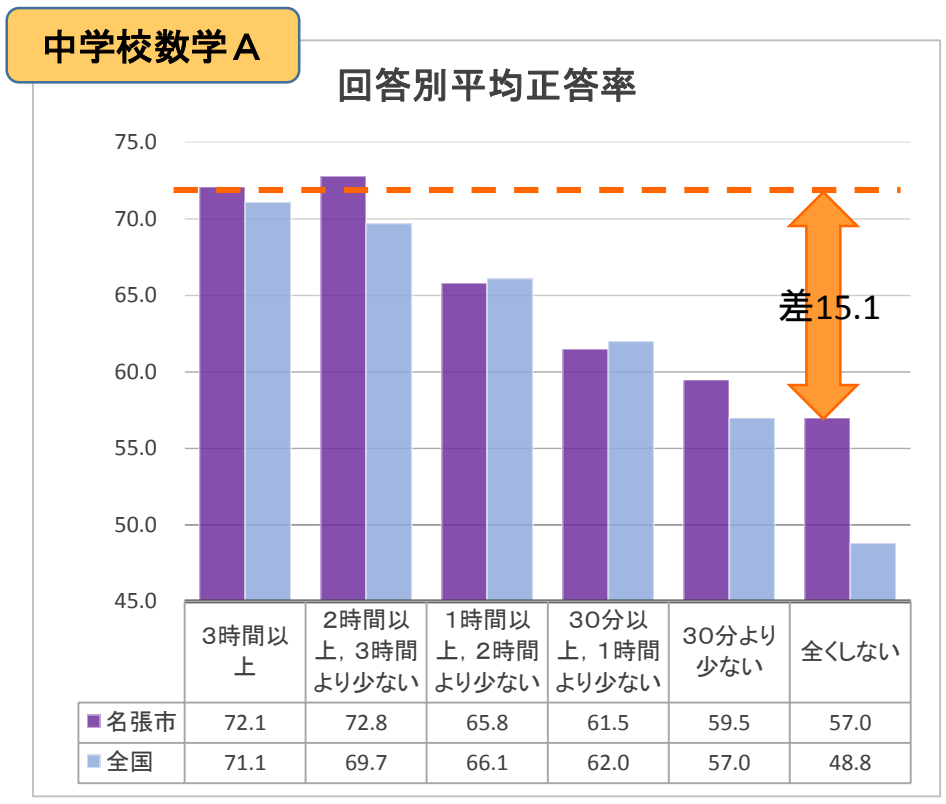
	3時間以上	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
名張市	82.2	78.2	77.1	73.4	72.2	69.2
全国	86.9	81.5	80.1	76.0	69.8	63.5

中学校



	3時間以上	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
名張市	7.6	18.7	37.7	17.4	14.1	4.6
全国	10.2	25.3	34.2	17.2	8.2	4.8

中学校数学Ａ

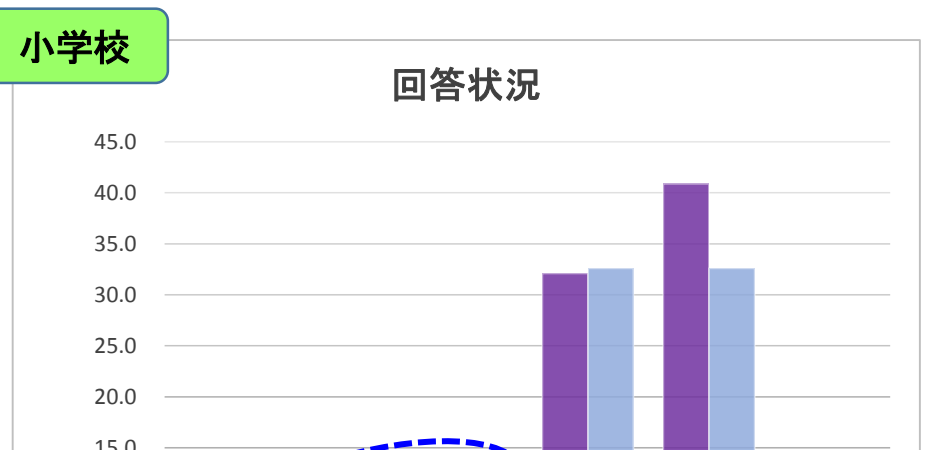


	3時間以上	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
名張市	72.1	72.8	65.8	61.5	59.5	57.0
全国	71.1	69.7	66.1	62.0	57.0	48.8

☞ 全国平均に比べて、学習時間が短い児童生徒の割合が高く、学習時間が長い児童生徒の割合が低いです。

②土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

小学校



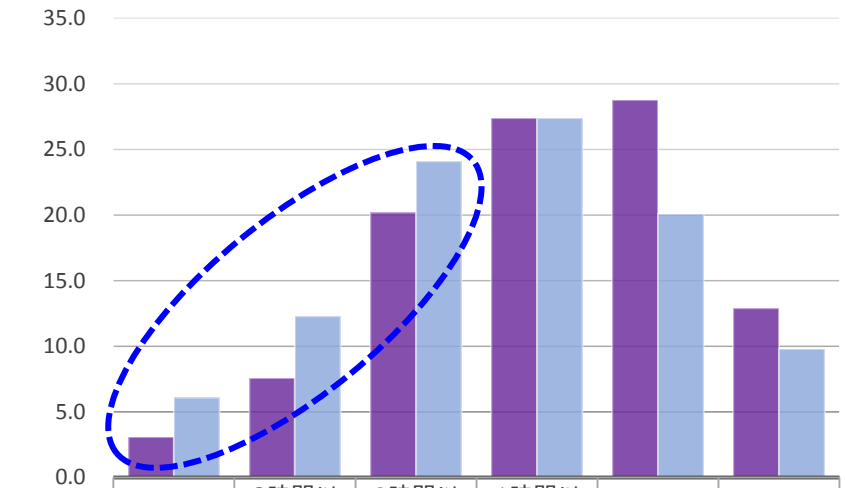
	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
名張市	3.5	3.5	9.9	32.1	40.9	9.9
全国	7.4	5.2	12.5	32.6	32.6	9.5

小学校算数Ｂ

	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
名張市	63.2	45.1	44.3	41.7	43.1	34.1
全国	64.1	50.6	47.8	46.3	43.5	36.8

中学校

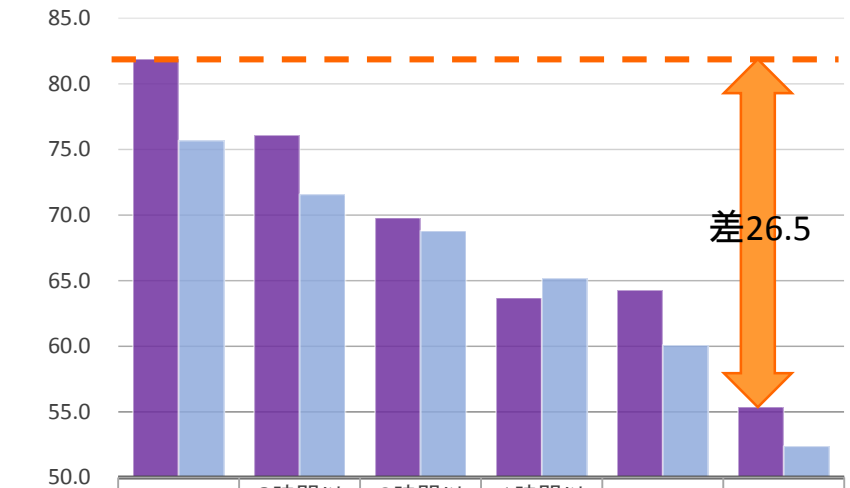
回答状況



	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
名張市	3.1	7.6	20.2	27.4	28.8	12.9
全国	6.1	12.3	24.1	27.4	20.1	9.8

中学校数学Ａ

回答別平均正答率



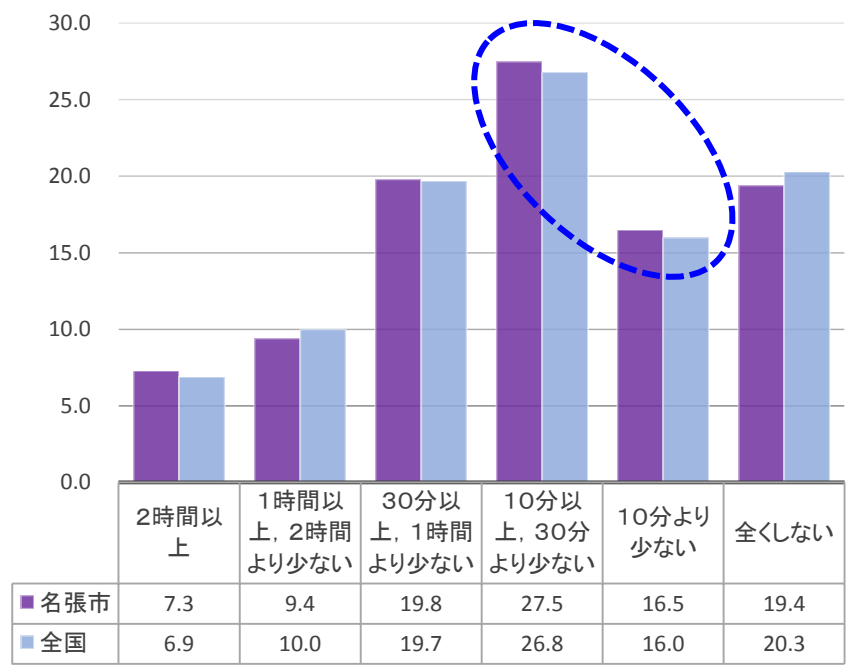
	4時間以上	3時間以上，4時間より少ない	2時間以上，3時間より少ない	1時間以上，2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
名張市	81.9	76.1	69.8	63.7	64.3	55.4
全国	75.7	71.6	68.8	65.2	60.1	52.4

☞ 学校が休みの日も、全国平均に比べて、学習時間が短い児童生徒の割合が高く、学習時間が長い児童生徒の割合が低いです。

③普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

小学校

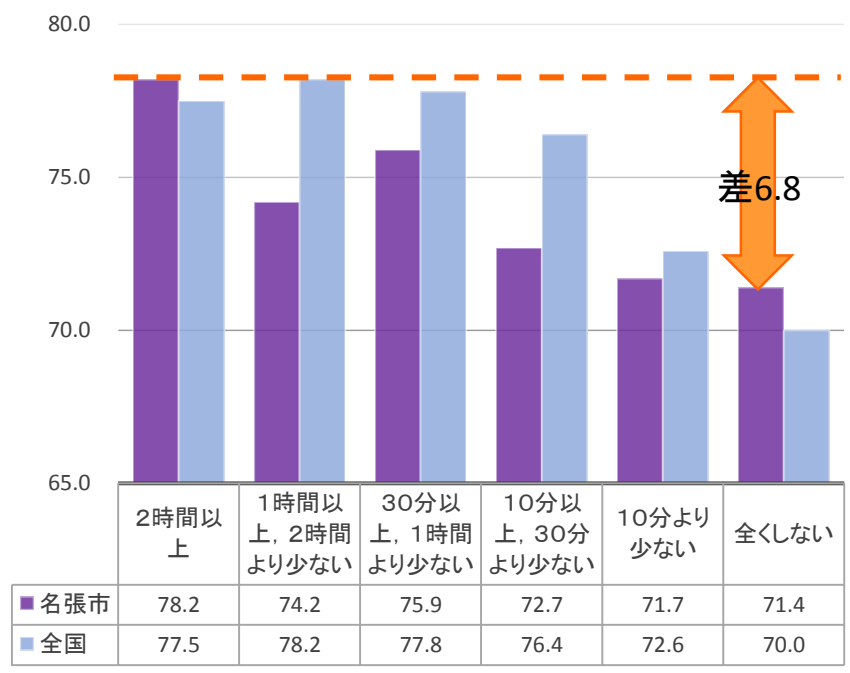
回答状況



	2時間以上	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	10分以上，30分より少ない	10分より少ない	全くしない
名張市	7.3	9.4	19.8	27.5	16.5	19.4
全国	6.9	10.0	19.7	26.8	16.0	20.3

小学校国語Ａ

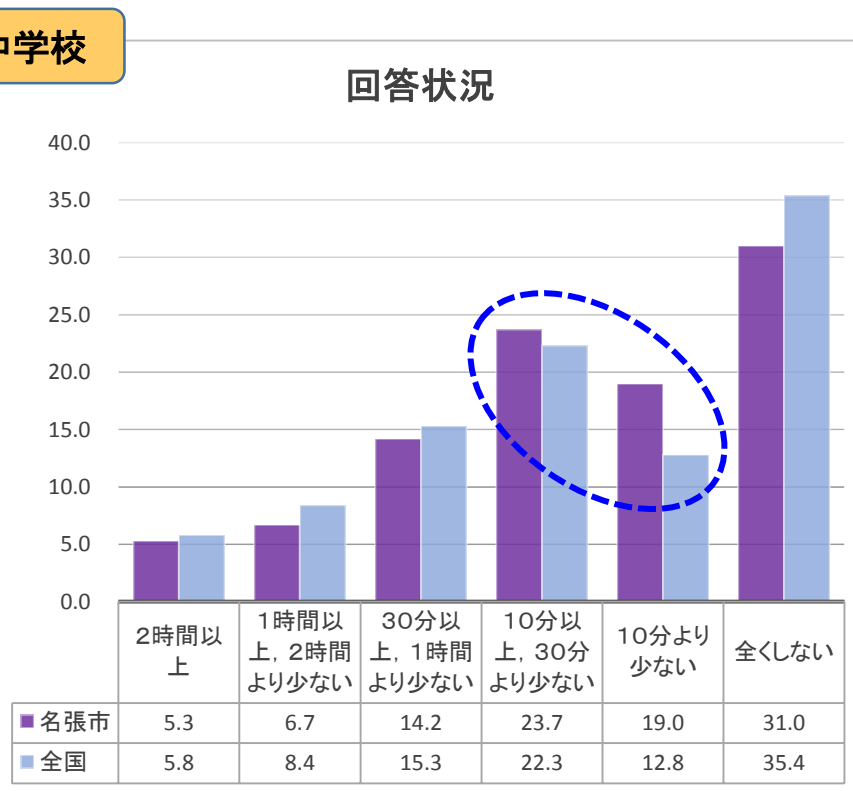
回答別平均正答率



	2時間以上	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	10分以上，30分より少ない	10分より少ない	全くしない
名張市	78.2	74.2	75.9	72.7	71.7	71.4
全国	77.5	78.2	77.8	76.4	72.6	70.0

中学校

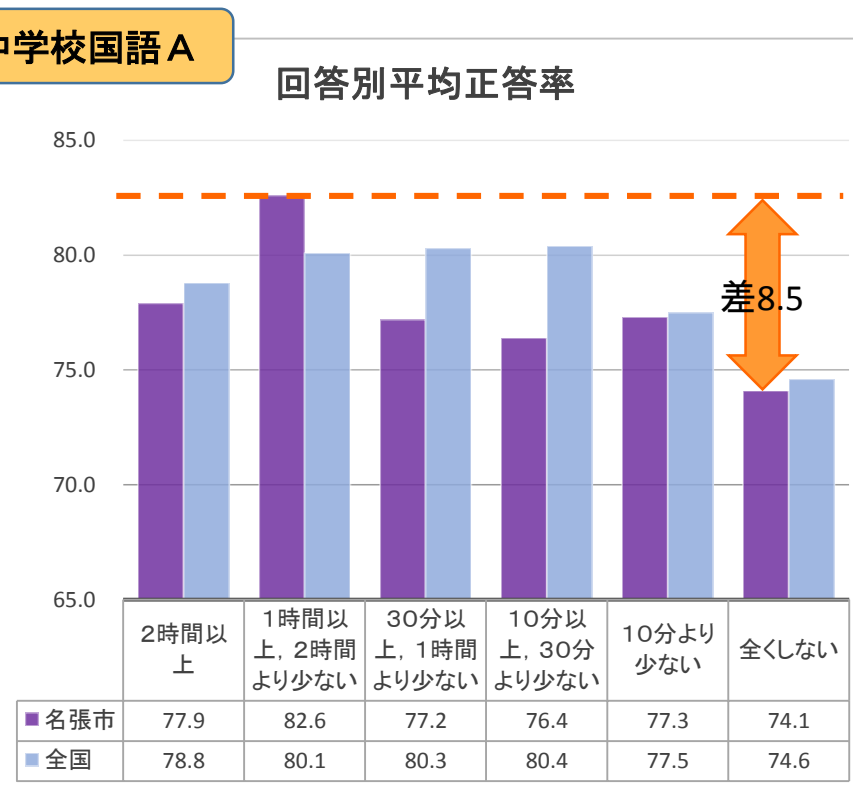
回答状況



	2時間以上	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	10分以上，30分より少ない	10分より少ない	全くしない
名張市	5.3	6.7	14.2	23.7	19.0	31.0
全国	5.8	8.4	15.3	22.3	12.8	35.4

中学校国語Ａ

回答別平均正答率

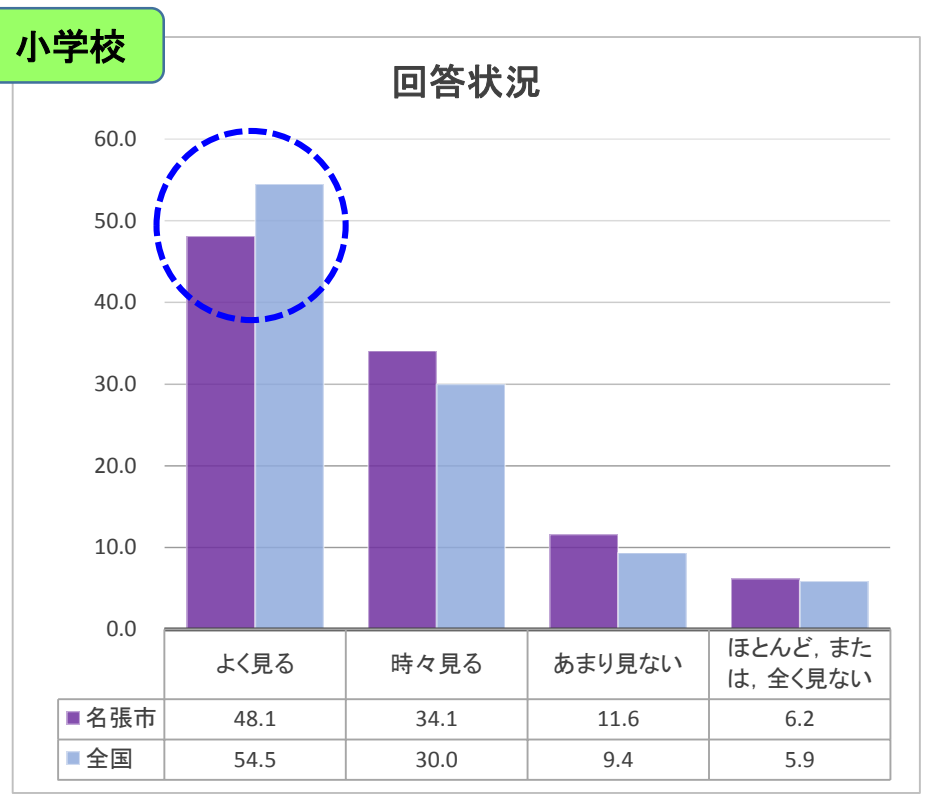


	2時間以上	1時間以上，2時間より少ない	30分以上，1時間より少ない	10分以上，30分より少ない	10分より少ない	全くしない
名張市	77.9	82.6	77.2	76.4	77.3	74.1
全国	78.8	80.1	80.3	80.4	77.5	74.6

☞ 小・中学校ともに、短時間の読書をする子が多く、長時間の読書をする子が少ないという結果です。

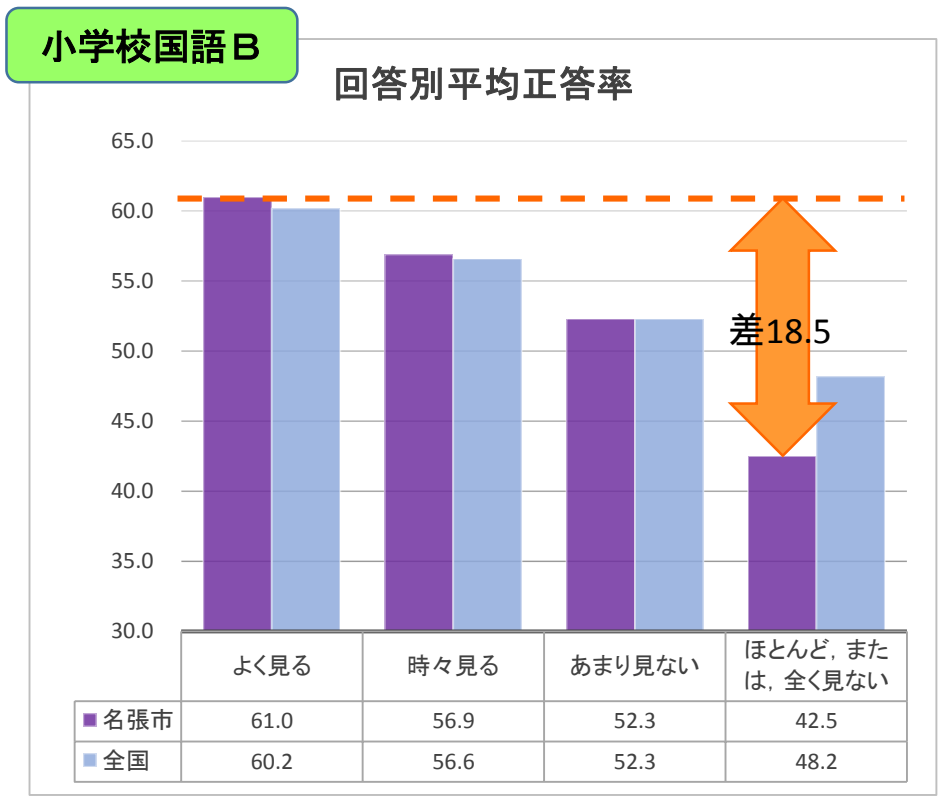
④テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。

小学校



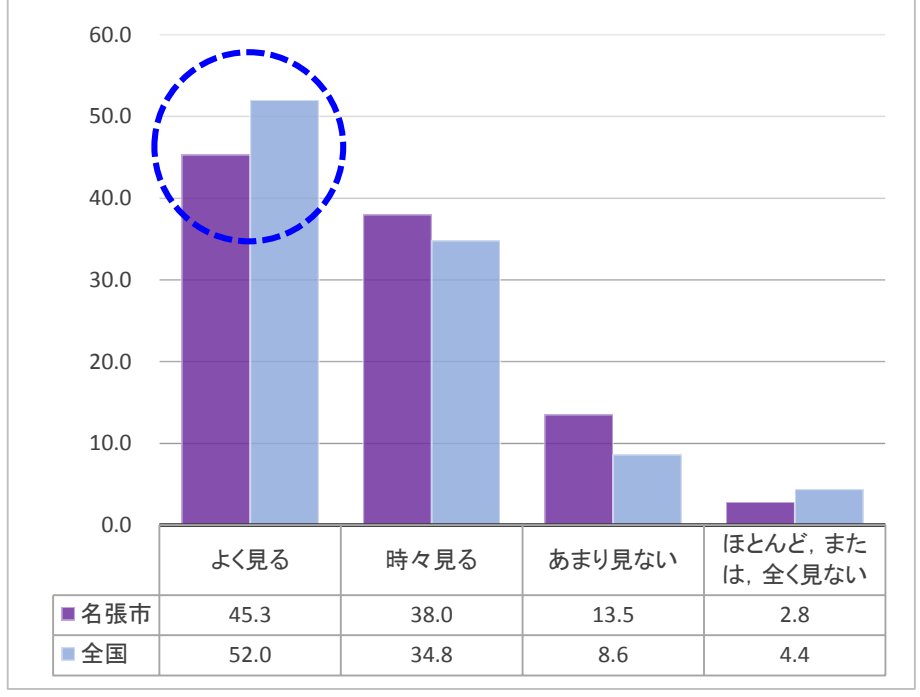
	よく見る	時々見る	あまり見ない	ほとんど，または，全く見ない
名張市	48.1	34.1	11.6	6.2
全国	54.5	30.0	9.4	5.9

小学校国語Ｂ



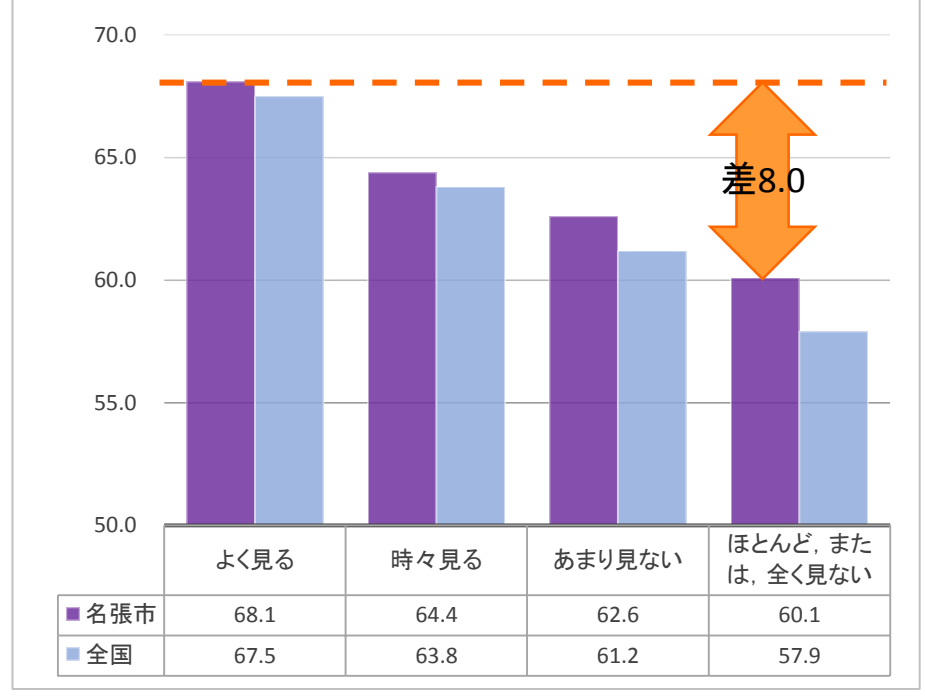
	よく見る	時々見る	あまり見ない	ほとんど，または，全く見ない
名張市	61.0	56.9	52.3	42.5
全国	60.2	56.6	52.3	48.2

中学校



	よく見る	時々見る	あまり見ない	ほとんど，または，全く見ない
名張市	45.3	38.0	13.5	2.8
全国	52.0	34.8	8.6	4.4

中学校数学Ａ



	よく見る	時々見る	あまり見ない	ほとんど，または，全く見ない
名張市	68.1	64.4	62.6	60.1
全国	67.5	63.8	61.2	57.9

☞ ニュース番組等の視聴について、小・中学校ともに、やや低いという結果です。

【家庭学習について特徴的なこと】

・平日の家庭学習の時間について、「１時間以下」と回答した児童生徒の割合が高い。また、土曜日、日曜日の家庭学習の時間も全国に比べて短く、本市の児童生徒の家庭における総学習時間は全国に比べて短い。

・読書する時間について、小・中学校ともに、全国に比べて、長時間読書をする割合が低く、短時間読書をする割合が高い。読書を全くしないと回答した児童生徒の割合は、全国より低く、小学校で２割、中学校で３割程度である。

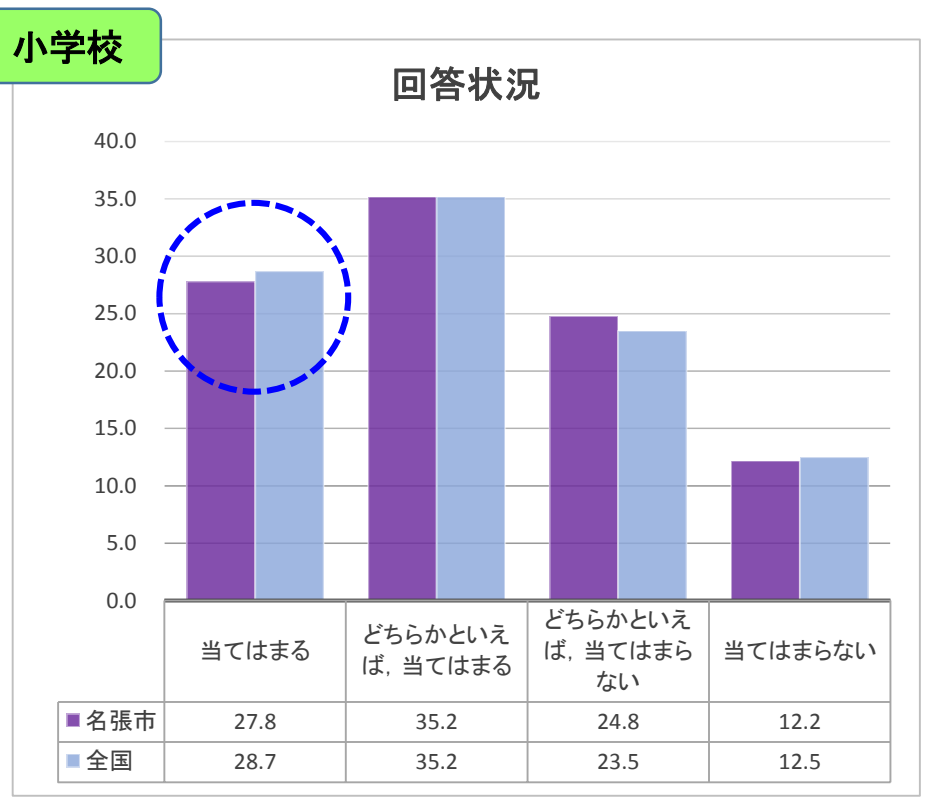
・テレビやインターネットのニュースを見る時間からわかる、社会的な関心が高い児童生徒の割合は、小・中学校とも全国よりやや低い。

☞本市の子どもたちの、家庭における学習時間が、全国平均に比べてやや短い、という結果でした。調査結果には、学習塾での学習時間が含まれている為、正確な家庭における学習時間ではありませんが、トータルではやや短いということです。また、読書の時間も全国平均より総じて短いという結果です。既に取り組んでいる学校も多いのですが、今後、学校からの宿題等含め、家庭学習の時間や内容について見直し、家庭での学習習慣・読書習慣の定着に向けて、家庭と連携して取り組んでいく必要があります。
　また、社会的な関心については、昨年度の結果より課題が見られます。ニュースへの関心を高め、家族と話し合うなど、家族とのコミュニケ―ションに期待するところが大きいです。

（４）地域貢献・社会貢献に関すること

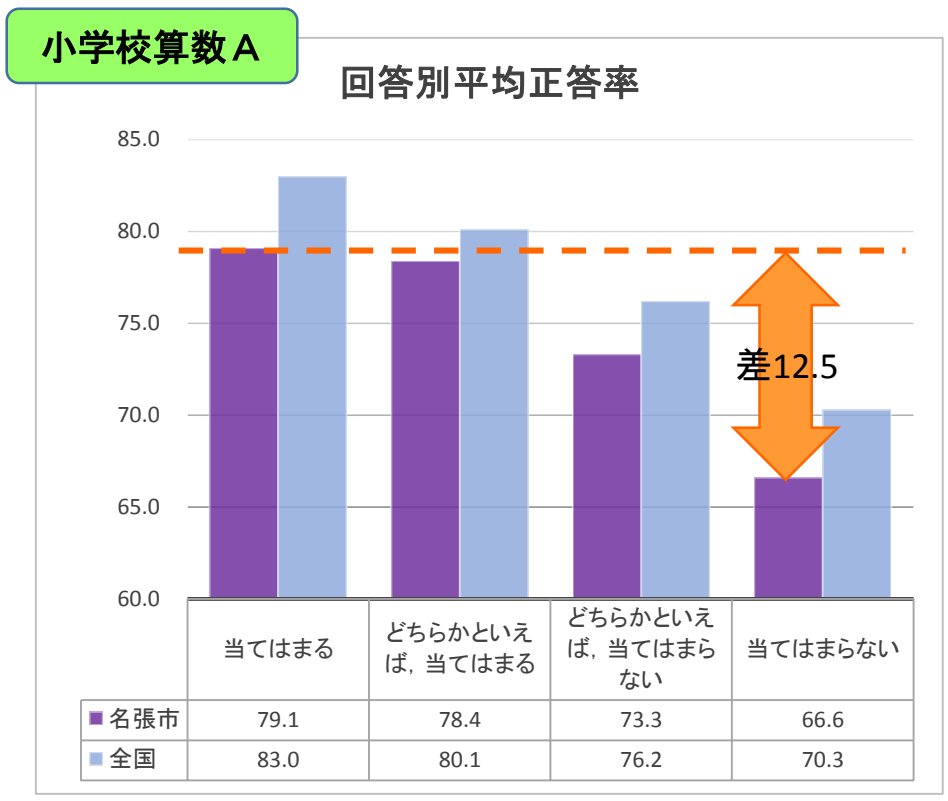
①地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

小学校



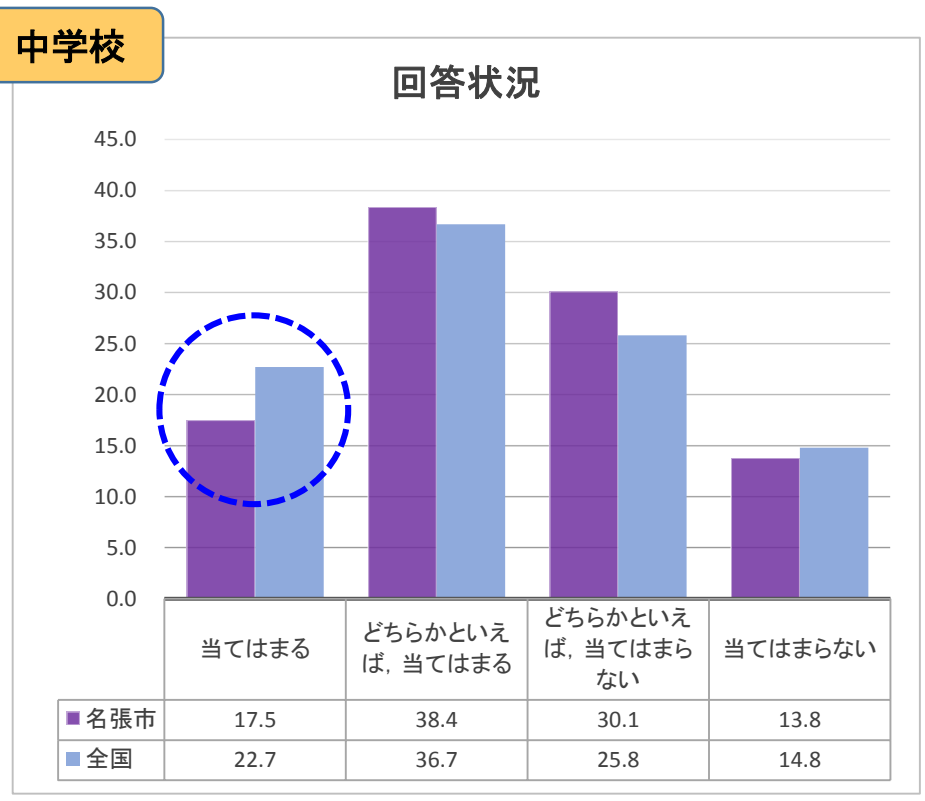
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	27.8	35.2	24.8	12.2
全国	28.7	35.2	23.5	12.5

小学校算数Ａ



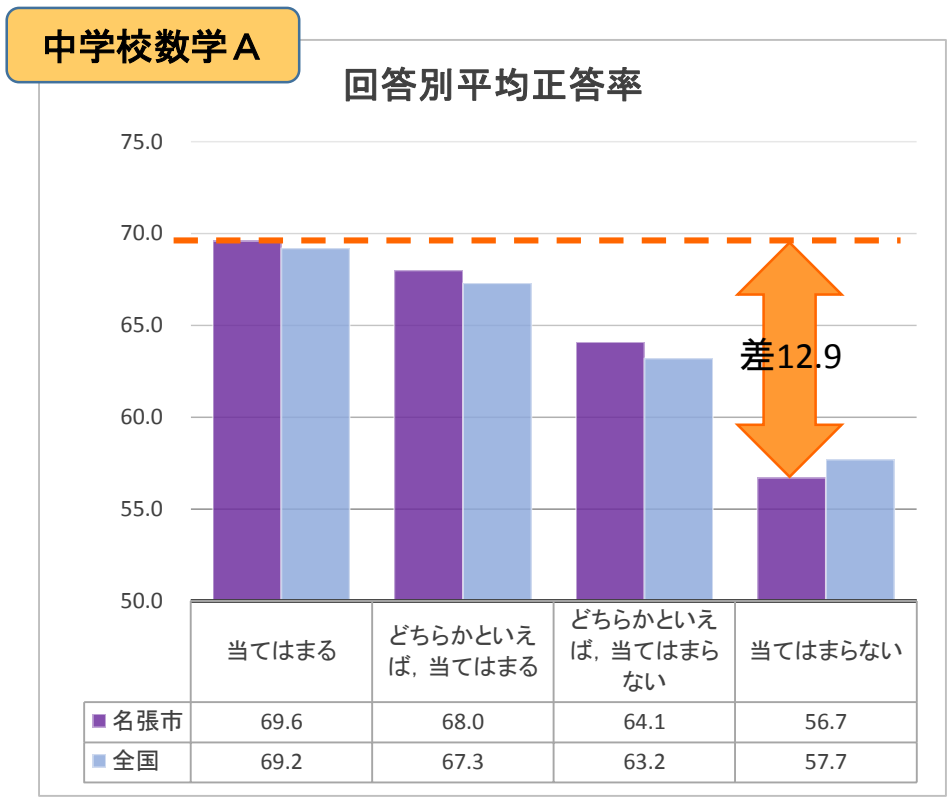
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	79.1	78.4	73.3	66.6
全国	83.0	80.1	76.2	70.3

中学校



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	17.5	38.4	30.1	13.8
全国	22.7	36.7	25.8	14.8

中学校数学Ａ

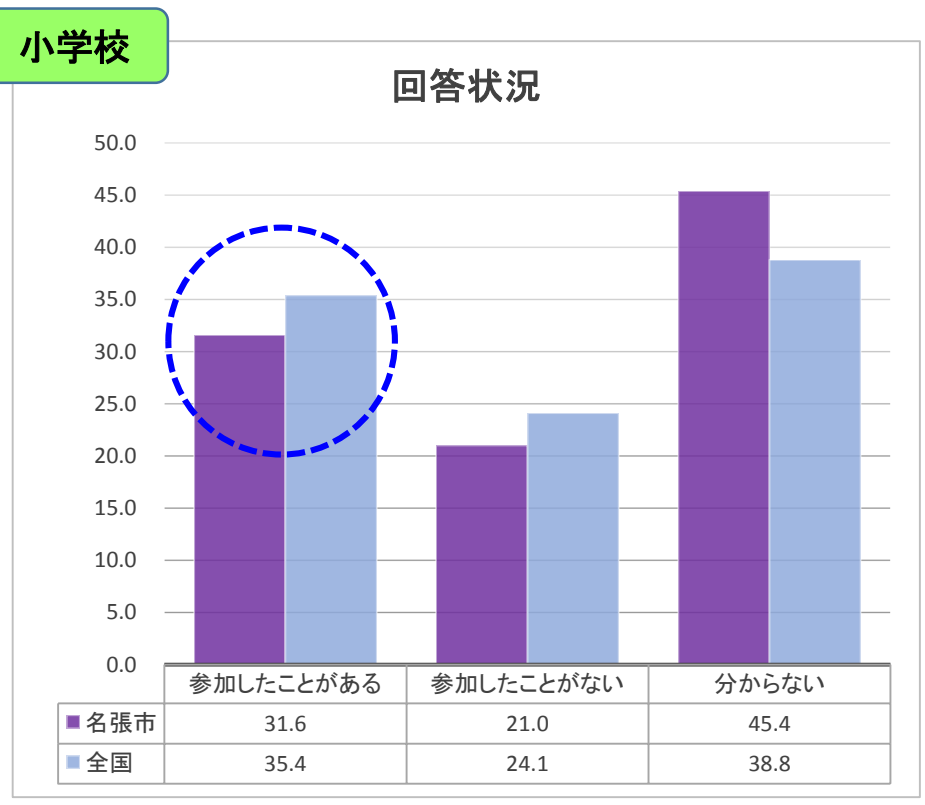


	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	69.6	68.0	64.1	56.7
全国	69.2	67.3	63.2	57.7

☞ 地域や社会への関心についての肯定的回答は、本年度全国的に低くなりました。

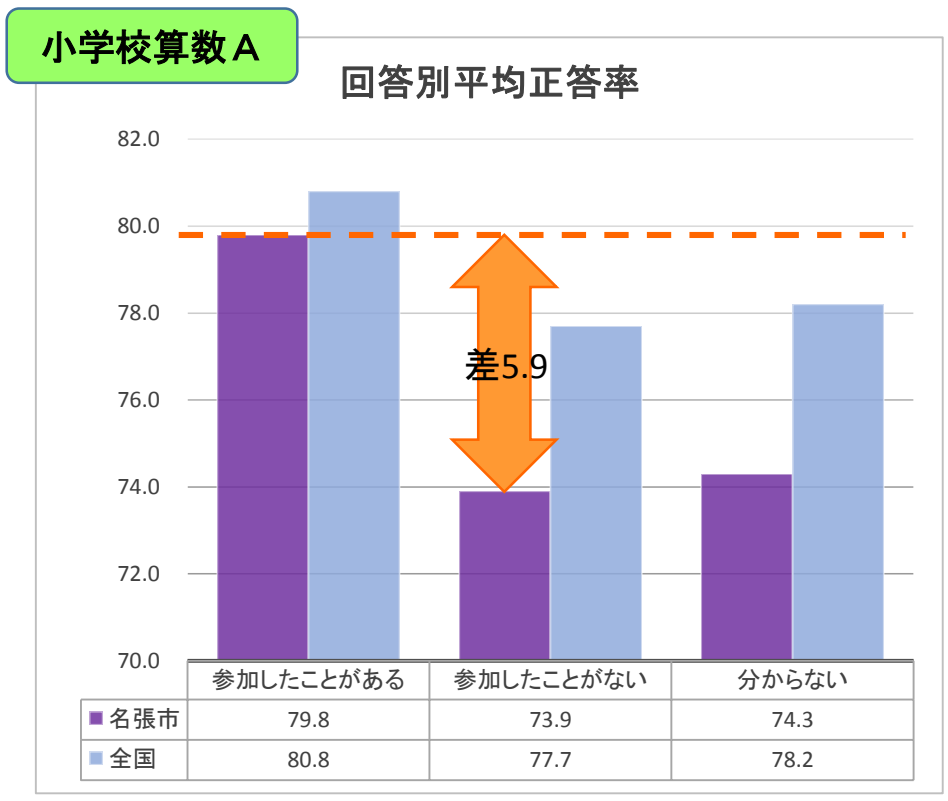
②地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。

小学校



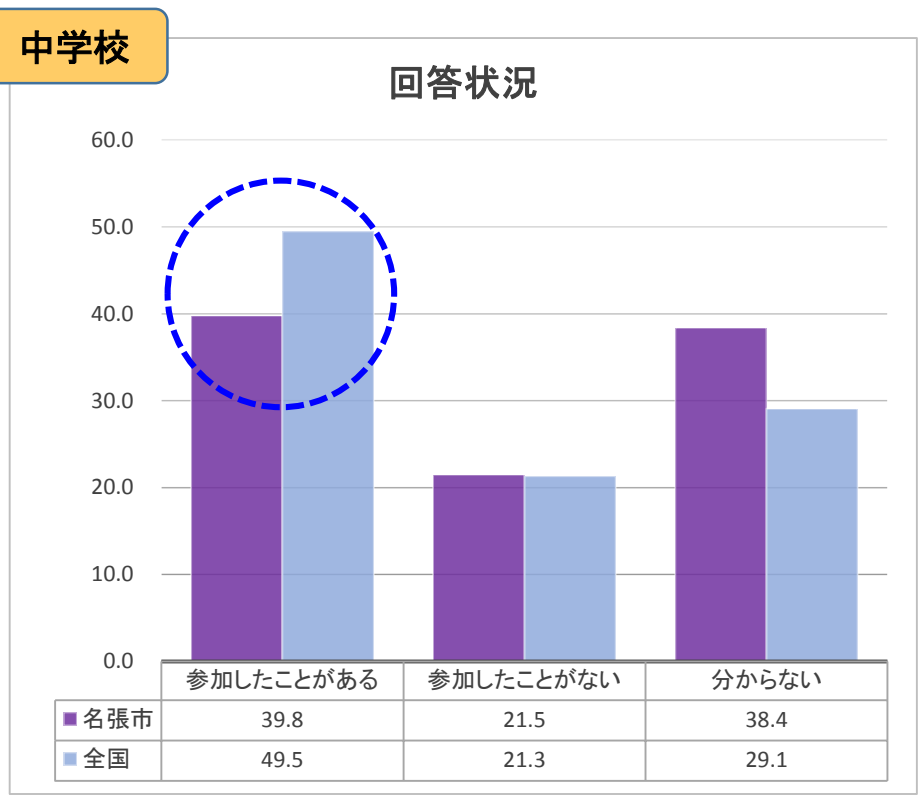
	参加したことがある	参加したことがない	分からない
名張市	31.6	21.0	45.4
全国	35.4	24.1	38.8

小学校算数Ａ



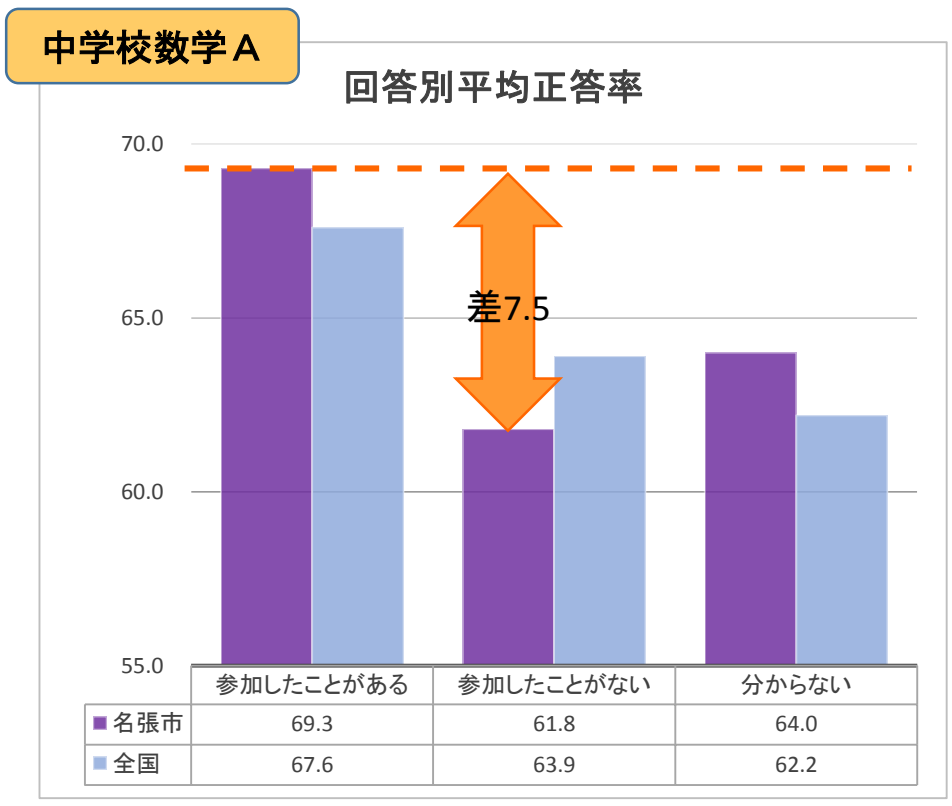
	参加したことがある	参加したことがない	分からない
名張市	79.8	73.9	74.3
全国	80.8	77.7	78.2

中学校



	参加したことがある	参加したことがない	分からない
名張市	39.8	21.5	38.4
全国	49.5	21.3	29.1

中学校数学Ａ

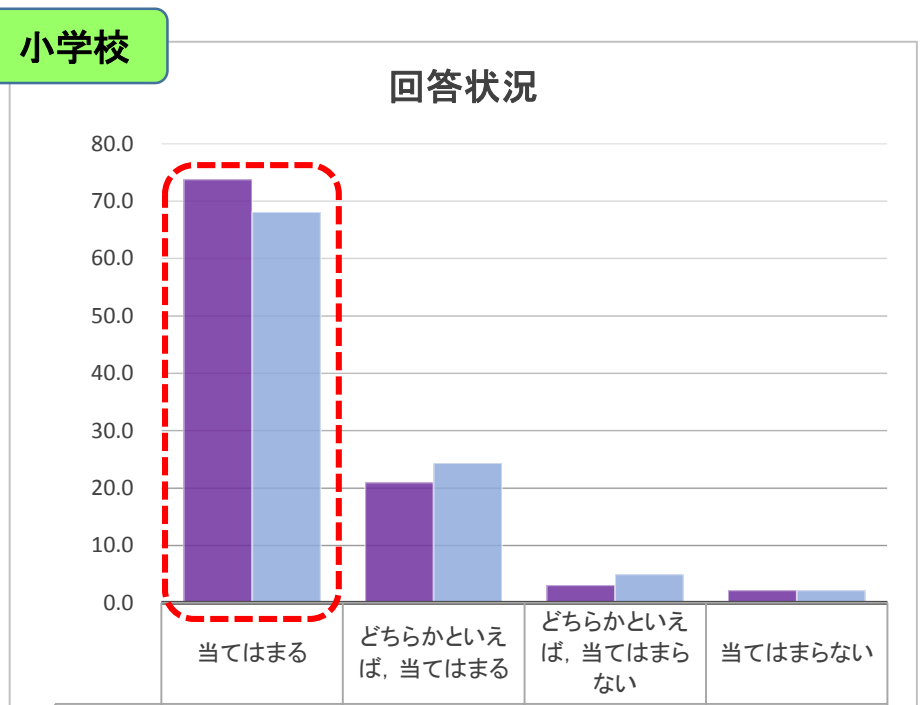


	参加したことがある	参加したことがない	分からない
名張市	69.3	61.8	64.0
全国	67.6	63.9	62.2

☞ 小・中学校ともに、全国平均よりやや低い結果となりました。また、わからないと回答した児童生徒の割合が、全国より高いです。

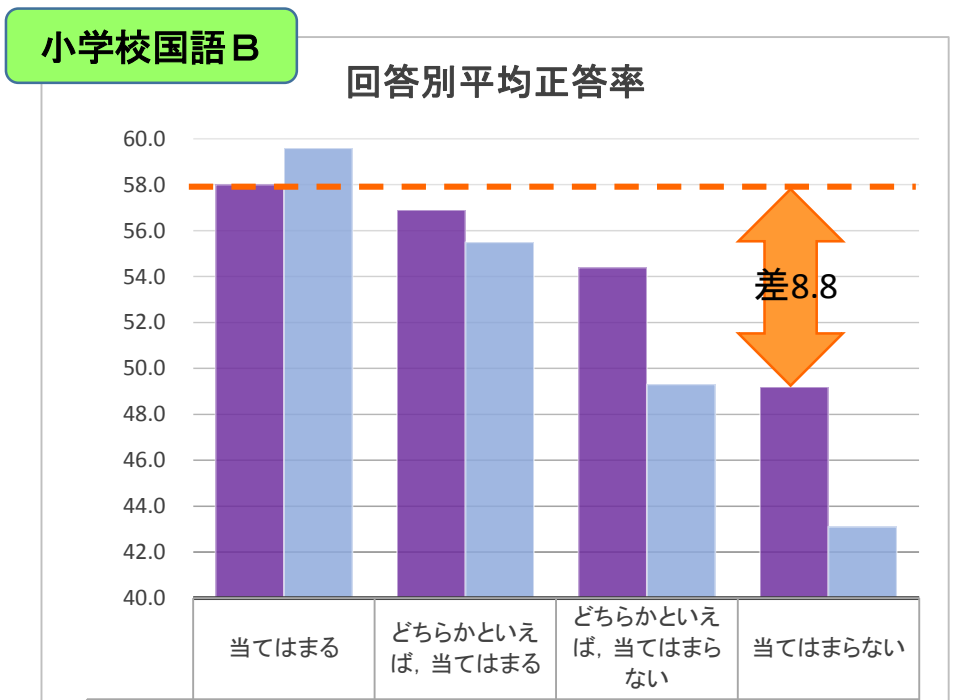
③人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

小学校



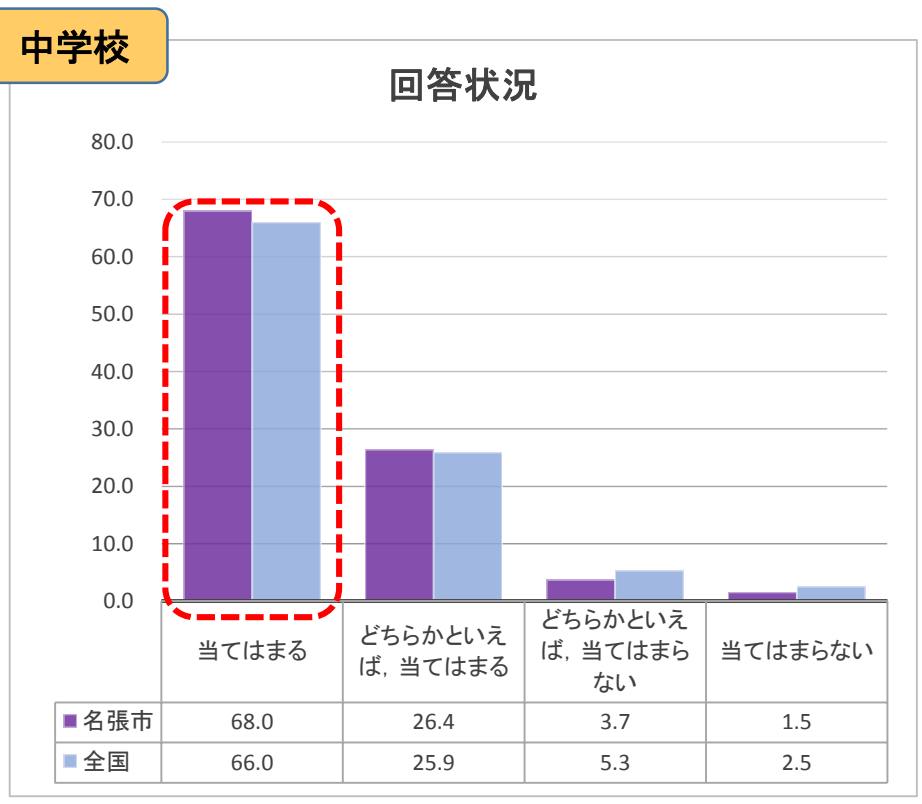
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	73.8	21.0	3.1	2.2
全国	68.1	24.4	5.0	2.2

小学校国語Ｂ



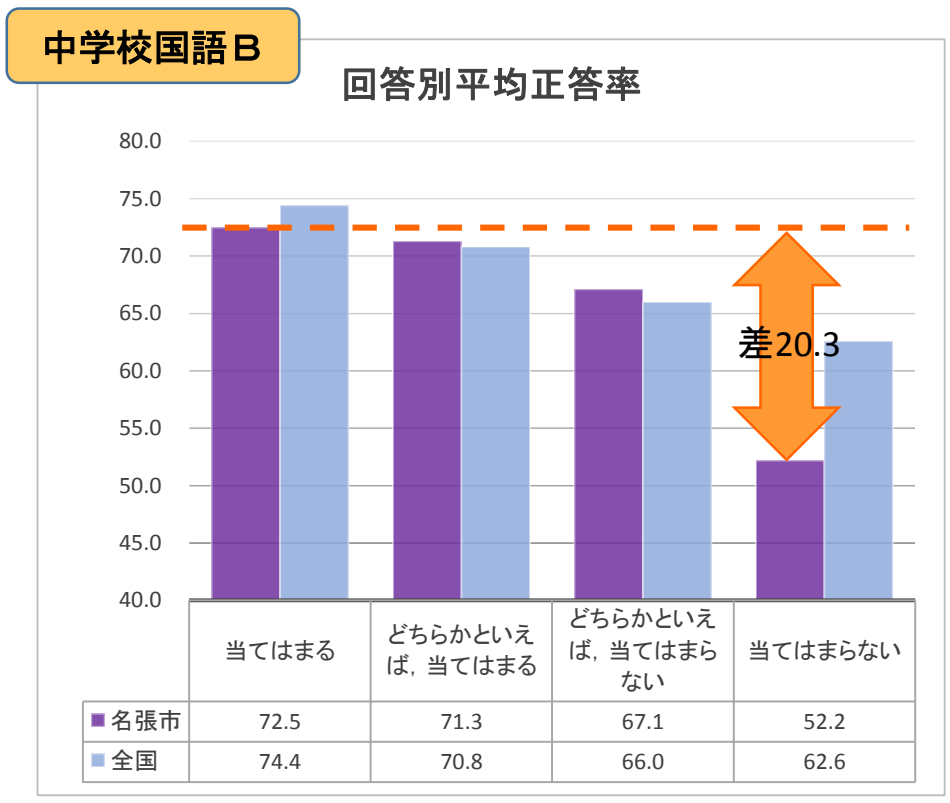
	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	58.0	56.9	54.4	49.2
全国	59.6	55.5	49.3	43.1

中学校



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	68.0	26.4	3.7	1.5
全国	66.0	25.9	5.3	2.5

中学校国語Ｂ



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	72.5	71.3	67.1	52.2
全国	74.4	70.8	66.0	62.6

☞ 小・中学校ともに、「当てはまる」と答えた児童生徒は、全国平均を上回っています。

【地域貢献・社会貢献について特徴的なこと】

・「地域や社会で起こっている出来事に関心がありますか。」という質問に対する肯定的回答の割合は、小・中学校ともに、全国平均を下回る傾向が続いている。

・地域社会などでボランティア活動に参加したことがあると回答した割合は、小・中学校ともに、昨年度より低くなり、全国平均を下回った。

・人の役に立つ人間になりたいと考えている児童生徒の割合が全国平均より高く、貢献心が高い。

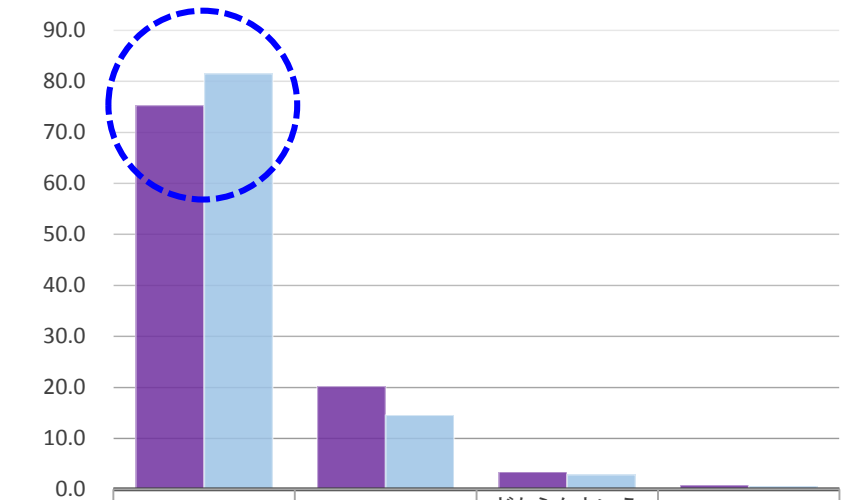
☞地域への関心について、昨年度よりやや低い結果となりました。また、地域でのボランティア活動への参加についても、全国に比べると低いことに加えて、わからないと回答する割合も高く、地域貢献・社会貢献に対しての関心が低い結果です。
　また、本市の子どもたちの規範意識や貢献心が、中学校で昨年度よりやや低くなりましたが、小・中学校ともに全国平均より高いという、よい傾向が続いています。

（５）その他（今回から新しく増えた設問より）

①家の人（兄弟姉妹を除く）は，授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。

小学校

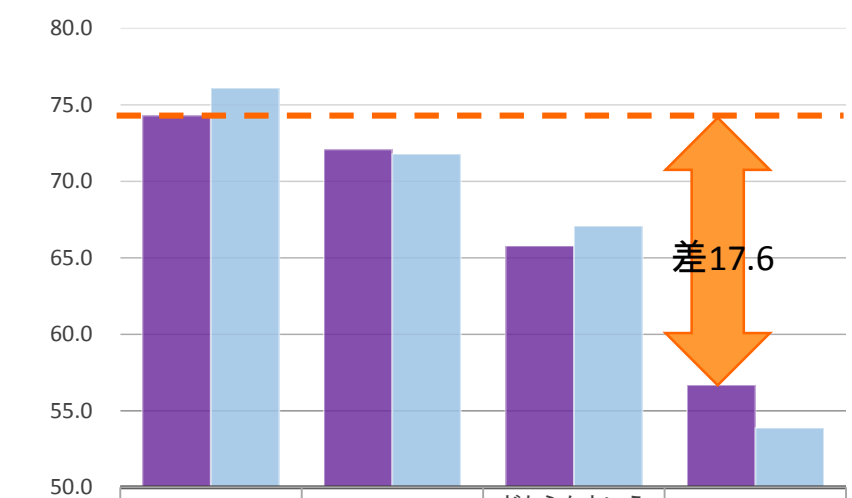
回答状況



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	75.3	20.2	3.5	0.9
全国	81.5	14.6	2.9	0.7

小学校国語Ａ

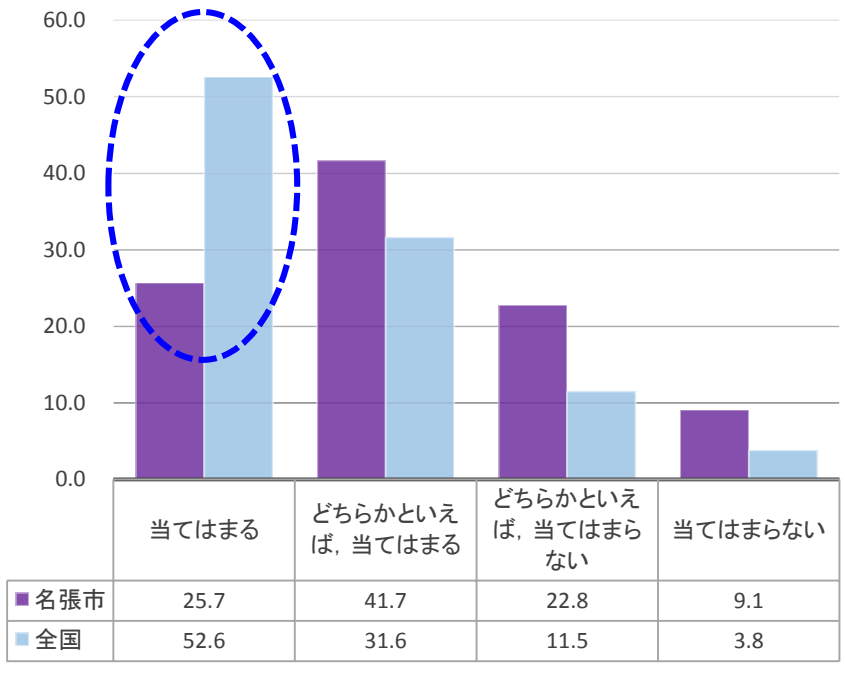
回答別平均正答率



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	74.3	72.1	65.8	56.7
全国	76.1	71.8	67.1	53.9

中学校

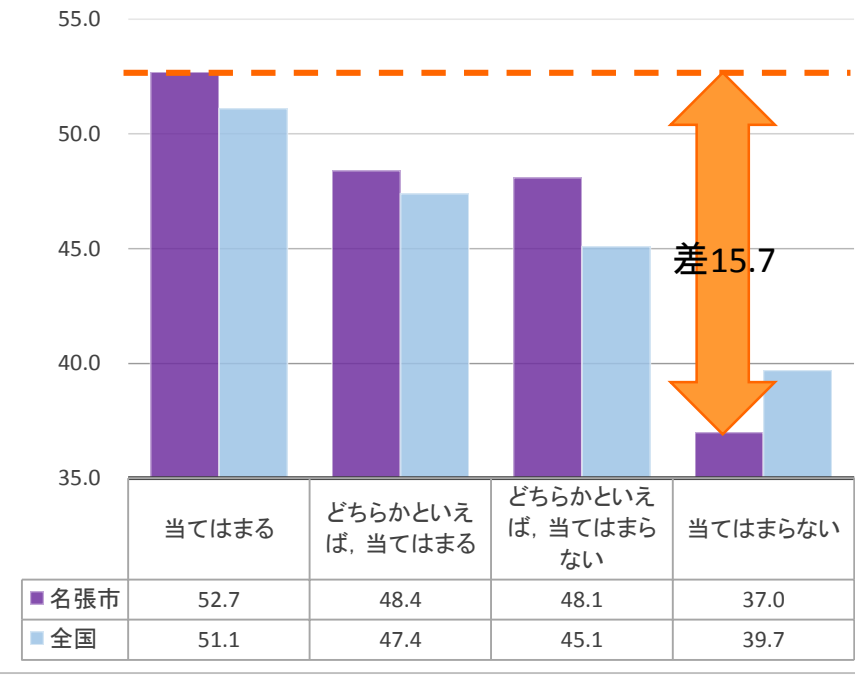
回答状況



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	25.7	41.7	22.8	9.1
全国	52.6	31.6	11.5	3.8

中学校数学Ｂ

回答別平均正答率



	当てはまる	どちらかといえば，当てはまる	どちらかといえば，当てはまらない	当てはまらない
名張市	52.7	48.4	48.1	37.0
全国	51.1	47.4	45.1	39.7

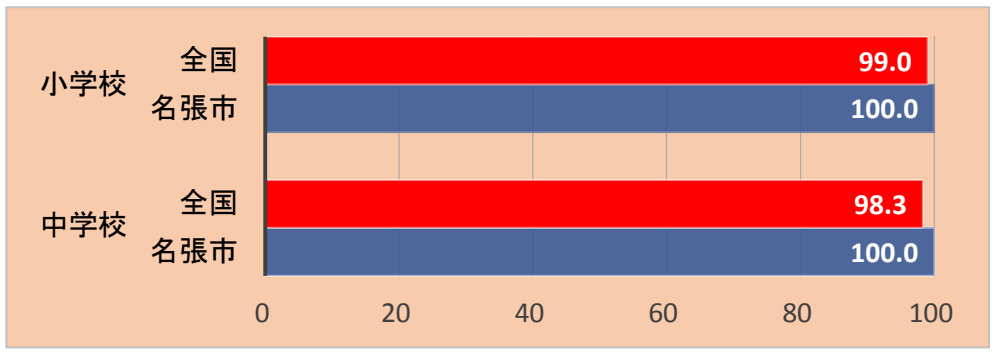
☞ 保護者の学校行事への参加も、平均正答率に大きく影響することがわかります。

４　学校質問紙調査結果の特徴的な傾向と分析

「学校質問紙調査」とは、学校における指導方法に関する取組や、学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査です。
ここでは、「学校質問紙調査」のうち、特徴的な資料をいくつか示し、その傾向と分析を記載しています。

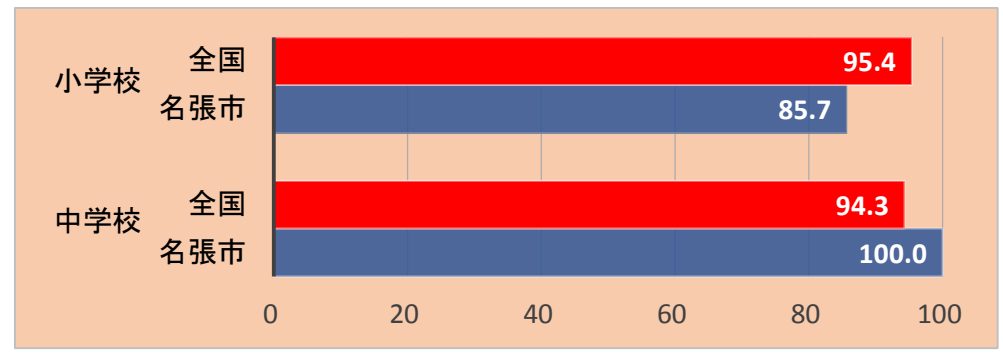
※質問項目の後に（　）のない場合、グラフの数値は、学校が「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した割合（%）

①　調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童（生徒）に示す活動を計画的に取り入れましたか。



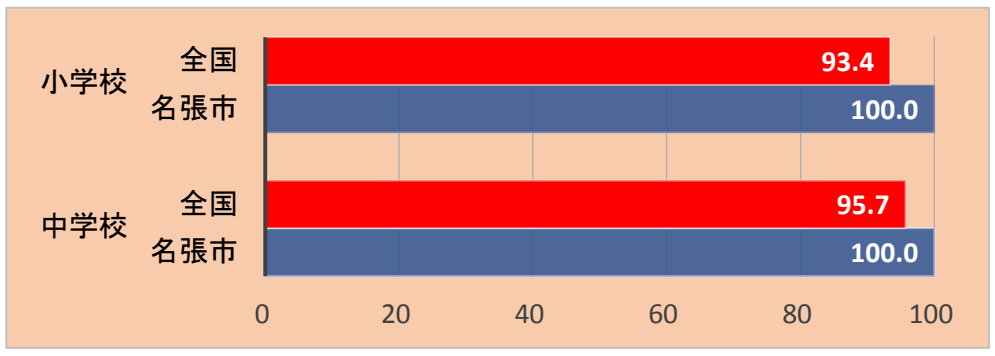
★同様の設問における児童生徒の回答割合
名張市児童９１．８％　　全国児童８８．２％
名張市生徒９１．１％　　全国生徒８７．８％

②　調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。



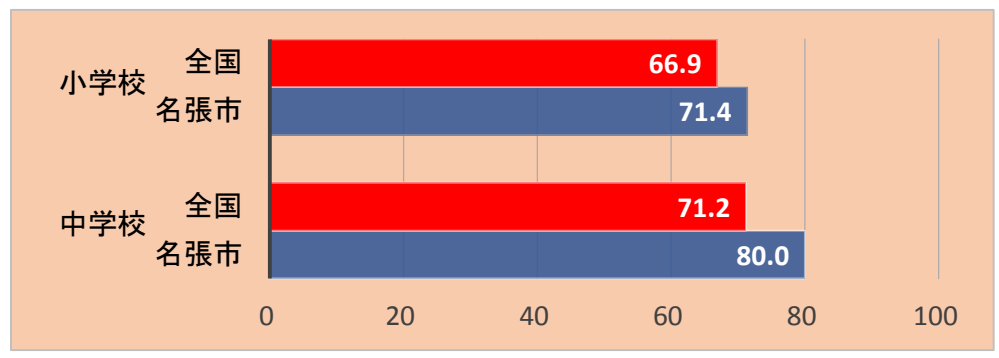
★同様の設問における児童生徒の回答割合
名張市児童８５．０％　　全国児童７６．２％
名張市生徒７４．９％　　全国生徒６６．１％

③調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか。

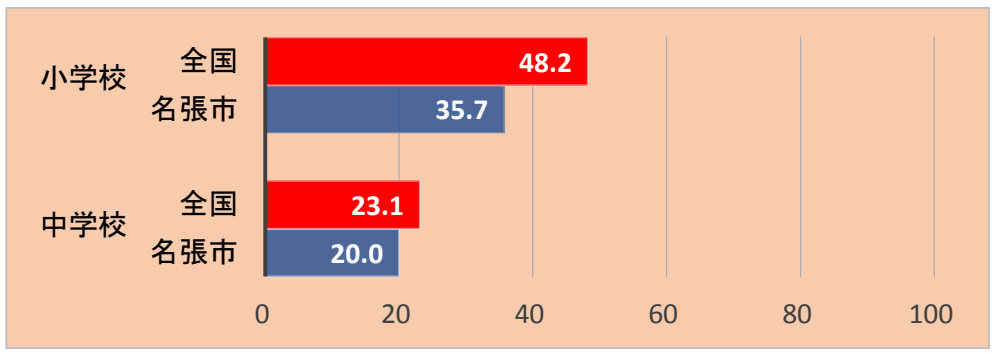


★「４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいですか。」に対する、「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた児童生徒の回答割合
名張市児童６７．３％　　全国児童５９．５％
名張市生徒６１．４％　　全国生徒６２．５％

④調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか。

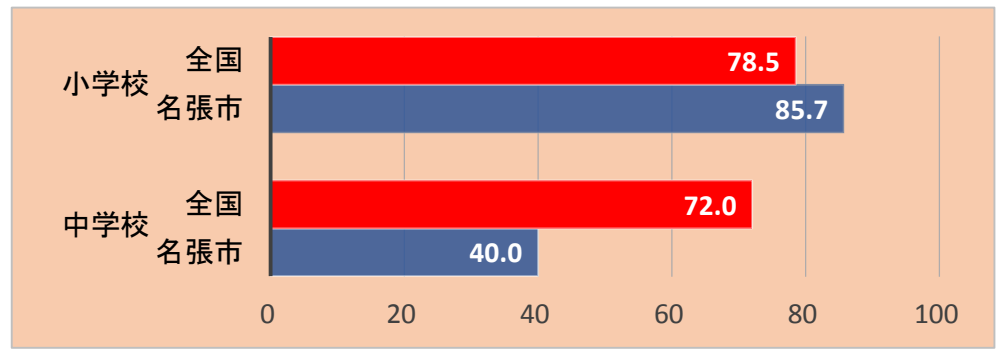


⑤調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか。



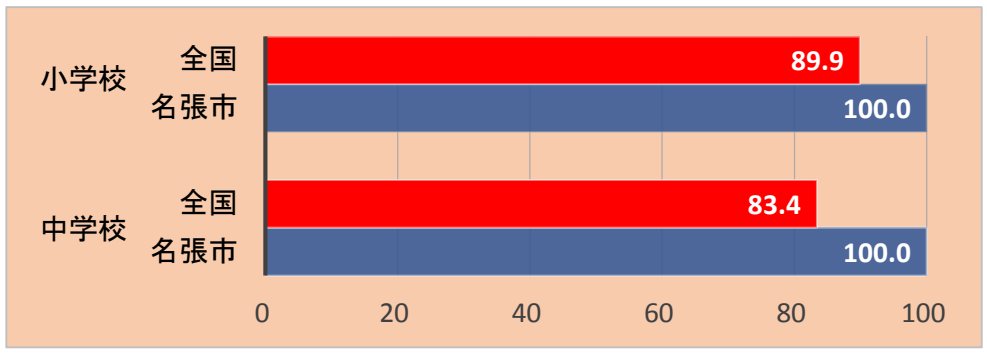
★「読書が好き」と答えた児童生徒の割合
名張市児童４７．８％　　全国児童４９．０％
名張市生徒４４．７％　　全国生徒４６．１％

⑥調査対象学年の児童に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか。

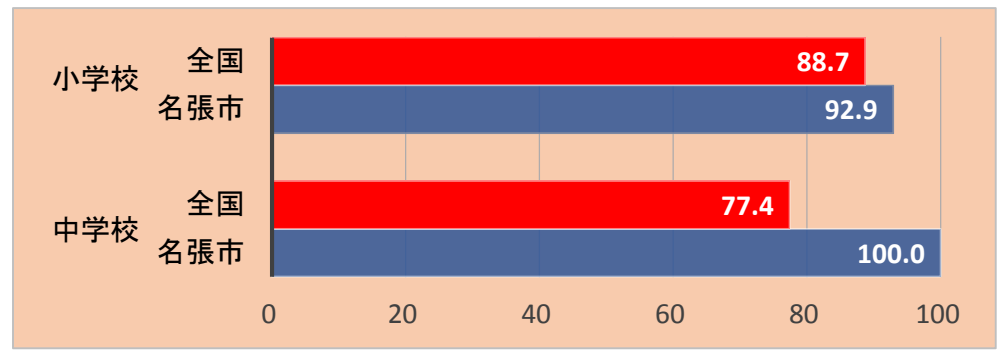


★総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集めて整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだと答えた児童生徒の割合
名張市児童６９．４％　　全国児童６９．８％
名張市生徒４９．４％　　全国生徒６４．３％

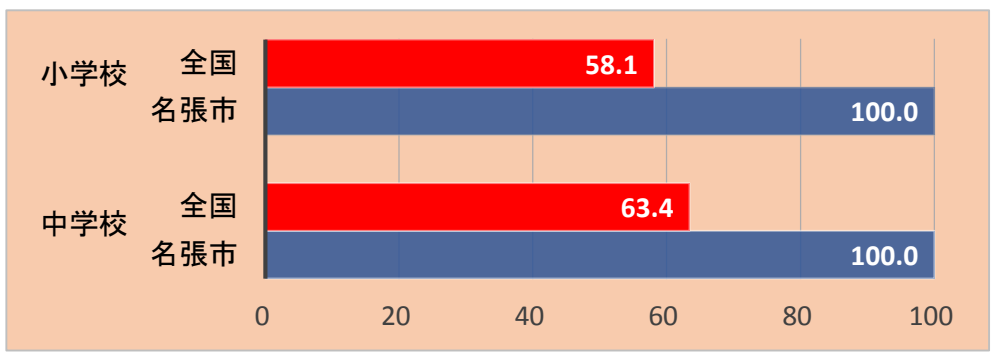
⑦平成２８年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか。



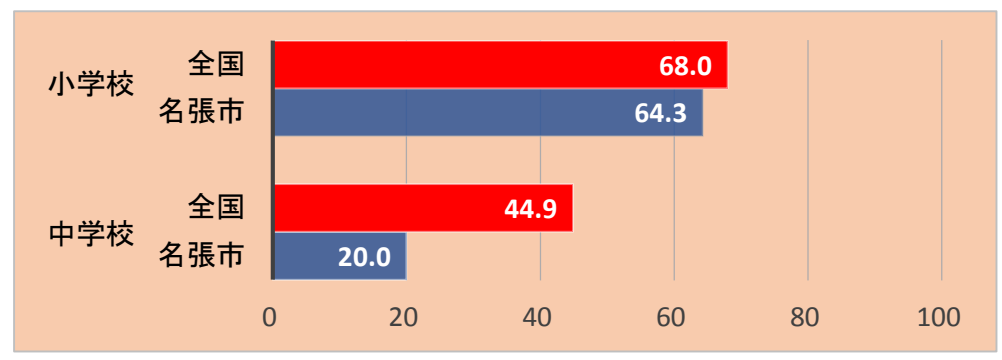
⑧学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか。



⑨前年度までに、近隣の中学校（小学校）と、教育目標を共有する取組を行いましたか。



⑩校長は校内の授業をどの程度見て回っていますか。（ほぼ毎日）



※質問項目の後に（　）のない場合、グラフの数値は、学校が「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した割合（%）

【学校質問紙調査について特徴的なこと】

・授業の冒頭での目標の提示や振り返りについては、昨年度に続き小学校、中学校いずれも１００%に近い回答だった。学校（質問紙）と児童生徒（質問紙）の捉え方に差については、本年度さらに改善がすすみ、児童生徒の回答も、昨年度に引き続き、全国平均を上回った。

・国語の指導に関しては、名張市として「書くこと」を中心とした言語活動の充実に取り組んでいる成果が現われているが、児童生徒質問紙の、「４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいですか。」と言う質問に対して、中学校ではやや改善したものの、小学校では依然難しいと回答している児童が全国平均を上回る傾向が続いており、さらに取組が必要である。

・算数・数学では、発展的な学習の実施について、本年度初めて全国平均を上回った。今後も、児童生徒の実態に応じ、発展的な内容の取扱いを増やしていく必要がある。

・学校図書館の利用については、学校図書館資料を活用した授業を計画的に行った割合、「読書が好き」と答えた児童生徒の割合ともに全国より低く、家庭生活も含めた、読書活動全体の改善が必要である。

・教科や総合的な学習の時間、あるいは朝の会や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱ったとする回答割合が、小学校で全国より高く、中学校で全国より低い。また、総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集めて整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだと答えた児童生徒の割合は全国より低く、特に中学校で差が大きくなっている。新学習指導要領も視野に入れ、より主体的な学習が各教科等で展開されるよう改善していく必要がある。

・各小中学校は、本調査の結果等を積極的に保護者や地域に発信しており、学校生活ボランティア等、保護者、地域の方々が様々な活動に参加し、充実した教育活動が展開されている。

・小中一貫教育をめざし、近隣の小学校（中学校）と教育目標を共有する取組が、全国より進んでいる。

・校長が校内の授業を見回る割合は、小・中学校ともに全国より低い結果となっており、今後も校長のリーダーシップのもと、全校体制で授業改善に取り組んで行く必要がある。

５　成果、課題と今後の取組について

名張市教育委員会では、平成２８年度からは、第二次名張市子ども教育ビジョン（平成２８年３月策定）に基づき、「夢をはぐくみ　心豊かで　元気な　『ばりっ子』」を目指す子ども像に、新たな取組をスタートしているところです。

子どもたちの確かな学力の向上をめざし、数年来取り組んできた『学力向上３本の矢』（①めあての提示と振り返りのある授業、②日常的な言語活動の充実、③充実した家庭学習）は、各学校・教職員にもかなり浸透し、一定の成果が見られます。

また、すべての中学校区で取り組んできた『魅力ある学校づくり』（わかる授業づくり、心の居場所づくり・絆づくり）についても、安心して学べる親和的な人間関係、学習環境づくりにおいては成果が上がってきました。さらに、わかる授業づくりを進めることにより、子どもたちの学習意欲と学力の向上をめざすとともに、子どもたちの生きる力を育て、中学校卒業時には充分な学力をつけて卒業できるべく取り組んできました。

これまでの取組の結果、本年度の調査で以下のような成果が現われています。

○　小学校では、本年度、すべての教科で全国平均を下回りましたが、国語Ｂは三重県平均を上回りました。中学校では、国語で全国平均を下回ったものの、全国平均との差が縮まりました。また、数学で全国平均を上回るか同等程度となるいい結果がここ数年続いています。

本年度の中学校３年生生徒が小学校６年生の時の結果と比較してみると、すべての教科で、全国比５ポイント以上の大きな伸びが見られ、その伸びは過去最高値となりました。

○　各教科の無解答率は、８教科中６教科で昨年度より改善され、同じく６教科で全国平均より低い結果となりました。最後まで粘り強く取り組むよう指導した成果と考えられます。

○　児童生徒質問紙調査において、「授業の内容はよく分かりますか」と言う質問に対し「当てはまる」と答えた児童生徒の割合は、すべての教科で昨年度より高く、全国平均を上回るとともに、ここ６年間で最高値となりました。授業改善と児童生徒の学習意欲の向上が進んでいる結果と言えます。

「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問や、「人の役に立つ人間になりたい」等、規範意識や貢献心において、本年度も全国平均を上回るよい傾向が見られます。

＜規範意識や貢献心についての児童生徒質問紙調査における回答＞

	質問項目	回答	年度(平成)	19	20	21	22	24	25	26	27	28	29
小学校質問項目	学校の規則を守っていますか	当てはまる	名張市	25.7	28.6	31.1	32.3	39.1	42.0	37.3	41.3	43.1	45.8
			全国	31.5	31.6	35.7	34.1	41.6	39.8	39.9	41.7	42.9	46.4
	友達との約束を守っていますか	当てはまる	名張市					66.3		68.3		68.5	71.8
			全国					66.5		67.7		68.9	69.4
	人が困っているときは、進んで助けていますか。（～H27までは、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」）	当てはまる	名張市	64.0	68.9	61.5	64.4	71.1	69.3	71.2	69.2	40.3	40.8
			全国	65.4	66.9	66.5	66.7	71.3	69.5	74.1	72.1	37.0	38.5
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	当てはまる	名張市	69.4	70.1	72.2	74.6	77.1	79.8	83.4	82.1	84.9	85.5
			全国	76.1	75.7	76.6	75.7	76.2	79.9	82.1	81.8	83.1	81.2
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	当てはまる	名張市	64.2	68.3	63.0	66.8	74.9	70.7	70.1	69.5	72.8	73.7
			全国	66.2	66.9	67.6	68.7	72.8	70.8	72.0	71.6	71.2	68.0
中学校質問項目	学校の規則を守っていますか	当てはまる	名張市	40.5	38.0	42.7	39.1	41.7	54.5	52.9	60.6	64.9	68.4
			全国	40.2	41.8	44.6	45.1	51.5	52.9	55.6	58.8	61.6	63.0
	友達との約束を守っていますか	当てはまる	名張市					58.3		69.2		71.2	68.8
			全国					61.9		65.8		68.5	69.4
	人が困っているときは、進んで助けていますか。（～H27までは、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」）	当てはまる	名張市	67.4	67.8	66.3	67.9	68.3	77.0	76.4	79.2	39.0	36.6
			全国	68.0	68.3	67.8	69.1	75.1	73.2	77.8	75.4	34.1	35.6
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	当てはまる	名張市	55.5	53.7	56.3	55.0	61.8	69.0	69.4	73.5	78.4	72.8
			全国	58.7	59.2	61.9	63.3	67.9	71.4	72.1	73.0	74.8	73.3
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	当てはまる	名張市	59.5	59.9	60.4	65.1	66.2	75.5	76.1	78.5	75.8	68.0
			全国	60.2	60.4	61.5	64.7	70.1	69.5	72.8	72.0	69.3	66.1

全国を3ポイント以上上回る　全国を上回る　全国を3ポイント以上下回る　全国を下回る

しかし、同時に以下のような課題もあります。

○　国語では、小・中学校ともに、学年別配当漢字表に示されている漢字を書く基本的な問題で、正答率が低く、無解答率が高い問題があり、定着に向けた指導法の工夫が必要です。また、小学校では、手紙の構成を理解し、後付けを書くこと等、生活経験の不足による弱みが見られました。中学校では、表現の仕方について捉え、自分の考えを書くこと等、記述式問題に弱みが見られました。

　小学校算数では、商を分数で表す、二次元表の合計欄に入る数を求める等、基本的な学習事項とともに、身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を説明する等、記述式問題に弱みが見られました。中学校数学では、扇形の弧の長さを求める、反比例の表から比例定数を求める等、基本的な学習事項とともに、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること等、記述式問題に弱みが見られました。

○　総合的な学習の時間については、「総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集めて整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだ。」と答えた児童生徒の割合が低く、学習指導要領の改訂を視野に入れ、いわゆる「アクティブラーニング」（主体的、対話的で深い学び）を考慮に入れた学習活動の推進が必要です。

○　家庭生活では、学習時間が短く、読書習慣も定着していない現状が本年度も現れています。また、テレビを見る時間やテレビゲームをする時間が長く、さらにスマートフォンの所持率が高くて使用時間が長いという課題もここ数年続いています。

　このような課題克服のため、「第二次名張市子ども教育ビジョン」の方針に基づき、さらなる学力の向上に向けた以下の取組をすすめます。

○　教職員の指導力の向上とたゆまぬ授業改善

　これまでに引き続き、学力向上に向けた効果的な指導方法を全教職員で共有し、『魅力ある学校づくり』をベースにして、『学力向上３本の矢』（めあてと振り返りのある授業、言語活動の充実、充実した家庭学習）の取り組みをさらに推進していきます。

　今年度からは、平成３２年度から小学校で、平成３３年度から中学校で全面実施される新学習指導要領も見据えた新たな視点（『主体的、対話的で深い学び』の視点）も加え、学習過程の質的改善をすることにより、授業改善を図り、学校長のリーダーシップのもと、全校体制で学力向上に取り組んでいきます。

　また、教育委員会の指導主事が積極的に学校を訪問し、学力向上のための各学校の今後の取組の聞き取りや授業参観等を実施し、具体的な指導助言をする等、直接的な学校支援を行います。さらに、教育センターの研修講座では、社会の情勢や学校の教育課題を考慮した満足度・活用度の高い研修を実施し、教職員の力量を高めていきます。

○　小中一貫教育の推進

　本市では、小・中学校が目指す子ども像を共有し、義務教育９年間を通して系統的な教育課程を展開することにより、小・中学校の円滑な接続とともに、安定して質の高い学力を保障していきます。また、子どもの心理的・身体的な発達段階に応じたきめ細やかな指導・支援を行うことにより、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力をはじめとする子どもの学力向上はもとより、これからの厳しい時代を主体的に生き抜く力の育成等をめざす、第二次名張市子ども教育ビジョンに掲げた、「夢を実現する力」、「社会を拓く力」を育てていくよう取組をすすめていきます。

○　コミュニティ・スクールの推進

　これまでの家庭学習定着の取組はもとより、ファミリー読書の推進、スマホ等使用時間の抑制、食生活の改善、あいさつの習慣化等々、学校と家庭がより一層連携・協働を深め、取組をすすめていく必要があります。

　学校が地域コミュニティの絆・生きがいづくりの核となり、学校、家庭、地域がともに知恵を出し合い、子どもの豊かな成長を支えていけるよう取り組むコミュニティ・スクールの実現は、子どもの生活習慣改善をすすめ、学力の向上も果たしていくための大きな推進力となります。本市では、各学校におけるコミュニティ・スクール実現をめざして取り組んでいきます。

夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ばりっ子」育成のために

学びに向かう力・人間性等

思考力・判断力・表現力等

学力の向上

普段の取組を
より効果的に！

知識・技能

主体的・
対話的で
深い学び

受信 *input*

聴く　読む　等

思考 *intake*

自分で　みんなで
ペア・グループで

発信 *output*

書く　話す
伝える　説明する　等

授業改善

ユニバーサルデザイン

めあての明示と振り返りのある授業

具体的なめあての設定《見通し》
学んだ内容の整理・確認《自己評価》

日常的な言語活動の充実

書く活動の工夫（条件の設定等）
わかりやすいノートづくり⇔板書

充実した家庭学習

学年に応じた家庭学習時間の設定
宿題＋α（自主勉強・読書等）の取組

学力向上3本の矢

小中一貫教育

魅力ある学校づくり

心の居場所づくり　絆づくり

コミュニティ
・スクール

将来の担い手となる
子どもたちのために

学校、家庭、地域、
教育行政が一丸となって

夢を実現する力
社会を拓く力
を育む教育を推進します！！